

中医協 総－１－５－２

7 . 1 1 . 2 1

中医協 検－５－２

7 . 1 1 . 2 1

令和６年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和７年度調査）の
報告案について

○ かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査（右下頁）

- ・ 報告書（案） １頁
- ・ NDBデータ ９７頁
- ・ 集計資料 １０１頁
- ・ 調査票 １４７頁

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
(令和 7 年度調査)
かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の
影響及び実施状況調査

報告書（案）

◆◆目次◆◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	3
4. 調査項目	4
5. 調査検討委員会	9
II. 調査の結果	10
1. 回収結果	10
2. 保険薬局調査	11
1) 薬局の状況について.....	12
2) 薬局の体制について.....	15
3) 麻薬調剤等について.....	16
4) かかりつけ薬剤師に関する取組について.....	19
5) 調剤後のフォローアップについて.....	22
6) 服薬管理指導等について.....	29
3. 病院調査	31
1) 施設の概要（令和7年7月1日現在）	32
2) 医薬品の処方状況について.....	35
3) 薬局との連携状況について.....	36
4) 薬局からの文書による情報提供について.....	46
4. 診療所調査	52
1) 施設の概要（令和7年7月1日現在）	53
2) 医薬品の処方状況について.....	56
3) 薬局との連携状況について.....	57
4) 薬局からの文書による情報提供について.....	66
5. 患者調査（郵送調査）	71
1) 患者自身について.....	72
2) かかりつけ薬剤師について.....	77
3) 服薬指導について.....	82
4) 服薬期間中のフォローアップについて.....	88
参考資料：NDB データを用いた集計（かかりつけ薬剤師）	95

I. 調査の概要

1. 目的

令和6年度調剤報酬改定において、地域の医薬品供給拠点としての役割を担い、地域医療に貢献する薬局の整備を進めていくこと、職員の賃上げを実施すること等の観点から調剤基本料を引き上げ、さらに薬局・薬剤師の地域におけるかかりつけ機能の発揮を推進するため、地域支援体制加算の要件及び評価の見直し、改正感染症法を踏まえた連携強化加算の要件及び評価の見直し等を行った。その上で、質の高い薬学的管理を提供する観点から、心不全患者の調剤後のフォローアップ等の対人業務に係る薬学管理料の評価の見直し、質の高い在宅業務を推進するために在宅業務に係る評価体制の評価やターミナル期の患者への対応に係る評価の見直し等を行った。

これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響や、薬局・薬剤師業務の専門性をさらに高め、質の高い薬学的管理の提供への転換を推進するための調剤報酬の在り方について検討を進める観点から、かかりつけ薬剤師・薬局の取組状況等について調査・検証を行った。

2. 調査対象

本調査では、「（１）保険薬局調査」「（２）病院調査」「（３）診療所調査」「（４）患者調査（郵送調査）」の４つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

（１）保険薬局調査

全国の保険薬局のうち、地域支援体制加算１、２を届出している保険薬局から１,０００件、同加算を届出していない保険薬局から１,０００件をそれぞれ無作為抽出し、合計で２,０００件を調査対象とした。

（２）病院調査

保険医療機関のうち、許可病床数が２００床未満かつ地域包括診療料を届出している病院から３０件を悉皆で抽出し、許可病床数が２００床未満で地域包括診療料を届出していない病院から４７０件、許可病床数が２００床以上の病院から５００件をそれぞれ無作為抽出し、合計で１,０００件を調査対象とした。

（３）診療所調査

保険医療機関のうち、地域包括診療料を届出している診療所から 125 件、地域包括診療加算を届出している診療所から 125 件、小児かかりつけ診療科を届出している診療所から 250 件、いずれも届出していない診療所から 500 件をそれぞれ無作為抽出し、合計で 1,000 件を調査対象とした。

（４）患者調査（郵送調査）

上記(1)保険薬局調査の対象施設の調査期間中に来局した患者を調査対象とした。保険薬局に対し、令和 7 年 7 月 28 日(月) から令和 7 年 8 月 29 日（金）までの特定の 1 日を調査日として決めた上で、調査日の午前・午後それぞれに最初に来局された方に調査票等一式を配布するよう依頼した。なお、午前・午後それぞれの時間帯に来局者がなかった場合は、調査日を翌日に変更し、同様に患者に配布するよう依頼した。1 施設につき 2 人を本調査の対象とし、調査客体数は最大で 4,000 人（[保険薬局 2,000 施設×2 人]=4,000 人）とした。

(参考) 調査対象の母集団

	母数	調査対象数	抽出率
保険薬局調査（全数）	件	—	—
地域支援体制加算 1・2 の届出有り	17,543 件	1,000 件	5.7%
地域支援体制加算 1・2 の届出無し	44,552 件	1,000 件	2.2%
病院調査（全数）	件	—	—
許可病床数 200 床未満 （地域包括診療料の届出有り）	30 件	30 件	100%
許可病床数 200 床未満 （地域包括診療料の届出無し）	5,589 件	470 件	8.4%
許可病床数 200 床以上	2372 件	500 件	21.1%
診療所調査（全数）	件	—	—
地域包括診療料の届出有り	210 件	125 件	59.5%
地域包括診療加算の届出有り	6,133 件	125 件	2.0%
小児かかりつけ診療科の届出有り	2,546 件	250 件	9.8%
いずれも届出無し	79,813 件	500 件	0.6%

※抽出作業時点の情報

3. 調査方法

本調査の「（１）保険薬局調査」「（２）病院調査」「（３）診療所調査」「（４）患者調査（郵送調査）」は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（ID を印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、専用ホームページより電子調査票（Excel）をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

「(2)患者調査（郵送調査）」については、自記式調査票（患者票）の配布は上記(1)の対象施設（保険薬局）を通じて行い、回収は事務局宛の専用返信封筒により患者から直接郵送いただく方法で行った。また、Web 上の回答用フォームから記入・送信する形式も選択できるようにした。

調査実施時期は、令和 7 年 8 月 4 日から令和 7 年 9 月 16 日である。

4. 調査項目

各調査の調査票（「（１）保険薬局調査」「（２）病院調査」「（３）診療所調査」「（４）患者調査（郵送調査）」）の調査項目は以下のとおりである。

※ 赤字の設問項目については調査結果を掲載しています。それ以外の設問項目の調査結果については、集計結果をご覧ください。

（１）保険薬局調査

設問種類	設問項目
1. 施設概要	所在地域、開設者、同一グループ等による薬局店舗数、開設時期
	処方箋の応需状況、応需医療機関数
	保険調剤売上の割合
	調剤基本料、全処方箋の受付回数、主たる保険医療機関に係る処方箋の受付回数の割合
	後発医薬品調剤割合
	供給停止となっている後発医薬品等の診療報酬上の臨時的な取扱いの適用状況
	後発医薬品の調剤数量割合が著しく低い薬局の調剤基本料の減算対象有無
	施設基準（届出のあるもの）（後発医薬品調剤体制加算・在宅薬学総合体制加算）
	職員数（薬剤師・その他職員）（常勤・非常勤）
	認定状況
2. 体制について	導入ツール
	24 時間対応可能な体制の整備状況
	夜間・休日の対応のため、医療機関や訪問看護ステーション、他薬局との連携体制の整備状況
	夜間・休日等の対応について、薬剤師が行った業務
3. 麻薬調剤等について	麻薬小売業者の免許取得の有無
	麻薬の調剤状況
	麻薬が処方された患者に対して（患者について）行っている業務
	貴薬局の麻薬処方箋の受付枚数、応需医療機関数
	麻薬の備蓄品目数
	麻薬の備蓄体制に関する課題
	麻薬小売業者間譲渡許可の有無
	譲渡許可を得ている場合の麻薬の譲渡体制
	麻薬を他の薬局へ譲り渡した実績の有無、有の場合の譲渡先
	麻薬を他の薬局から譲り受けた実績の有無、有の場合の譲渡元
	麻薬の譲渡に関する課題
	無菌製剤処理のための体制
4. 感染症対策等について	感染症対策の状況
	薬事承認された検査キット、新型コロナウイルス治療薬の取り扱い状況
	連携強化加算の届出の有無
	届出無の場合の満たすことが難しい施設基準
5. かかりつけ薬剤師に関する取組について	かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出有無
	かかりつけ薬剤師指導料等の算定状況
	かかりつけ薬剤師指導料等の算定患者の受診医療機関数の把握状況

設問種類	設問項目
	「服薬指導料の特例（かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）の算定」ありと回答した場合、かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応する理由
	かかりつけ薬剤師指導料の届出なしである場合の理由
	かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容
6. 地域支援体制加算について	地域支援体制加算の届出の有無
	休日、夜間を含む開局時間外であっても調剤及び在宅業務に対応できる体制（輪番制含む）の周知の有無
	周知している場合の周知方法と周知先
	一般用医薬品及び要指導医薬品等の備蓄・販売状況、直近1か月での販売実績
	女性の健康サポートに関する体制整備の状況
	地域支援体制加算の施設基準における、地域医療に貢献する体制を有することとして求められている実績
	地域支援体制加算の施設基準の届出がない場合の施設基準を満たすことが難しい項目
7. 残薬解消、ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のための取組	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために行っている取組
	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減の阻害要因
	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場への参加者
	協議する場は機能していると感じるかどうか
	薬剤レビューの実施状況
	問合せ簡素化プロトコルの活用状況
8. 調剤後のフォローアップについて	調剤後薬剤管理指導料の算定状況
	フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導料が算定できなかった経験の有無と有の場合その理由
	特にフォローアップの必要がある疾患
	フォローアップの必要がある患者の属性
	調剤後のフォローアップの実施手段
	フォローアップ回数
	疾患別のフォローアップ実施人数
	フォローアップで得られた情報を処方医等にフィードバックした回数
	フォローアップで収集している情報
	フォローアップした情報の処方医等への情報提供の有無
	処方医等にフィードバックした内容
	フォローアップの実績が0回の場合、その理由
9. 服薬管理指導等について	ハイリスク薬の服薬指導の実施頻度
	ハイリスク薬の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導1イ又はロを算定できなかった経験とその理由
	医薬品リスク管理計画（RMP）に基づく指導の実施タイミング
	医薬品リスク管理計画（RMP）の患者向け資材の提示・説明方法
	医薬品リスク管理計画（RMP）の患者向け資材を用いた指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導3イ又はロを算定できなかった経験とその理由
10. 医療機関等との連携	医療機関等との連携状況（服薬情報等提供料の算定回数、他職種への情報提供有無とその内容）
11. その他	医療機関等との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等

(2) 病院調査

設問種類	設問項目
1. 施設概要	所在地、開設者、標榜診療科
	施設基準（在宅療養支援病院の区分）
	地域包括診療料の算定実績の有無、有の場合、算定件数
	地域包括診療加算の算定実績の有無、有の場合、算定件数
	小児かかりつけ診療料の算定実績の有無、有の場合、算定件数
2. 医薬品の処方状況	外来患者数
	外来の院内・院外処方の割合
	院内処方増加の意向
	往診・訪問診療の実施回数
	門前薬局の有無
	敷地内薬局の有無と薬局数
	院外処方箋における問合せ簡素化プロトコルの締結有無
3. 薬局との連携状況	医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性
	医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患
	薬局にフォローアップして欲しい薬剤と十分にフィードバックされていない薬剤
	薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報とそのうち十分にフィードバックされていない情報
	フォローアップを薬局に指示した場合のメリット
	患者による薬局の選択の上での、連携する薬局の変更有無とその理由
	在宅移行初期管理料の認知
	在宅移行初期管理料のメリット
	薬局との連携における課題
	薬局と連携するデメリット
4. ポリファーマシー対策の取組について	薬局より患者の重複投薬等の解消に関する処方変更の提案を受け取った経験の有無
	受け取った経験のある場合、薬局の提案により処方を変更した経験の有無
	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場への参加者
	協議する場は機能していると感じるかどうか
	ポリファーマシー対策のためのオンライン資格確認の導入状況
	複数のお薬手帳を持つ患者の把握方法
5. 薬局からの文書による情報提供（服薬情報提供書：トレーシングレポート）について	薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験の有無及び経験がある場合の提供された経験の有無
	上記以外で疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取った経験の有無
	処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整した経験と経験がある場合の具体的な変更内容
	薬局から受け取った服薬情報のうち、依頼した情報の割合
	薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報
	薬局から報告してほしい患者の情報
	お薬手帳などによる患者のかかりつけ薬局の把握しやすさ
6. その他	薬局との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等

(3) 診療所調査

設問種類	設問項目
1. 施設概要	所在地、開設者、標榜診療科
	施設基準（在宅療養支援診療所の区分）
	地域包括診療料の算定実績の有無、有の場合、算定件数
	地域包括診療加算の算定実績の有無、有の場合、算定件数
	小児かかりつけ診療料の算定実績の有無、有の場合、算定件数
2. 医薬品の処方状況	外来患者数
	外来の院内・院外処方の割合
	院内処方増加の意向
	往診・訪問診療の実施回数
	門前薬局の有無
	敷地内薬局の有無と薬局数
	院外処方箋における問合せ簡素化プロトコルの締結有無
3. 薬局との連携状況	医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性
	医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患
	薬局にフォローアップして欲しい薬剤と十分にフィードバックされていない薬剤
	薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報とそのうち十分にフィードバックされていない情報
	フォローアップを薬局に指示した場合のメリット
	患者による薬局の選択の上での、連携する薬局の変更有無とその理由
	在宅移行初期管理料の認知
	在宅移行初期管理料のメリット
	薬局との連携における課題
	薬局と連携するデメリット
4. ポリファーマシー対策の取組について	薬局より患者の重複投薬等の解消に関する処方変更の提案を受け取った経験の有無
	受け取っている場合の薬局の提案により処方を変更した経験の有無
	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場への参加者
	協議する場は機能していると感じるかどうか
	ポリファーマシー対策のためのオンライン資格確認の導入状況
	複数のお薬手帳を持つ患者の把握方法
5. 薬局からの文書による情報提供（服薬情報提供書：トレーシングレポート）について	薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験の有無及び有の場合には提供された経験
	上記以外で疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取った経験の有無
	処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整した経験の有無と経験がある場合の具体的な変更内容
	薬局から受け取った服薬情報のうち、依頼した情報の割合
	薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報
	薬局から報告してほしい患者の情報
	お薬手帳などによる患者のかかりつけ薬局の把握しやすさ
6. その他	薬局との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等

(4) 患者調査 (郵送調査)

設問種類	設問項目
0. 調査票の記入者について	記入者との関係
1. 患者自身について	性別、年代、居住地
	医療費の自己負担額の有無
	定期的・継続的に受診している医療機関数、利用している保険薬局数
	定期的・継続的に受診している医療機関、利用している保険薬局の身近さ
	定期的な在宅医療の有無
2. 服薬状況について	定期的な処方薬の有無
	処方薬がある場合、服薬数 (飲み薬・飲み薬以外・自分で購入したもの)
	処方薬がある場合、飲み薬が6 - 7種類または8種類以上の場合の減薬希望
	処方薬がある場合、医師や薬剤師への減薬に関する相談希望・経験の有無
	お薬手帳の使用状況
	マイナンバーカードの保険証利用による過去の服薬情報等の提供に関する認知
	電子処方箋の認知
3. 服薬指導について	服薬指導の経験
	服薬指導で受けた説明の内容
	服薬指導が役立った実感とその理由
	オンライン服薬指導の認知
	オンライン服薬指導の利用意向
4. 服薬期間中のフォローアップについて	服薬期間中のフォローアップの経験の有無
	服薬期間中のフォローアップの感想とその理由
	フォローアップを受けたことがない場合の服薬期間中のフォローアップの実施意向及び、フォローアップを受けたくない場合その理由
5. かかりつけ薬剤師について	かかりつけ薬剤師の有無
	かかりつけ薬剤師指導料への同意状況
	「かかりつけ薬剤師」に重視すること
	保険薬局に期待すること
	保険薬局や併設するドラッグストアでタバコや酒類を扱うことへの考え

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

(1) 委員等

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

井深 宏和	公益社団法人日本薬剤師会 理事
大森 嵩	北海道薬剤師会 常務理事 公益社団法人日本薬剤師会医療保険委員会 副委員長
崔 吉道	金沢大学附属病院 教授・薬剤部長・病院長補佐
羽鳥 裕	はとりクリニック 理事長
○本田 文子	一橋大学大学院経済学研究科教授
益山 光一	東京薬科大学薬学部薬学科教授

【オブザーバー】（敬称略）

永瀬 伸子	大妻女子大学データサイエンス学部教授
-------	--------------------

※所属は報告書取りまとめ時のもの

(2) 開催概要

- 第1回：令和7年5月28日（水） 17:00～19:00（対面/オンライン併用）
【議事】 調査概要・調査票・分析方針案及びとりまとめイメージ案に関する議論
- 第2回：令和7年10月16日（木） 17:00～19:00（対面/オンライン併用）
【議事】 調査結果（速報）及びとりまとめの方向性に関する議論

II. 調査の結果

1. 回収結果

「(1)保険薬局調査」の有効回答数（施設数）は 942 件、有効回答率は 47.1%、「(2)病院」の有効回答数（施設数）は 295 件、有効回答率は 29.5%、「(3)診療所調査」の有効回答数（施設数）は 319 件、有効回答率は 31.9%、「(4)患者調査（郵送調査）」の有効回答数は 1076 件であった。

図表 1-1 回収状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
(1) 保険薬局調査	2,000 件	942 件	47.1%
地域支援体制加算の届出有り	1,000 件	498 件	49.8%
地域支援体制加算の届出無し	1,000 件	444 件	44.6%
(2) 病院調査	1,000 件	295 件	29.5%
許可病床数 200 床未満 （地域包括診療料の届出有り）	30 件	13 件	43.3%
許可病床数 200 床未満 （地域包括診療料の届出無し）	470 件	114 件	24.3%
許可病床数 200 床以上	500 件	168 件	33.6%
(3) 診療所調査	1,000 件	319 件	31.9%
地域包括診療料の届出有り	125 件	46 件	36.8%
地域包括診療加算の届出有り	125 件	36 件	28.8%
小児かかりつけ診療科の届出有り	250 件	79 件	31.6%
いずれも届出無し	500 件	158 件	31.6%
(4) 患者調査（郵送調査）	—	1076 件	—

※患者調査（郵送調査）については、病院や診療所から何部配布されたかが正確に把握できない方法で調査を行っていることから、発送数と有効回答率の表記を行っていない。

なお、「2. 調査対象」の「（参考）調査対象の母集団」に記載のとおり、本調査は病院や診療所などを悉皆で調査したり、母集団比率に応じて比例配分したものではなく、特定の条件に沿って抽出して調査したものである。本報告書における調査結果は、あくまで回答が得られた施設における状況である点に十分留意する必要がある。

2. 保険薬局調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：全国の保険薬局のうち、地域支援体制加算 1、2（注）を届出している保険薬局から 1,000 件、同加算を届出していない保険薬局から 1,000 件をそれぞれ無作為抽出し、合計で 2,000 件を調査対象とした。

回 答 数：942 施設

回 答 者：開設者・管理者

注）対象薬局の抽出における不手際のため、地域支援体制加算 3、4 を届出している薬局に送付できていない。

※調査結果の図表について、「合計」欄の数値と横軸の内訳を合計した数値とが不一致となっている場合があるが、その理由は、クロス軸の設問が未回答の施設を横軸の内訳に含めていないためである。

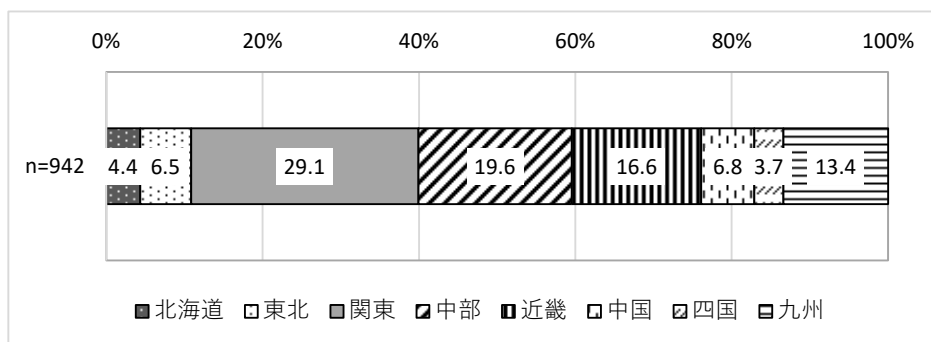
※単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全体回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答薬局の状況について

(1) 所在地（調査票 1①）

回答があった薬局の所在地は、関東地方が 29.1%と最も多く、次いで中部地方が 19.6%であった。

図表 2-1 所在地



(2) 開設者（調査票 1②）

回答があった保険薬局の開設者は「法人」が最も多く、91.8%であった。

図表 2-2 開設者

	割合
回答数（件）	942
法人	91.8
個人	7.4
その他	0.2
無回答	0.5

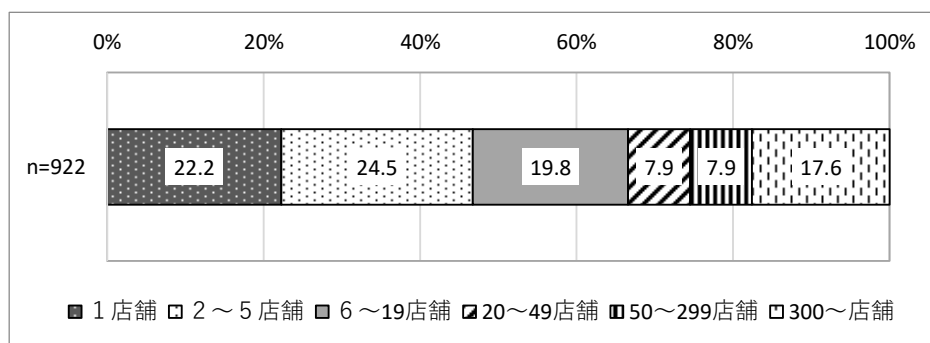
(3) 同一グループ等による薬局店舗数（調査票 1④）

同一グループ等による薬局店舗数は平均が 234.8 店舗であった。

図表 2-3 同一グループ等による薬局店舗数

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数（件）	922	234.8	570.2	3499.0	1.0	6
1 店舗	205	1.0	0.0	1.0	1.0	1
2～5 店舗	226	3.1	1.1	5.0	2.0	3
6～19 店舗	183	10.1	3.7	19.0	6.0	9
20～49 店舗	73	31.4	8.5	49.0	20.0	31
50～299 店舗	73	132.8	58.8	298.0	55.0	120
300～店舗	162	1245.5	777.4	3499.0	300.0	994

図表 2-4 同一グループ等による薬局店舗数の構成割合



(4) 処方箋の応需状況（調査票 1⑥）

回答があった保険薬局の応需状況は、「様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局」が最も多く 50.2%、次いで「主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局」が 23.1%、「主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局」が 21.4%であった。

図表 2-5 処方箋の応需状況

	割合
回答数（件）	942
様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局	50.2
主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局	21.4
主に不動産賃貸関係のある特定の病院の処方箋を応需している薬局	0.7
主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	23.1
主に不動産賃貸関係のある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	1.3
主に複数の近接する特定の保険医療機関（いわゆる医療モールやビル診療所など）の処方箋を応需している薬局	2.4
その他	0.4
無回答	0.3

(5) 調剤基本料（調査票 1⑨）

回答があった保険薬局の調剤基本料の届出状況は、調剤基本料 1 を届け出ている保険薬局が 74.5%であった。なお、地域支援体制加算 3・4 に調査票を送付できていない点に留意が必要である。

図表 2-6 調剤基本料

	割合
回答数（件）	942
調剤基本料 1	74.5
調剤基本料 2	3.6
調剤基本料 3 イ	3.0
調剤基本料 3 ロ	5.3
調剤基本料 3 ハ	12.1
特別調剤基本料 A	0.7
特別調剤基本料 B	0.0
無回答	0.7

(6) 在宅薬学総合体制加算の届出状況（調査票 1⑭）

回答があった保険薬局の在宅薬学総合加算の届出状況は、在宅薬学総合体制加算 1 を届け出ている保険薬局が 46.9%、在宅薬学総合体制加算 2 を届け出ている保険薬局は 10.5%であった。なお、届出（算定なし）は 34.9%であった。

図表 2-7 在宅薬学総合体制加算

	割合
回答数（件）	942
在宅薬学総合体制加算 1	46.9
在宅薬学総合体制加算 2	10.5
届出（算定）なし	34.9
無回答	7.6

2) 薬局の体制について

(1) 開局時間外の麻薬の調剤の対応状況 (調査票 2④4) -1)

開局時間外における麻薬の調剤への対応状況について、対応している保険薬局は全体では2.8%であった。また、対応している保険薬局における平均対応件数は1.9件/日であった。

図表 2-8 開局時間外の麻薬の調剤の対応状況

	割合
回答数 (件)	942
麻薬の調剤の対応あり	2.8
麻薬の調剤の対応なし	82.4
無回答	14.9

図表 2-9 開局時間外の麻薬の調剤の対応状況 (件/日)

件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
21	1.9	4.2	20.0	0.0	1

※開局時間外の麻薬の調剤の対応ありと回答した保険薬局が対象 (有効回答 21 件)

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「件/日」を単位としている。

※回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

3) 麻薬調剤等について

(1) 麻薬の備蓄体制に関する課題（調査票 3⑧）

麻薬小売業者の免許を取得している薬局における、麻薬の備蓄体制に関する課題は、全体では「患者の容体変化※にともない使用する薬剤が変更となるため不動態在庫が発生するリスクがある（※患者が亡くなった場合も含む）」が 80.1%と最も多く、次いで「卸に発注しても該当する薬剤の手配まで時間が必要である」が 73.7%であった。

図表 2-10 麻薬の備蓄体制に関する課題（複数回答）

	割合
回答数（件）	894
備蓄する医薬品が多くなり管理コストがかかる	52.0
突発的な麻薬の処方箋の応需により様々な規格の麻薬を取り揃える必要がある	61.0
卸に発注しても該当する薬剤の手配まで時間が必要である	73.7
地域の譲渡の体制が構築されていない	26.1
特定の患者にしか使用されない薬剤を準備しなければならない	57.6
患者の容体変化※にともない使用する薬剤が変更となるため不動態在庫が発生するリスクがある ※患者が亡くなった場合も含む	80.1
その他	4.0
課題はない	2.7
無回答	1.5

※麻薬小売業者の免許を取得している薬局が対象

(2) 麻薬の譲渡体制（調査票 3⑪）

麻薬の譲渡体制は、麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局全体では「同一グループ（調剤基本料のグループ）のみで麻薬小売業者間譲渡の体制を構築している」が74.6%と最も多かった。

図表 2-11 麻薬の譲渡体制

	割合
回答数（件）	331
同一グループ（調剤基本料のグループ）のみで麻薬小売業者間譲渡の体制を構築している	74.6
地域の同一グループ以外の薬局間で麻薬小売業者間譲渡の体制を構築している	19.0
その他	2.4
無回答	3.9

※麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局が対象

(3) 麻薬を他の薬局へ譲渡した実績（令和7年1月～6月の6か月間）（調査票 3⑫）

麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局のうち、令和7年1月～6月の6か月間に麻薬を他の薬局へ譲渡した実績がある保険薬局は22.4%であった。実績がある保険薬局における平均回数は3.5回であった。

図表 2-12 麻薬を他の薬局へ譲渡した実績

	割合
回答数（件）	331
あり	22.4
なし	75.5
無回答	2.1

※麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局が対象

図表 2-13 麻薬を他の薬局へ譲渡した実績（回数）

件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
68	3.5	3.8	18.0	1.0	1.5

※麻薬を他の薬局へ譲渡した実績がある保険薬局が対象（有効回答 68 件）

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「回」を単位としている。

(4) 麻薬を他の薬局から譲り受けた実績（令和7年1月～6月の6か月）（調査票3⑬）

麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局のうち、令和7年1月～6月の6か月間に麻薬を他の薬局から譲り受けた実績がある保険薬局は20.2%であった。実績がある保険薬局における平均回数は3.0回であった。

図表 2-14 麻薬を他の薬局から譲り受けた実績

	割合
回答数（件）	331
あり	20.2
なし	73.7
無回答	6.0

※麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局が対象

図表 2-15 麻薬を他の薬局から譲り受けた実績（回数）

件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
61	3.0	3.3	14.0	1.0	2

※麻薬を他の薬局から譲り受けた実績がある保険薬局が対象（有効回答61件）

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「回」を単位としている。

(5) 麻薬の譲渡に関する課題（調査票3⑭）

麻薬の譲渡に関する課題について、全体では「高用量の規格の薬剤の不動在庫が発生しても、譲渡で引き受けてくれる薬局がない」が49.5%と最も多く、次いで「夜間休日対応のため麻薬小売業者間譲渡の体制が活用できないことがある」が32.6%であった。

図表 2-16 麻薬の譲渡に関する課題（複数回答）

	割合
回答数（件）	331
夜間休日対応のため麻薬小売業者間譲渡の体制が活用できないことがある	32.6
高用量の規格の薬剤など、他の薬局から譲り受けることができないことがある	24.5
高用量の規格の薬剤の不動在庫が発生しても、譲渡で引き受けてくれる薬局がない	49.5
地域の譲渡の体制が構築されていない	27.8
その他	7.3
課題はない	17.5
無回答	4.2

※麻薬小売業者間譲渡許可を得ている保険薬局が対象

4) かかりつけ薬剤師に関する取組について

(1) かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届出有無
(調査票 5①)

かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料を届け出ている保険薬局は全体では79.3%であった。地域支援体制加算を届け出していない保険薬局では半数以上がかかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の届出をしていなかった。

図表 2-17 かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準等の届出有無
【地域支援体制加算の届出状況別】

	合計	地域支援 体制加算 届出あり	地域支援 体制加算 届出なし
回答数(件)	942	498	444
届出あり	79.3	98.4	57.9
届出なし	19.9	0.0	42.1
無回答	0.8	1.6	0.0

(2) かかりつけ薬剤師指導料が届出なしである理由 (調査票 5③)

かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料を届け出していないと回答した保険薬局において、かかりつけ薬剤師指導料を届け出していない理由として、「時間外の24時間電話相談が困難（人手不足等）であるため」が42.8%と最も多く、次いで「医療に係る地域活動の取組に参画している保険薬剤師がいないため」が38.0%であった。

図表 2-18 かかりつけ薬剤師指導料が届出なしである理由 (複数回答)

	合計
回答数 (件)	187
保険薬剤師として3年以上の薬局勤務経験がある保険薬剤師がいないため	2.7
当該保険薬局に週32時間以上※1勤務している薬剤師がいないため	0.5
当該保険薬局に1年以上在籍している保険薬剤師がいないため	23.5
薬剤師認定制度認証機構が認定している研修認定制度等の研修認定を取得している保険薬剤師がいないため	31.0
医療に係る地域活動の取組に参画している保険薬剤師がいないため	38.0
時間外の24時間電話相談が困難（人手不足等）であるため	42.8
自薬局以外で調剤されている医薬品、処方薬以外のサプリメント等の内服まで含めた薬学的管理指導を行える体制が整っていないため	8.0
かかりつけ薬剤師の機能を患者に理解してもらえていないため	6.4
患者の利用している全ての保険医療機関、服用薬を把握する体制が整っていないため	3.2
かかりつけ薬剤師指導料もしくはかかりつけ薬剤師包括管理料を上手く説明できないため	5.3
その他	8.0
無回答	4.3

※かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の届出なしの保険薬局が対象

(3) かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容（調査票 5④）

回答のあった保険薬局全体では、かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容として最も多いのは「薬の飲み合わせに関する相談」で 82.3%であり、次いで「薬の副作用に関する相談」で 75.8%であった。

図表 2-19 かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容（複数回答）

	割合
回答数（件）	942
薬の効果に関する相談	72.0
薬の副作用に関する相談	75.8
薬の服用頻度に関する相談	34.4
薬の飲み合わせに関する相談	82.3
残薬に関する相談	61.6
ポリファーマシー解消・重複投薬の削減に関する相談	27.4
OTC医薬品に関する相談	47.7
その他	8.2
無回答	4.8

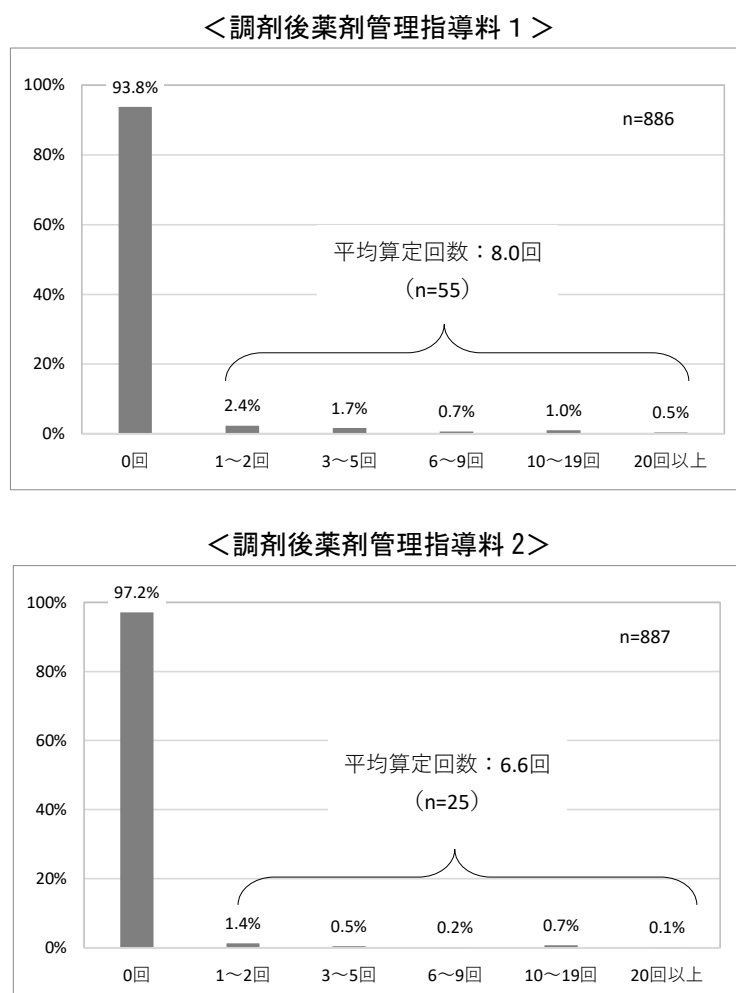
5) 調剤後のフォローアップについて

(1) 調剤後薬剤管理指導料の算定状況（令和7年4月～6月の3か月間）（調査票8①）

令和7年4月～6月の3か月間における調剤後薬剤管理指導料1の算定状況について有効回答のあった保険薬局のうち、算定回数0回が93.8%であった。算定回数が1回以上の保険薬局における平均算定回数は8.0回であった。

調剤後薬剤管理指導料2の算定状況について有効回答のあった保険薬局のうち、算定回数0回が97.2%であった。算定回数が1回以上の保険薬局における平均算定回数は6.6回であった。

図表 2-20 調剤後薬剤管理指導料の算定状況（令和7年4月～6月の3か月間）



(2) 調剤後薬剤管理指導料を算定できなかったこと（令和7年4月～6月の3か月間）
（調査票 8②、8②-1）

令和7年4月～6月の3か月間において、フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導料が算定できなかったことが「ある」と回答した保険薬局は38.2%であった。

フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導料が算定できなかったことが「ある」と回答した保険薬局における、算定できなかった理由としては、「算定要件を満たす患者ではなかったため」が45.6%で最も多く、次いで「医師の指示又は患者等からの求めがなかったため」が38.9%であった。

図表 2-21 フォローアップをしたにも関わらず調剤後薬剤管理指導料が算定できなかったこと（令和7年4月～6月の3か月間）

	割合
回答数（件）	942
ある	38.2
ない	53.2
無回答	8.6

図表 2-22 フォローアップをしたにも関わらず調剤後薬剤管理指導料が算定できなかった理由（令和7年4月～6月の3か月間）（複数回答）

	割合
回答数（件）	360
地域支援体制加算の届出を行っていないため	27.5
算定要件を満たす患者ではなかったため	45.6
医師の指示又は患者等からの求めがなかったため	38.9
電話等による薬学的管理を実施しなかったため	5.6
フォローアップ後、医療機関へ文書による情報提供を実施しなかったため	25.8
その他	6.4

※フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導料が算定できなかったことが「ある」と回答した保険薬局が対象

※「その他」の具体的内容としては、「居宅療養指導を算定しているため」「患者の同意が得られなかったため」「糖尿病等以外の疾患をフォローアップしているため」「特別調剤基本料Aを算定しているため」「来局がなかったため」等が挙げられた。

(3) 特にフォローアップの必要がある疾患（調査票 8③）

特にフォローアップの必要がある疾患について、回答があった保険薬局全体では、「糖尿病」が 68.5%と最も多く、次いで「悪性腫瘍」が 51.0%であった。

図表 2-23 特にフォローアップの必要がある疾患（複数回答）

	割合
回答数（件）	942
糖尿病	68.5
ぜんそく	35.2
COPD	23.4
心不全	43.2
血栓塞栓症	21.2
認知症	33.4
精神疾患	17.4
悪性腫瘍	51.0
小児慢性特定疾病	13.7
その他	4.6
無回答	8.5

図表 2-24 （参考）特にフォローアップの必要がある疾患（複数回答）（病院調査）

	割合
回答数（件）	295
糖尿病	67.8
ぜんそく	49.2
COPD	44.4
心不全	28.1
血栓塞栓症	39.7
認知症	50.2
精神疾患	41.7
悪性腫瘍	58.0
小児慢性特定疾病	16.6
その他	1.7
無回答	7.5

図表 2-25 (参考) 特にフォローアップの必要がある疾患 (複数回答) (診療所調査)

	割合
回答数 (件)	319
糖尿病	39.5
ぜんそく	34.5
COPD	21.9
心不全	27.3
血栓塞栓症	18.8
認知症	43.6
精神疾患	27.3
悪性腫瘍	19.7
小児慢性特定疾病	13.2
その他	7.5
無回答	18.2

(4) フォローアップの必要がある患者の属性 (調査票 8④)

フォローアップの必要がある患者の属性について、回答があった保険薬局全体では、「薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者」が 61.0% と最も多く、次いで「特に副作用の頻度が高く注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者」が 54.4% であった

図表 2-26 フォローアップの必要がある患者の属性 (複数回答)

	割合
回答数 (件)	942
薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者	61.0
長期処方 (処方日数28日以上) の患者	22.8
服薬アドヒアランスが不良な患者	53.4
認知機能が低下している患者	47.5
服用方法に注意が必要な薬剤を処方された患者	51.1
手技を伴う薬剤 (吸入剤、点鼻剤、注射剤等) を処方された患者	50.7
薬剤や治療に不安を持っている患者	41.5
新規で来局した患者	15.4
ポリファーマシーの患者	18.3
特に副作用の頻度が高く注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者	54.4
特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者	24.3
その他	1.6
無回答	6.7

図表 2-27 (参考) フォローアップの必要がある患者の属性 (複数回答) (病院調査)

	割合
回答数 (件)	295
薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者	59.3
長期処方 (処方日数28日以上) の患者	21.0
服薬アドヒアランスが不良な患者	71.2
認知機能が低下している患者	61.4
服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等) を処方された患者	47.8
手技を伴う薬剤 (吸入剤、点鼻剤、注射剤等) を処方された患者	61.7
薬剤や治療に不安を持っている患者	49.2
新規で受診した患者	21.4
ポリファーマシーの患者	42.7
特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者	62.4
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	37.3
その他	1.7
無回答	6.4

図表 2-28 (参考) フォローアップの必要がある患者の属性 (複数回答)
(診療所調査)

	割合
回答数 (件)	319
薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者	62.7
長期処方 (処方日数28日以上) の患者	19.7
服薬アドヒアランスが不良な患者	52.0
認知機能が低下している患者	55.5
服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等) を処方された患者	34.8
手技を伴う薬剤 (吸入剤、点鼻剤、注射剤等) を処方された患者	43.6
薬剤や治療に不安を持っている患者	32.3
新規で受診した患者	20.1
ポリファーマシーの患者	28.2
特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者	28.5
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	34.5
その他	3.4
無回答	7.5

(5) 調剤後のフォローアップの実施手段（調査票 8⑤）

調剤後のフォローアップの実施手段として、回答があった保険薬局全体では、「電話」が 87.3%と最も多く、「SNS 等のチャットツール」が 23.4%、「対面」は 26.2%であった

図表 2-29 調剤後のフォローアップの実施手段（複数回答）

	割合
回答数（件）	942
電話	87.3
メール	7.6
ビデオ電話	2.4
SNS等のチャットツール	23.4
対面	26.2
その他	2.2
無回答	6.9

(6) フォローアップで収集している情報（調査票 8⑦）

フォローアップで収集している情報について、回答があった保険薬局全体では、「体調の変化」が 68.4%と最も多く、次いで「患者の服薬状況」が 65.5%、「患者の薬剤服用後の副作用等の状況」が 53.4%であった。

図表 2-30 フォローアップで収集している情報（複数回答）

	割合
回答数（件）	942
体調の変化	68.4
患者の服薬状況	65.5
残薬状況	39.2
患者の薬剤の保管・管理の状況	18.4
患者の薬剤服用後の副作用等の状況	53.4
服薬期間中に保健医療機関を新規受診し追加された併用薬	13.0
患者の生活習慣（食生活、運動習慣、飲酒/喫煙等）	11.8
その他	1.6
無回答	20.2

(7) フォローアップした情報の処方医等への情報提供 (調査票 8⑧)

フォローアップした情報の処方医等への情報提供について、回答があった保険薬局全体では、「フォローアップを行い問題点があった場合にのみ、処方医等に情報提供している」が 53.4%、「フォローアップしたときは毎回、処方医等に情報提供している」が 15.0%であった。

図表 2-31 フォローアップした情報の処方医等への情報提供

	割合
回答数 (件)	942
フォローアップしたときは毎回、処方医等に情報提供している	15.0
フォローアップを行い問題点があった場合にのみ、処方医等に情報提供している	53.4
特に処方医等への情報提供をしていない	11.6
その他	1.5
無回答	18.6

(8) フォローアップ回数が 0 回の場合の理由 (調査票 8⑩)

フォローアップ回数が 0 回の場合の理由として、「フォローアップが必要な患者がいないため」が 41.4%と最も多かった。

図表 2-32 フォローアップ回数が 0 回の場合の理由

	割合
回答数 (件)	406
フォローアップが必要な患者がいないため	41.4
フォローアップに必要な情報が不足しているため	16.7
医療機関との連携が不十分であるため	9.1
その他	15.5
無回答	17.2

※その他：「フォローアップする時間がない」、「人員不足の為」、「患者が希望しない為」「連絡が上手く取れなかったため」等

6) 服薬管理指導等について

(1) 特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導の実施頻度（令和7年4月～6月の3か月間）（調査票9①）

令和7年4月～6月の3か月間において、特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導の実施頻度は、回答があった保険薬局全体では、「用法用量変更時又は副作用発現時に実施」が57.0%と最も多く、次いで「毎回実施」が22.5%であった。

図表 2-33 特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導の実施頻度

	割合
回答数（件）	942
毎回実施	22.5
用法用量変更時又は副作用発現時に実施	57.0
実施していない・対象患者がいなかった	16.5
その他	2.2
無回答	1.8

(2) 特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導1イ又はロを算定できなかったこと（調査票9②、9②-1）

特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導1イ又はロを算定できなかった経験について、回答があった保険薬局全体のうち61.8%が算定できなかったことがあると回答した。

算定できなかった理由は「当該ハイリスク薬の処方が初めてではない患者に対して行ったため」が77.8%と最も多く、次いで「当該ハイリスク薬が継続処方され、用法用量に変更がなかったため」が65.5%であった。

図表 2-34 特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導1イ又はロを算定できなかった経験

	割合
回答数（件）	942
算定できなかったことがある	61.8
算定できなかったことはない	35.7
無回答	2.5

図表 2-35 特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導１イ又はロを算定できなかった理由（複数回答）

	割合
回答数（件）	582
当該ハイリスク薬の処方が初めてではない患者に対して行ったため	77.8
1つの処方箋受付に対して2回以上実施したため	12.0
当該ハイリスク薬が継続処方され、用法用量に変更がなかったため	65.5
当該ハイリスク薬が継続処方され、副作用等の発現がみられなかったため	45.9
その他	6.4
無回答	0.7

※特定薬剤管理指導１イ又はロを算定できなかった保険薬局が対象

3. 病院調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：保険医療機関のうち、許可病床数が 200 床未満かつ地域包括診療料を届出している病院から 30 件を悉皆で抽出し、許可病床数が 200 床未満で地域包括診療料を届出していない病院から 470 件、許可病床数が 200 床以上の病院から 500 件をそれぞれ無作為抽出し、合計で 1,000 件を調査対象とした。

回 答 数：295 施設

回 答 者：開設者・管理者

※調査結果の図表について、「合計」欄の数値と横軸の内訳を合計した数値とが不一致となっている場合があるが、その理由は、クロス軸の設問が未回答の施設を横軸の内訳に含めていないためである。

※単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値はは実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答施設の概要（令和7年7月1日現在）

(1) 所在地（調査票1①）

回答があった病院の所在地は、「北海道」「東京都」が最も多く8.1%であった。なお、大都市部（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県及び大阪府）は32.2%を占めていた。

図表 3-1 所在地

	割合		割合
回答数（件）	295	滋賀県	0.7
北海道	8.1	京都府	2.7
青森県	1.0	大阪府	6.8
岩手県	1.0	兵庫県	4.7
宮城県	1.0	奈良県	2.0
秋田県	0.7	和歌山県	2.0
山形県	0.7	鳥取県	0.3
福島県	1.0	島根県	0.7
茨城県	2.0	岡山県	2.0
栃木県	1.7	広島県	1.4
群馬県	1.0	山口県	1.0
埼玉県	4.4	徳島県	1.7
千葉県	3.1	香川県	0.3
東京都	8.1	愛媛県	2.7
神奈川県	5.1	高知県	0.7
新潟県	2.4	福岡県	4.7
富山県	1.0	佐賀県	0.7
石川県	0.7	長崎県	1.7
福井県	1.0	熊本県	1.0
山梨県	0.3	大分県	1.4
長野県	0.7	宮崎県	2.4
岐阜県	1.7	鹿児島県	1.7
静岡県	3.1	沖縄県	1.0
愛知県	4.7	無回答	0.0
三重県	1.0		

(2) 開設者 (調査票 1②)

回答があった病院の開設者は「医療法人（社会医療法人を除く）」が 50.2%で最も多く、「その他の法人」が 18.3%、「公立」が 16.6%であった。

図表 3-2 開設主体

	割合
回答数 (件)	295
国	7.1
公立	16.6
公的	6.1
社会保険関係団体	0.3
医療法人（社会医療法人を除く）	50.2
会社	0.3
その他の法人	18.3
個人	1.0
無回答	0.0

(3) 標榜診療科 (調査票 1③)

標榜診療科は「内科」が 88.5%で最も多く、次いで「リハビリテーション科」が 67.1%、「整形外科」が 66.8%であった。

図表 3-3 標榜診療科 (複数回答)

	割合
回答数 (件)	295
内科	88.5
外科	64.1
精神科	41.7
小児科	40.3
皮膚科	48.1
泌尿器科	49.2
産婦人科・産科	31.5
眼科	39.3
耳鼻咽喉科	35.6
放射線科	45.8
脳神経外科	44.1
整形外科	66.8
麻酔科	47.1
救急科	21.0
歯科・歯科口腔外科	21.4
リハビリテーション科	67.1
その他	24.4
無回答	0.3

(4) 在宅療養支援病院の届出区分 (調査票 1④)

在宅療養支援病院の届出区分について、回答のあった病院では、「機能強化型在宅療養支援病院 (単独型)」は 2.4%、「機能強化型在宅療養支援病院 (連携型)」は 5.8%、「上記以外の在宅療養支援病院」は 11.2%であった。

図表 3-4 在宅療養支援病院の届出区分

	割合
回答数 (件)	295
機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	2.4
機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	5.8
上記以外の在宅療養支援病院	11.2
在宅療養支援病院ではない	76.9
無回答	3.7

2) 医薬品の処方状況について

(1) 外来の院内・院外処方の割合 (調査票 2②)

外来における院内・院外処方の割合について、回答があった病床数 200 床未満（地域包括診療料届出なし）の病院では、平均 19.7%が院内処方であり、平均 80.3%が院外処方、病床数 200 床以上の病院では、平均 22.6%が院内処方であり、平均 77.4%が院外処方であった。

図表 3-5 外来の院内・院外処方の割合【病床数別】

院内処方(%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	276	21.8	35.7	100.0	0.0	4.1
200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	13	28.8	40.7	100.0	0.0	5.7
200床未満 (地域包括診療料届出なし)	101	19.7	35.0	100.0	0.0	2
200床以上	162	22.6	35.8	100.0	0.0	5

院外処方(%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	276	78.2	35.7	100.0	0.0	95.9
200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	13	71.2	40.7	100.0	0.0	94.3
200床未満 (地域包括診療料届出なし)	101	80.3	35.0	100.0	0.0	98
200床以上	162	77.4	35.8	100.0	0.0	95

※「200 床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-6 外来の院内・院外処方の割合【在宅療養支援病院の届出区分別】

院内処方(%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	276	21.8	35.7	100.0	0.0	4.08
機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	7	2.9	2.2	7.0	1.0	3
機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	17	17.2	31.5	99.0	0.0	3.8
上記以外の在宅療養支援病院	31	33.8	41.6	100.0	0.0	7.3
在宅療養支援病院ではない	212	21.3	35.5	100.0	0.0	4.25

院外処方(%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	276	78.2	35.7	100.0	0.0	95.92
機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	7	97.1	2.2	99.0	93.0	97
機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	17	82.8	31.5	100.0	1.0	96.2
上記以外の在宅療養支援病院	31	66.2	41.6	100.0	0.0	92.7
在宅療養支援病院ではない	212	78.7	35.5	100.0	0.0	95.75

※「機能強化型在宅療養支援病院 (単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院 (連携型)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

3) 薬局との連携状況について

(1) 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（調査票 3①）

医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性について、回答があった病院全体では、「服薬アドヒアランスが不良な患者」が 71.2%で最も多く、次いで「特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者」が 62.4%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「服薬アドヒアランスが不良な患者」が 75.0%で最も多く、次いで「特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者」が 70.8%であった。

図表 3-7 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地 域包括診 療料届出 あり)	200床未満 (地域包 括診療料 届出な し)	200床以上
回答数(件)	295	13	114	168
薬剤変更(用法用量、後発医薬品への変更も含む)があった患者	59.3	53.8	63.2	57.1
長期処方(処方日数28日以上)の患者	21.0	15.4	23.7	19.6
服薬アドヒアランスが不良な患者	71.2	69.2	65.8	75.0
認知機能が低下している患者	61.4	76.9	56.1	63.7
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)を処方された患者	47.8	38.5	41.2	53.0
手技を伴う薬剤(吸入剤、点鼻剤、注射剤等)を処方された患者	61.7	69.2	59.6	62.5
薬剤や治療に不安を持っている患者	49.2	38.5	46.5	51.8
新規で受診した患者	21.4	38.5	18.4	22.0
ポリファーマシーの患者	42.7	46.2	39.5	44.6
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)を処方された患者	62.4	69.2	49.1	70.8
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	37.3	30.8	33.3	40.5
その他	1.7	0.0	0.0	3.0
無回答	6.4	0.0	5.3	7.7

※「200 床未満(かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-8 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要が
あると考えられる患者の属性（複数回答）【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数（件）	295	7	17	33	227
薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者	59.3	42.9	64.7	63.6	58.1
長期処方（処方日数28日以上）の患者	21.0	0.0	11.8	33.3	19.8
服薬アドヒアランスが不良な患者	71.2	85.7	58.8	69.7	72.2
認知機能が低下している患者	61.4	42.9	70.6	63.6	60.8
服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）を処方された患者	47.8	28.6	47.1	51.5	48.9
手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	61.7	57.1	70.6	66.7	60.8
薬剤や治療に不安を持っている患者	49.2	28.6	41.2	66.7	48.5
新規で受診した患者	21.4	0.0	23.5	24.2	21.6
ポリファーマシーの患者	42.7	57.1	58.8	51.5	39.6
特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	62.4	71.4	58.8	57.6	63.9
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	37.3	42.9	47.1	42.4	36.1
その他	1.7	0.0	0.0	3.0	1.8
無回答	6.4	0.0	0.0	0.0	7.9

※「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(2) 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患
(調査票 3②)

医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患について、回答があった病院全体では、「糖尿病」が 67.8%で最も多く、次いで「悪性腫瘍」が 58.0%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「糖尿病」が 63.1%で最も多く、次いで「悪性腫瘍」が 62.5%であった。

図表 3-9 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数(件)	295	13	114	168
糖尿病	67.8	76.9	73.7	63.1
ぜんそく	49.2	53.8	48.2	49.4
COPD	44.4	53.8	43.9	44.0
心不全	28.1	23.1	33.3	25.0
血栓塞栓症	39.7	38.5	44.7	36.3
認知症	50.2	69.2	49.1	49.4
精神疾患	41.7	30.8	32.5	48.8
悪性腫瘍	58.0	61.5	50.9	62.5
小児慢性特定疾病	16.6	0.0	10.5	22.0
その他	1.7	0.0	0.9	2.4
無回答	7.5	0.0	7.9	7.7

※「200 床未満（かつ地域包括診療料届出あり）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-10 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外の在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数(件)	295	7	17	33	227
糖尿病	67.8	57.1	76.5	97.0	63.4
ぜんそく	49.2	14.3	47.1	69.7	47.1
COPD	44.4	28.6	47.1	57.6	43.2
心不全	28.1	28.6	17.6	39.4	26.4
血栓塞栓症	39.7	28.6	47.1	39.4	39.6
認知症	50.2	28.6	76.5	48.5	50.2
精神疾患	41.7	14.3	47.1	42.4	43.2
悪性腫瘍	58.0	85.7	76.5	60.6	56.4
小児慢性特定疾病	16.6	0.0	5.9	12.1	18.9
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	2.2
無回答	7.5	14.3	0.0	0.0	8.8

※「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(3) 薬局にフォローアップして欲しい薬剤（調査票 3③）

薬局にフォローアップして欲しい薬剤として、回答があった病院全体では、「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が 70.2%で最も多く、次いで「特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）」が 67.8%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）」が 73.8%で最も多く、次いで「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が 71.4%であった。

図表 3-11 薬局にフォローアップして欲しい薬剤（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地 域包括診 療料届出 あり)	200床未満 (地域包 括診療料 届出な し)	200床以上
回答数(件)	295	13	114	168
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)	61.4	53.8	64.0	60.1
手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)	70.2	92.3	65.8	71.4
注射器以外のデバイスが必要な薬剤(COPD治療薬等)	66.8	84.6	62.3	68.5
注射器が必要な薬剤	52.2	53.8	47.4	55.4
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)	67.8	69.2	58.8	73.8
特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤	49.5	46.2	48.2	50.6
その他	6.1	0.0	7.0	6.0
そのような薬剤は特にはない	4.7	7.7	5.3	4.2
無回答	5.1	0.0	4.4	6.0

※「200 床未満(かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-12 薬局にフォローアップして欲しい薬剤（複数回答）
【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数(件)	295	7	17	33	227
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)	61.4	42.9	70.6	63.6	61.2
手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)	70.2	57.1	76.5	75.8	69.6
注射器以外のデバイスが必要な薬剤(COPD治療薬等)	66.8	71.4	70.6	75.8	65.6
注射器が必要な薬剤	52.2	28.6	58.8	60.6	52.0
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)	67.8	85.7	70.6	63.6	68.3
特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤	49.5	42.9	58.8	51.5	50.2
その他	6.1	0.0	5.9	0.0	7.5
そのような薬剤は特にはない	4.7	0.0	0.0	6.1	4.4
無回答	5.1	0.0	0.0	0.0	6.6

※「機能強化型在宅療養支援病院(単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院(連携型)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(4) 十分にフィードバックされていない薬剤（調査票 3④）

十分にフィードバックされていない薬剤として、回答があった病院全体では、「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が 32.7%で最も多く、次いで「そのような薬剤は特にない」が 30.1%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が 39.7%で最も多く、次いで「特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）」が 33.1%であった。

図表 3-13 十分にフィードバックされていない薬剤（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数(件)	266	12	103	151
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)	24.1	33.3	18.4	27.2
手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)	32.7	33.3	22.3	39.7
注射器以外のデバイスが必要な薬剤(COPD治療薬等)	24.8	33.3	15.5	30.5
注射器が必要な薬剤	25.9	25.0	16.5	32.5
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)	26.3	16.7	17.5	33.1
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	21.8	16.7	19.4	23.8
その他	4.5	0.0	6.8	3.3
そのような薬剤は特にない	30.1	41.7	33.0	27.2
無回答	7.1	8.3	7.8	6.6

※ 十分にフィードバックされていない薬剤を回答した病院が対象

※ 「200 床未満（かつ地域包括診療料届出あり）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-14 十分にフィードバックされていない薬剤（複数回答）
【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数（件）	266	7	17	31	202
服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）	24.1	14.3	29.4	35.5	22.3
手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）	32.7	14.3	23.5	51.6	30.7
注射器以外のデバイスが必要な薬剤（COPD治療薬等）	24.8	14.3	17.6	45.2	21.8
注射器が必要な薬剤	25.9	14.3	23.5	45.2	23.8
特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）	26.3	14.3	11.8	45.2	24.8
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	21.8	14.3	11.8	25.8	22.8
その他	4.5	0.0	5.9	0.0	5.4
そのような薬剤は特にない	30.1	42.9	41.2	16.1	31.7
無回答	7.1	14.3	11.8	0.0	6.4

※ 十分にフィードバックされていない薬剤を回答した病院が対象

※ 「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」 「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」 の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(5) 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（調査票 3⑤）

薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報について、回答があった病院全体では、「患者の服薬状況」が 78.6%で最も多く、次いで「残薬状況」が 66.4%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「患者の服薬状況」が 79.2%で最も多く、次いで「患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況」が 67.3%であった。

図表 3-15 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数(件)	295	13	114	168
患者の服薬状況	78.6	76.9	78.1	79.2
残薬状況	66.4	69.2	67.5	65.5
患者の保管・管理の状況	42.7	46.2	43.0	42.3
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	60.0	53.8	50.0	67.3
処方内容に関する提案情報	43.7	38.5	36.8	48.8
その他の患者に関する情報	4.7	7.7	1.8	6.5
特になし	6.8	15.4	8.8	4.8
無回答	5.1	0.0	5.3	5.4

※「200 床未満（かつ地域包括診療料届出あり）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-16 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外の在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数(件)	295	7	17	33	227
患者の服薬状況	78.6	57.1	82.4	90.9	78.0
残薬状況	66.4	57.1	88.2	66.7	65.2
患者の保管・管理の状況	42.7	28.6	64.7	51.5	41.4
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	60.0	42.9	52.9	60.6	61.2
処方内容に関する提案情報	43.7	14.3	52.9	45.5	44.9
その他の患者に関する情報	4.7	14.3	5.9	9.1	4.0
特になし	6.8	14.3	5.9	6.1	5.7
無回答	5.1	14.3	0.0	0.0	6.2

※「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(6) 薬局から十分にフィードバックされていない情報（調査票 3⑥）

薬局から十分にフィードバックされていない情報として、回答があった病院全体では、「患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況」が 33.5%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が 30.4%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況」が 39.1%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が 29.1%であった。

図表 3-17 薬局から十分にフィードバックされていない情報（複数回答）【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数(件)	260	11	98	151
患者の服薬状況	30.4	27.3	32.7	29.1
残薬状況	23.1	27.3	22.4	23.2
患者の保管・管理の状況	26.9	18.2	27.6	27.2
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	33.5	18.2	26.5	39.1
処方内容に関する提案情報	23.8	9.1	18.4	28.5
その他の患者に関する情報	2.7	0.0	2.0	3.3
特になし(フィードバック情報に満足している)	15.4	18.2	21.4	11.3
わからない	15.8	27.3	14.3	15.9
無回答	4.6	9.1	3.1	5.3

※ 薬局から十分にフィードバックされていない情報があると回答した病院が対象

※ 「200 床未満(かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-18 薬局から十分にフィードバックされていない情報（複数回答）
【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外の在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数(件)	260	5	16	31	200
患者の服薬状況	30.4	0.0	37.5	32.3	29.5
残薬状況	23.1	20.0	31.3	19.4	22.0
患者の保管・管理の状況	26.9	20.0	31.3	32.3	26.0
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	33.5	0.0	31.3	45.2	32.0
処方内容に関する提案情報	23.8	20.0	18.8	29.0	24.0
その他の患者に関する情報	2.7	0.0	6.3	6.5	2.0
特になし(フィードバック情報に満足している)	15.4	20.0	12.5	12.9	16.0
わからない	15.8	20.0	12.5	6.5	17.5
無回答	4.6	0.0	12.5	0.0	4.5

※ 薬局から十分にフィードバックされていない情報があると回答した病院が対象

※ 「機能強化型在宅療養支援病院(単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院(連携型)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(7) 在宅移行初期管理料の認知度 (調査票 3⑨)

在宅移行初期管理料の認知度について、回答があった病院全体では、「知らない」が 49.8%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳細は知らない」が 39.3%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院では、「知らない」が 50.6%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳細は知らない」が 42.3%であった。

図表 3-19 在宅移行初期管理料の認知度【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地 域包括診 療料届出 あり)	200床未満 (地域包 括診療料 届出な し)	200床以上
回答数 (件)	295	13	114	168
どのようなものかも知っている	6.1	23.1	11.4	1.2
聞いたことはあるが、詳細は知らない	39.3	15.4	37.7	42.3
知らない	49.8	61.5	47.4	50.6
無回答	4.7	0.0	3.5	6.0

※「200 床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-20 在宅移行初期管理料の認知度【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数 (件)	295	7	17	33	227
どのようなものかも知っている	6.1	0.0	29.4	6.1	4.0
聞いたことはあるが、詳細は知らない	39.3	28.6	23.5	48.5	40.1
知らない	49.8	57.1	47.1	42.4	50.7
無回答	4.7	14.3	0.0	3.0	5.3

※「機能強化型在宅療養支援病院 (単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院 (連携型)」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

4) 薬局からの文書による情報提供について

(1) 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験（調査票 5①）

薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験について、回答があった病院全体では、薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある病院は15.9%であった。これを病床別にみると、トレーシングレポートの提供を求めたことがある病床数病床数 200 床以上の病院は 19.6%であった。

図表 3-21 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数 (件)	295	13	114	168
求めたことがある	15.9	7.7	11.4	19.6
求めたことはない	80.7	92.3	86.0	76.2
無回答	3.4	0.0	2.6	4.2

※「200 床未満（かつ地域包括診療料届出あり）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-22 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外の在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数 (件)	295	7	17	33	227
求めたことがある	15.9	14.3	0.0	12.1	17.6
求めたことはない	80.7	85.7	100.0	87.9	78.0
無回答	3.4	0.0	0.0	0.0	4.4

※「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(2) 医療機関からの求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無（調査票 5①-1）

回答があった病院全体では、薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある病院のうち 68.1%は「遅滞なく提供された」と回答した。これを病床別にみると、トレーシングレポートの提供を求めたことがある病床数 200 床以上の病院のうち 72.7%が「遅滞なく提供された」と回答した。

図表 3-23 求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地 域包括診 療料届出 あり)	200床未満 (地域包 括診療料 届出な し)	200床以上
回答数 (件)	47	1	13	33
遅滞なく提供された	68.1	0.0	61.5	72.7
時間を要したが提供された	29.8	0.0	38.5	27.3
提供されなかった	2.1	100.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある医療機関が対象

※「200 床未満」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-24 求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無
【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数 (件)	47	1	0	4	40
遅滞なく提供された	68.1	100.0	0.0	50.0	70.0
時間を要したが提供された	29.8	0.0	0.0	25.0	30.0
提供されなかった	2.1	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある医療機関が対象

※「在宅療養支援病院ではない」以外の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(3) 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験（調査票 5②）

回答があった病院全体では、薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験がある病院は 40.0%であった。これを病床別にみると、病床数 200 床以上の病院のうち 47.6%は、薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験があった。

図表 3-25 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数 (件)	295	13	114	168
受け取ったことがある	40.0	30.8	29.8	47.6
受け取ったことはない	56.3	69.2	66.7	48.2
無回答	3.7	0.0	3.5	4.2

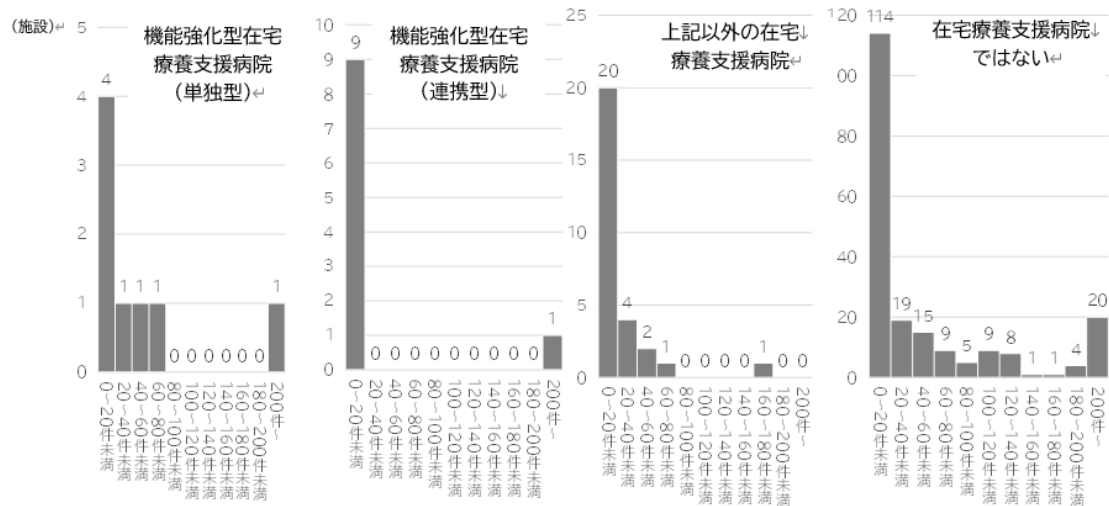
※「200 床未満（かつ地域包括診療料届出あり）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-26 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外の在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数 (件)	295	7	17	33	227
受け取ったことがある	40.0	71.4	23.5	51.5	38.3
受け取ったことはない	56.3	28.6	76.5	48.5	56.8
無回答	3.7	0.0	0.0	0.0	4.8

※「機能強化型在宅療養支援病院（単独型）」「機能強化型在宅療養支援病院（連携型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-27 (参考) 令和5年4月～6月のトレーシングレポートの受取状況
(令和5年度調査) 【在宅療養支援病院の届出区分別】



(4) これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（調査票 5②-4）

回答があった病院全体では、これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報として「残薬状況」が62.9%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が60.6%であった。これを病床別にみると、病床数200床以上の病院では、「残薬状況」が60.7%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が59.6%であった。

図表 3-28 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（複数回答）
【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地 域包括診 療料届出 あり)	200床未満 (地域包 括診療料 届出な し)	200床以上
回答数(件)	132	4	39	89
患者の服薬状況	60.6	75.0	61.5	59.6
残薬状況	62.9	75.0	66.7	60.7
患者の医薬品の保管・管理の状況	16.7	50.0	15.4	15.7
患者の服薬後のモニタリング状況	27.3	25.0	12.8	33.7
処方内容に関する提案情報	37.1	50.0	20.5	43.8
副作用の発生状況	51.5	50.0	43.6	55.1
患者の医療機関・薬局等の利用状況	11.4	25.0	10.3	11.2
その他の患者に関する情報	3.8	0.0	2.6	4.5
無回答	12.1	0.0	12.8	12.4

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある医療機関及び、医療機関からの求め以外で薬局よりトレーシングレポートを受け取ったことがある医療機関が対象

※「200床未満(かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-29 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（複数回答）
【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援病 院(単独 型)	機能強化 型在宅療 養支援病 院(連携 型)	上記以外 の在宅療 養支援病 院	在宅療養 支援病院 ではない
回答数(件)	132	5	4	19	99
患者の服薬状況	60.6	60.0	100.0	52.6	60.6
残薬状況	62.9	80.0	75.0	52.6	62.6
患者の医薬品の保管・管理の状況	16.7	40.0	0.0	21.1	15.2
患者の服薬後のモニタリング状況	27.3	20.0	25.0	31.6	28.3
処方内容に関する提案情報	37.1	40.0	25.0	21.1	40.4
副作用の発生状況	51.5	80.0	25.0	21.1	56.6
患者の医療機関・薬局等の利用状況	11.4	20.0	0.0	0.0	13.1
その他の患者に関する情報	3.8	0.0	0.0	5.3	4.0
無回答	12.1	20.0	0.0	10.5	13.1

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある医療機関及び、医療機関からの求め以外で薬局よりトレーシングレポートを受け取ったことがある医療機関が対象

※「機能強化型在宅療養支援病院(単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院(連携型)」「上記以外の在宅療養支援病院」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(5) 薬局から報告してほしい患者の情報(調査票5③)

回答があった病院全体では、薬局から報告してほしい患者の情報として「患者の服薬状況」が74.6%で最も多く、次いで「副作用の発生状況」が65.4%であった。これを病床別にみると、病床数200床以上の病院では、「副作用の発生状況」が69.6%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が69.0%であった。

図表 3-30 薬局から報告してほしい患者の情報(複数回答)【病床数別】

	合計	200床未満 (かつ地域包括診療料届出あり)	200床未満 (地域包括診療料届出なし)	200床以上
回答数(件)	295	13	114	168
患者の服薬状況	74.6	92.3	80.7	69.0
残薬状況	64.7	53.8	69.3	62.5
患者の医薬品の保管・管理の状況	34.2	53.8	40.4	28.6
患者の服薬後のモニタリング状況	41.7	38.5	35.1	46.4
処方内容に関する提案情報	35.6	53.8	28.1	39.3
副作用の発生状況	65.4	61.5	59.6	69.6
患者の医療機関・薬局等の利用状況	23.4	30.8	27.2	20.2
その他の患者に関する情報	2.4	0.0	2.6	2.4
無回答	5.4	0.0	4.4	6.5

※「200床未満(かつ地域包括診療料届出あり)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 3-31 薬局に報告してほしい患者の情報(複数回答)【在宅療養支援病院の届出区分別】

	合計	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	上記以外在宅療養支援病院	在宅療養支援病院ではない
回答数(件)	295	7	17	33	227
患者の服薬状況	74.6	71.4	88.2	81.8	73.1
残薬状況	64.7	85.7	88.2	69.7	61.2
患者の医薬品の保管・管理の状況	34.2	42.9	58.8	42.4	31.3
患者の服薬後のモニタリング状況	41.7	42.9	52.9	54.5	39.6
処方内容に関する提案情報	35.6	42.9	58.8	33.3	34.4
副作用の発生状況	65.4	57.1	58.8	69.7	66.1
患者の医療機関・薬局等の利用状況	23.4	28.6	35.3	15.2	23.8
その他の患者に関する情報	2.4	0.0	0.0	3.0	1.8
無回答	5.4	14.3	0.0	0.0	6.6

※「機能強化型在宅療養支援病院(単独型)」「機能強化型在宅療養支援病院(連携型)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

4. 診療所調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：保険医療機関のうち、地域包括診療料を届出している診療所から 125 件、地域包括診療加算を届出している診療所から 125 件、小児かかりつけ診療科を届出している診療所から 250 件、いずれも届出していない診療所から 500 件をそれぞれ無作為抽出し、合計で 1,000 件を調査対象とした。

回 答 数：319 件

回 答 者：開設者・管理者

※調査結果の図表について、「合計」欄の数値と横軸の内訳を合計した数値とが不一致となっている場合があるが、その理由は、クロス軸の設問が未回答の施設を横軸の内訳に含めていないためである。

※単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答施設の概要（令和7年7月1日現在）

(1) 所在地（調査票1①）

回答があった診療所の所在地は、「東京都」が最も多く12.9%であった。なお、大都市部（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県及び大阪府）は42.4%を占めていた。

図表 4-1 所在地

	割合		割合
回答数（件）	319	滋賀県	0.9
北海道	1.9	京都府	1.9
青森県	0.6	大阪府	6.0
岩手県	1.3	兵庫県	4.4
宮城県	0.9	奈良県	0.6
秋田県	0.9	和歌山県	1.3
山形県	0.6	鳥取県	0.6
福島県	2.5	島根県	0.3
茨城県	1.9	岡山県	2.2
栃木県	1.6	広島県	3.1
群馬県	0.9	山口県	1.3
埼玉県	6.9	徳島県	0.0
千葉県	2.8	香川県	0.9
東京都	12.9	愛媛県	1.6
神奈川県	8.8	高知県	0.9
新潟県	1.6	福岡県	6.0
富山県	0.9	佐賀県	0.3
石川県	0.9	長崎県	1.9
福井県	0.6	熊本県	1.3
山梨県	0.3	大分県	0.9
長野県	0.6	宮崎県	0.6
岐阜県	1.3	鹿児島県	0.6
静岡県	4.7	沖縄県	0.0
愛知県	5.0	無回答	0.0
三重県	1.9		

(2) 開設者（調査票1②）

回答があった診療所の開設者は「医療法人（社会医療法人を除く）」が58.3%で最も多く、次いで「個人」が36.4%であった。

図表 4-2 開設主体

	割合
回答数（件）	319
国	0.0
公立	1.9
公的	0.0
社会保険関係団体	0.0
医療法人（社会医療法人を除く）	58.3
会社	0.3
その他の法人	2.5
個人	36.4
無回答	0.6

(3) 標榜診療科（調査票1④）

標榜診療科は「内科」が57.4%で最も多く、次いで「小児科」が37.9%、「その他」が12.5%であった。

図表 4-3 標榜診療科（複数回答）

	割合
回答数（件）	319
内科	57.4
外科	11.0
精神科	9.4
小児科	37.9
皮膚科	10.3
泌尿器科	1.9
産婦人科・産科	2.2
眼科	6.0
耳鼻咽喉科	5.6
放射線科	2.8
脳神経外科	4.1
整形外科	11.9
麻酔科	2.8
救急科	0.0
歯科・歯科口腔外科	0.9
リハビリテーション科	8.8
その他	12.5
無回答	0.6

(4) 在宅療養支援診療所の届出区分(調査票1⑤)

在宅療養支援診療所の届出区分は、「機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)」は4.4%、「機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)」は10.7%、「上記以外の在宅療養支援診療所」は15.4%であった。

図表 4-4 在宅療養支援診療所の届出区分

	割合
回答数(件)	319
機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)	4.4
機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	10.7
上記以外の在宅療養支援診療所	15.4
在宅療養支援診療所ではない	64.3
無回答	5.3

2) 医薬品の処方状況について

(1) 外来の院内・院外処方の割合 (調査票 2②)

外来における院内・院外処方の割合について、全体では平均 19.6%が院内処方であり、平均 80.4%が院外処方であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、平均 6.9%が院内処方であり、平均 93.1%が院外処方であった。

図表 4-5 外来の院内・院外処方の割合
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

<院内処方>

院内処方 (%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	302	19.6	37.5	100.0	0.0	0
地域包括診療料届出あり	42	6.9	24.5	100.0	0.0	0
地域包括診療加算届出あり	35	29.5	42.9	100.0	0.0	0
小児かかりつけ診療料届出あり	75	11.3	28.9	100.0	0.0	0
届出なし	150	25.0	41.4	100.0	0.0	0

<院外処方>

院外処方 (%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	302	80.4	37.5	100.0	0.0	100
地域包括診療料届出あり	42	93.1	24.5	100.0	0.0	100
地域包括診療加算届出あり	35	70.5	42.9	100.0	0.0	100
小児かかりつけ診療料届出あり	75	88.7	28.9	100.0	0.0	100
届出なし	150	75.0	41.4	100.0	0.0	100

図表 4-6 外来の院内・院外処方の割合【在宅療養支援診療所の届出区分別】

<院内処方>

院内処方 (%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	302	19.6	37.5	100.0	0.0	0
機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)	14	13.3	33.0	100.0	0.0	0
機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	30	15.6	35.7	100.0	0.0	0
上記以外の在宅療養支援診療所	47	12.3	28.6	94.0	0.0	0
在宅療養支援診療所ではない	195	21.8	39.4	100.0	0.0	0

<院外処方>

院外処方 (%)	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数 (件)	302	80.4	37.5	100.0	0.0	100
機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)	14	86.7	33.0	100.0	0.0	100
機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	30	84.4	35.7	100.0	0.0	100
上記以外の在宅療養支援診療所	47	87.7	28.6	100.0	6.0	100
在宅療養支援診療所ではない	195	78.2	39.4	100.0	0.0	100

※「機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)」「機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

3) 薬局との連携状況について

(1) 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（調査票 3①）

医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性として、回答があった診療所全体では、「薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者」が 62.7%で最も多く、次いで「認知機能が低下している患者」が 55.5%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者」、「認知機能が低下している患者」が 89.1%で最も多かった。

図表 4-7 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性（複数回答）

【地域包括診療料届出、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	319	46	36	79	158
薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者	62.7	89.1	44.4	63.3	58.9
長期処方（処方日数28日以上）の患者	19.7	30.4	16.7	22.8	15.8
服薬アドヒアランスが不良な患者	52.0	67.4	66.7	49.4	45.6
認知機能が低下している患者	55.5	89.1	83.3	21.5	56.3
服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）を処方された患者	34.8	56.5	30.6	27.8	32.9
手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	43.6	54.3	38.9	55.7	35.4
薬剤や治療に不安を持っている患者	32.3	45.7	30.6	31.6	29.1
新規で受診した患者	20.1	28.3	11.1	16.5	21.5
ポリファーマシーの患者	28.2	50.0	33.3	19.0	25.3
特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	28.5	63.0	25.0	13.9	26.6
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	34.5	54.3	19.4	34.2	32.3
その他	3.4	2.2	2.8	3.8	3.8
無回答	7.5	2.2	5.6	7.6	9.5

図表 4-8 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要が
あると考えられる患者の属性（複数回答）【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	319	14	34	49	205
薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者	62.7	71.4	91.2	63.3	58.5
長期処方（処方日数28日以上）の患者	19.7	21.4	17.6	26.5	17.6
服薬アドヒアランスが不良な患者	52.0	50.0	64.7	65.3	48.3
認知機能が低下している患者	55.5	78.6	79.4	85.7	44.4
服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）を処方された患者	34.8	42.9	50.0	46.9	29.3
手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	43.6	42.9	47.1	55.1	41.5
薬剤や治療に不安を持っている患者	32.3	28.6	38.2	38.8	30.7
新規で受診した患者	20.1	21.4	35.3	22.4	17.1
ポリファーマシーの患者	28.2	28.6	44.1	44.9	22.0
特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	28.5	50.0	55.9	42.9	20.0
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	34.5	50.0	41.2	38.8	32.2
その他	3.4	0.0	5.9	2.0	2.4
無回答	7.5	14.3	0.0	2.0	8.8

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(2) 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患
(調査票 3②)

医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患として、回答があった診療所全体では、「認知症」が 43.6%で最も多く、次いで「糖尿病」が 39.5%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「糖尿病」が 69.6%で最も多く、次いで「認知症」が 63.0%であった。

図表 4-9 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	319	46	36	79	158
糖尿病	39.5	69.6	69.4	17.7	34.8
ぜんそく	34.5	34.8	38.9	51.9	24.7
COPD	21.9	37.0	41.7	12.7	17.7
心不全	27.3	50.0	38.9	13.9	24.7
血栓塞栓症	18.8	28.3	27.8	11.4	17.7
認知症	43.6	63.0	69.4	21.5	43.0
精神疾患	27.3	50.0	25.0	19.0	25.3
悪性腫瘍	19.7	50.0	16.7	8.9	17.1
小児慢性特定疾病	13.2	15.2	2.8	21.5	10.8
その他	7.5	2.2	5.6	6.3	10.1
無回答	18.2	6.5	5.6	20.3	23.4

図表 4-10 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患（複数回答）【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	319	14	34	49	205
糖尿病	 39.5	 57.1	 70.6	 55.1	 29.8
ぜんそく	 34.5	 28.6	 35.3	 36.7	 34.1
COPD	 21.9	 14.3	 41.2	 34.7	 16.1
心不全	 27.3	 14.3	 44.1	 49.0	 20.0
血栓塞栓症	 18.8	 14.3	 26.5	 32.7	 14.6
認知症	 43.6	 50.0	 58.8	 73.5	 35.6
精神疾患	 27.3	 35.7	 55.9	 34.7	 21.5
悪性腫瘍	 19.7	 50.0	 50.0	 30.6	 11.2
小児慢性特定疾病	 13.2	 14.3	 8.8	 10.2	 15.1
その他	 7.5	 0.0	 5.9	 6.1	 8.3
無回答	 18.2	 14.3	 5.9	 4.1	 22.0

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(3) 薬局にフォローアップして欲しい薬剤 (調査票 3③)

薬局にフォローアップして欲しい薬剤について、回答があった診療所全体では、「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が52.7%で最も多く、次いで「服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）」が45.8%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）」が71.7%で最も多く、次いで「手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）」が67.4%であった。

図表 4-11 薬局にフォローアップして欲しい薬剤 (複数回答)
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数 (件)	319	46	36	79	158
服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	45.8	71.7	52.8	32.9	43.0
手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)	52.7	67.4	50.0	59.5	45.6
注射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD治療薬等)	33.5	50.0	41.7	34.2	26.6
注射器が必要な薬剤	31.7	50.0	38.9	22.8	29.1
特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	31.3	63.0	33.3	13.9	30.4
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	45.1	65.2	55.6	41.8	38.6
その他	3.4	2.2	0.0	3.8	4.4
そのような薬剤は特にない	12.2	0.0	13.9	10.1	16.5
無回答	5.6	2.2	2.8	5.1	7.6

図表 4-12 薬局にフォローアップして欲しい薬剤 (複数回答)
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数 (件)	319	14	34	49	205
服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	45.8	42.9	73.5	59.2	37.6
手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)	52.7	50.0	58.8	65.3	48.3
注射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD治療薬等)	33.5	35.7	41.2	55.1	27.8
注射器が必要な薬剤	31.7	28.6	41.2	57.1	26.3
特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	31.3	42.9	61.8	49.0	22.0
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	45.1	64.3	67.6	53.1	38.5
その他	3.4	0.0	5.9	2.0	3.9
そのような薬剤は特にない	12.2	0.0	5.9	4.1	15.6
無回答	5.6	14.3	0.0	2.0	6.3

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(4) 十分にフィードバックされていない薬剤(調査票3④)

十分にフィードバックされていない薬剤について、回答があった診療所全体では、「そのような薬剤は特にない」が46.6%で最も多く、次いで「手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)」が20.6%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「そのような薬剤は特にない」が35.6%で最も多く、次いで「手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)」が28.9%であった。

図表 4-13 十分にフィードバックされていない薬剤(複数回答)
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数(件)	262	45	30	67	120
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)	16.4	24.4	23.3	7.5	16.7
手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)	20.6	28.9	23.3	20.9	16.7
射器以外のデバイスが必要な薬剤(COPD治療薬等)	10.7	13.3	10.0	6.0	12.5
注射器が必要な薬剤	8.4	13.3	13.3	6.0	6.7
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)	9.2	20.0	3.3	4.5	9.2
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	11.5	17.8	13.3	9.0	10.0
その他	2.7	2.2	0.0	3.0	3.3
そのような薬剤は特にない	46.6	35.6	50.0	56.7	44.2
無回答	13.4	15.6	6.7	9.0	16.7

※十分にフィードバックされていない薬剤を回答した診療所が対象

図表 4-14 十分にフィードバックされていない薬剤(複数回答)
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数(件)	262	12	32	46	160
服用方法に注意が必要な薬剤(ビスフォス等)	16.4	16.7	21.9	23.9	13.8
手技を伴う薬剤(点鼻剤、注射剤等)	20.6	25.0	28.1	23.9	16.9
射器以外のデバイスが必要な薬剤(COPD治療薬等)	10.7	0.0	12.5	19.6	8.8
注射器が必要な薬剤	8.4	8.3	9.4	10.9	8.1
特に副作用に注意すべき薬剤(抗がん剤等)	9.2	8.3	25.0	8.7	6.3
特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	11.5	41.7	9.4	15.2	9.4
その他	2.7	0.0	6.3	0.0	3.1
そのような薬剤は特にない	46.6	16.7	40.6	43.5	51.3
無回答	13.4	16.7	12.5	10.9	13.1

※十分にフィードバックされていない薬剤を回答した診療所が対象

※「機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(5) 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（調査票 3⑤）

薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報について、回答があった診療所全体では、「患者の服薬状況」が 63.3%で最も多く、次いで「残薬状況」が 62.1%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「患者の服薬状況」、「残薬状況」が 87.0%で最も多かった。

図表 4-15 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）

【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	319	46	36	79	158
患者の服薬状況	63.3	87.0	72.2	64.6	53.8
残薬状況	62.1	87.0	80.6	55.7	53.8
患者の保管・管理の状況	34.5	50.0	36.1	26.6	33.5
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	30.1	56.5	38.9	19.0	25.9
処方内容に関する提案情報	31.0	45.7	33.3	35.4	24.1
その他の患者に関する情報	5.3	8.7	2.8	2.5	6.3
特になし	13.8	2.2	5.6	15.2	18.4
無回答	5.6	2.2	5.6	5.1	7.0

図表 4-16 薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報（複数回答）【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	319	14	34	49	205
患者の服薬状況	63.3	71.4	85.3	81.6	56.1
残薬状況	62.1	71.4	85.3	83.7	54.6
患者の保管・管理の状況	34.5	28.6	44.1	53.1	29.8
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	30.1	42.9	55.9	40.8	22.9
処方内容に関する提案情報	31.0	21.4	55.9	44.9	24.4
その他の患者に関する情報	5.3	0.0	5.9	8.2	3.4
特になし	13.8	0.0	2.9	6.1	18.0
無回答	5.6	14.3	2.9	2.0	5.9

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(6) 薬局からフィードバックされる情報のうち十分にフィードバックされていない情報（調査票 3⑥）

薬局からフィードバックされる情報のうち十分にフィードバックされていない情報について、回答があった診療所全体では、「特になし」が 33.5%で最も多く、次いで「残薬状況」が 25.7%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「残薬状況」が 40.9%で最も多く、次いで「患者の服薬状況」が 34.1%であった。

図表 4-17 薬局からフィードバックされる情報のうち十分にフィードバックされていない情報（複数回答）

【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	257	44	32	63	118
患者の服薬状況	23.7	34.1	12.5	27.0	21.2
残薬状況	25.7	40.9	21.9	23.8	22.0
患者の保管・管理の状況	19.8	27.3	21.9	15.9	18.6
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	17.1	29.5	28.1	9.5	13.6
処方内容に関する提案情報	10.5	22.7	12.5	7.9	6.8
その他の患者に関する情報	3.1	4.5	3.1	0.0	4.2
特になし	33.5	20.5	31.3	39.7	35.6
わからない	14.8	9.1	15.6	17.5	15.3
無回答	4.7	11.4	0.0	1.6	5.1

※ 薬局から十分にフィードバックされていない情報があると回答した診療所が対象

図表 4-18 薬局からフィードバックされる情報のうち十分にフィードバックされていない情報（複数回答）【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	257	12	32	45	156
患者の服薬状況	23.7	16.7	25.0	31.1	22.4
残薬状況	25.7	16.7	28.1	40.0	22.4
患者の保管・管理の状況	19.8	16.7	21.9	31.1	17.9
患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	17.1	25.0	25.0	22.2	13.5
処方内容に関する提案情報	10.5	16.7	21.9	20.0	4.5
その他の患者に関する情報	3.1	0.0	6.3	4.4	1.3
特になし	33.5	16.7	34.4	31.1	35.9
わからない	14.8	8.3	9.4	8.9	17.9
無回答	4.7	16.7	3.1	4.4	3.8

※ 薬局から十分にフィードバックされていない情報があると回答した診療所が対象

※ 「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(7) 在宅移行初期管理料の認知度 (調査票 3⑨)

在宅移行初期管理料の認知度について、回答があった診療所全体では、「知らない」が 68.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳細は知らない」が 16.9%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「知らない」が 43.5%で最も多く、次いで「どのようなものかも知っている」が 28.3%であった。

図表 4-19 在宅移行初期管理料の認知度
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数 (件)	319	46	36	79	158
どのようなものかも知っている	9.4	28.3	8.3	2.5	7.6
聞いたことはあるが、詳細は知らない	16.9	26.1	11.1	15.2	16.5
知らない	68.0	43.5	80.6	74.7	69.0
無回答	5.6	2.2	0.0	7.6	7.0

図表 4-20 在宅移行初期管理料の認知度【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数 (件)	319	14	34	49	205
どのようなものかも知っている	9.4	50.0	23.5	14.3	3.9
聞いたことはあるが、詳細は知らない	16.9	21.4	20.6	22.4	13.2
知らない	68.0	21.4	47.1	61.2	78.0
無回答	5.6	7.1	8.8	2.0	4.9

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

4) 薬局からの文書による情報提供について

(1) 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験 (調査票 5①)

回答があった診療所全体では、薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所は 8.5%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、トレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所は 19.6%であった。

図表 4-21 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数 (件)	319	46	36	79	158
求めたことがある	8.5	19.6	16.7	7.6	3.8
求めたことはない	89.0	80.4	83.3	88.6	93.0
無回答	2.5	0.0	0.0	3.8	3.2

図表 4-22 薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めた経験
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数 (件)	319	14	34	49	205
求めたことがある	8.5	21.4	17.6	10.2	6.3
求めたことはない	89.0	71.4	82.4	89.8	91.7
無回答	2.5	7.1	0.0	0.0	2.0

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(2) 診療所からの求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無（調査票 5 ①-1）

薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所全体では、薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所のうち 81.5%（27 件のうち 22 件）は「遅滞なく提供された」と回答した。なお、回答数が 30 件未満であり、解釈には注意が必要である。

図表 4-23 求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	27	9	6	6	6
遅滞なく提供された	81.5	77.8	83.3	100.0	66.7
時間を要したが提供された	14.8	22.2	0.0	0.0	33.3
提供されなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.7	0.0	16.7	0.0	0.0

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所が対象

※全体の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 4-24 求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供有無
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	27	3	6	5	13
遅滞なく提供された	81.5	100.0	66.7	100.0	76.9
時間を要したが提供された	14.8	0.0	33.3	0.0	15.4
提供されなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.7	0.0	0.0	0.0	7.7

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所が対象

※全体の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(3) 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験（調査票 5②）

回答があった診療所全体では、薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験がある診療所は 21.9%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験がある診療所は 39.1%であり、他の届出施設よりも回答割合が高かった。

図表 4-25 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	319	46	36	79	158
受け取ったことがある	21.9	39.1	25.0	15.2	19.6
受け取ったことはない	74.3	60.9	75.0	81.0	74.7
無回答	3.8	0.0	0.0	3.8	5.7

図表 4-26 薬局から処方前にトレーシングレポートを受け取った経験
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	319	14	34	49	205
受け取ったことがある	21.9	35.7	41.2	34.7	15.1
受け取ったことはない	74.3	57.1	58.8	65.3	81.0
無回答	3.8	7.1	0.0	0.0	3.9

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(4) これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（調査票 5②-4）

これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報について、回答があった診療所全体では、「患者の服薬状況」が 59.3%で最も多く、次いで「残薬状況」が 58.1%であった。

図表 4-27 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（複数回答）
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数（件）	86	23	12	16	35
患者の服薬状況	59.3	56.5	75.0	56.3	57.1
残薬状況	58.1	73.9	66.7	56.3	45.7
患者の医薬品の保管・管理の状況	16.3	17.4	8.3	18.8	17.1
患者の服薬後のモニタリング状況	14.0	13.0	0.0	25.0	14.3
処方内容に関する提案情報	30.2	43.5	25.0	18.8	28.6
副作用の発生状況	20.9	30.4	16.7	18.8	17.1
患者の医療機関・薬局等の利用状況	11.6	17.4	16.7	0.0	11.4
その他の患者に関する情報	4.7	4.3	0.0	12.5	2.9
無回答	12.8	13.0	8.3	12.5	14.3

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所及び、診療所からの求め以外で薬局よりトレーシングレポートを受け取ったことがある診療所が対象

※「地域包括診療料届出あり」「地域包括診療加算届出あり」「小児かかりつけ診療料届出あり」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 4-28 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報（複数回答）
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数（件）	86	6	17	18	42
患者の服薬状況	59.3	83.3	52.9	66.7	54.8
残薬状況	58.1	83.3	70.6	55.6	50.0
患者の医薬品の保管・管理の状況	16.3	0.0	17.6	11.1	19.0
患者の服薬後のモニタリング状況	14.0	0.0	11.8	22.2	14.3
処方内容に関する提案情報	30.2	33.3	23.5	55.6	21.4
副作用の発生状況	20.9	16.7	23.5	33.3	14.3
患者の医療機関・薬局等の利用状況	11.6	0.0	11.8	27.8	7.1
その他の患者に関する情報	4.7	0.0	0.0	5.6	7.1
無回答	12.8	0.0	17.6	0.0	16.7

※薬局に対してトレーシングレポートの提供を求めたことがある診療所及び、診療所からの求め以外で薬局よりトレーシングレポートを受け取ったことがある診療所が対象

※「機能強化型在宅療養支援診療所（単独型）」「機能強化型在宅療養支援診療所（連携型）」「上記以外の在宅療養支援診療所」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

(5) 薬局から報告してほしい患者の情報(調査票5③)

回答があった診療所全体では、薬局から報告してほしい患者の情報として「患者の服薬状況」が66.1%で最も多く、次いで「残薬状況」が59.6%であった。地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別にみると、地域包括診療料の届出施設では、「患者の服薬状況」、「残薬状況」が84.8%で最も多かった。

図表 4-29 薬局から報告してほしい患者の情報(複数回答)
【地域包括診療料、地域包括診療加算、小児かかりつけ診療料の届出施設別】

	合計	地域包括 診療料届 出あり	地域包括 診療加算 届出あり	小児かか りつけ診 療料届出 あり	届出なし
回答数(件)	319	46	36	79	158
患者の服薬状況	66.1	84.8	63.9	63.3	62.7
残薬状況	59.6	84.8	77.8	45.6	55.1
患者の医薬品の保管・管理の状況	31.3	50.0	25.0	29.1	28.5
患者の服薬後のモニタリング状況	16.6	39.1	16.7	15.2	10.8
処方内容に関する提案情報	29.8	39.1	33.3	35.4	23.4
副作用の発生状況	47.3	63.0	38.9	44.3	46.2
患者の医療機関・薬局等の利用状況	18.8	32.6	22.2	17.7	14.6
その他の患者に関する情報	1.6	4.3	0.0	0.0	1.9
無回答	7.8	0.0	5.6	7.6	10.8

図表 4-30 薬局に報告してほしい患者の情報(複数回答)
【在宅療養支援診療所の届出区分別】

	合計	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(単 独型)	機能強化 型在宅療 養支援診 療所(連 携型)	上記以外 の在宅療 養支援診 療所	在宅療養 支援診療 所ではな い
回答数(件)	319	14	34	49	205
患者の服薬状況	66.1	78.6	79.4	77.6	61.0
残薬状況	59.6	78.6	82.4	77.6	50.7
患者の医薬品の保管・管理の状況	31.3	21.4	47.1	46.9	26.3
患者の服薬後のモニタリング状況	16.6	14.3	38.2	16.3	14.1
処方内容に関する提案情報	29.8	14.3	52.9	34.7	25.9
副作用の発生状況	47.3	57.1	55.9	51.0	44.9
患者の医療機関・薬局等の利用状況	18.8	14.3	29.4	26.5	16.6
その他の患者に関する情報	1.6	0.0	2.9	2.0	1.0
無回答	7.8	7.1	0.0	4.1	9.3

※「機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

5. 患者調査（郵送調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票

調査対象：保険薬局調査の対象施設（地域支援体制加算 1・2 を届出している保険薬局）の調査日に来局した患者を調査対象とした。保険薬局に対し、特定の 1 日を調査日として決めた上で、調査日の午前・午後それぞれに最初に来局された方に調査票等一式を配布するよう依頼した（1 施設につき 2 人が本調査の対象）。なお、午前・午後それぞれの時間帯に来局者がなかった場合は、調査日を翌日に変更し、同様に患者に配布するよう依頼した。

回 答 数：1076 人

回 答 者：患者本人もしくは家族

※調査結果の図表について、「合計」欄の数値と横軸の内訳を合計した数値とが不一致となっている場合があるが、その理由は、クロス軸の設問が未回答の患者を横軸の内訳に含めていないためである。

※単純集計・クロス集計の各図に記載された「回答数（件）」の数値は実際の全回答者数、同じ列のそれ以外の項目の数値は全回答者数に対する設問の選択肢の回答者の割合（％）をそれぞれ示し、オレンジのバーは回答者の割合の大きさを視覚的に表している。

1) 回答者（患者）について

(1) 性別（調査票問2）

回答者の性別は、「男性」が37.8%、「女性」が61.8%であった。

図表 5-1 性別【年代別】

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（件）	1076	59	49	98	131	155	188	212	180
男性	37.8	35.6	22.4	36.7	42.0	29.7	37.8	46.2	37.8
女性	61.8	64.4	77.6	63.3	57.3	70.3	62.2	52.8	62.2
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.9	0.0

(2) 年代（調査票問2）

回答者の年代については、「70歳代」が19.7%で最も多く、次いで「60歳代」が17.5%であった。

図表 5-2 年齢【性別】

	合計	男性	女性
回答数（件）	1076	407	665
20歳未満	5.5	5.2	5.7
20歳代	4.6	2.7	5.7
30歳代	9.1	8.8	9.3
40歳代	12.2	13.5	11.3
50歳代	14.4	11.3	16.4
60歳代	17.5	17.4	17.6
70歳代	19.7	24.1	16.8
80歳以上	16.7	16.7	16.8
無回答	0.4	0.2	0.3

（３）居住地（調査票問２）

回答者の居住地は、「東京都」が最も多く 8.1%であった。

なお、大都市部（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県及び大阪府）は 33.7%を占めていた。

図表 5-3 居住地

	割合
回答数（件）	1076
北海道	4.8
青森県	0.7
岩手県	0.9
宮城県	2.6
秋田県	1.0
山形県	0.7
福島県	0.7
茨城県	2.4
栃木県	1.8
群馬県	1.6
埼玉県	4.6
千葉県	4.4
東京都	8.1
神奈川県	4.8
新潟県	1.9
富山県	1.5
石川県	0.7
福井県	0.5
山梨県	0.2
長野県	1.7
岐阜県	2.0
静岡県	3.9
愛知県	5.8
三重県	0.8

	割合
滋賀県	0.5
京都府	0.9
大阪府	6.0
兵庫県	4.9
奈良県	0.7
和歌山県	0.5
鳥取県	0.5
島根県	0.8
岡山県	2.0
広島県	1.8
山口県	1.3
徳島県	0.2
香川県	1.2
愛媛県	0.8
高知県	1.5
福岡県	7.2
佐賀県	1.0
長崎県	1.5
熊本県	0.9
大分県	1.0
宮崎県	0.7
鹿児島県	1.8
沖縄県	1.1
無回答	3.2

（４）定期的・継続的に受診している医療機関数（調査票問４）

定期的・継続的に受診している医療機関数の平均は、男性は 1.9 箇所、女性は 2.0 箇所であった。年代別にみると 80 歳以上は 2.4 箇所であった。

図表 5-4 定期的・継続的に受診している医療機関数【性別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
男性	405	1.9	1.2	7.0	0.0	2
女性	661	2.0	1.1	8.0	0.0	2

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

図表 5-5 定期的・継続的に受診している医療機関数【年代別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数（件）	1069	1.9	1.2	8.0	0.0	2
20歳未満	58	1.6	1.0	6.0	0.0	1
20歳代	49	1.5	0.9	4.0	0.0	1
30歳代	98	1.4	1.2	6.0	0.0	1
40歳代	130	1.4	1.0	4.0	0.0	1
50歳代	155	1.7	0.9	5.0	0.0	2
60歳代	186	2.0	1.0	7.0	0.0	2
70歳代	211	2.3	1.2	7.0	1.0	2
80歳以上	179	2.4	1.3	8.0	1.0	2

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

（５） 定期的・継続的に利用している保険薬局数（調査票問４）

定期的・継続的に利用している保険薬局数の平均は男性は1.1箇所、女性は1.2箇所であった。年代別にみると80歳以上は1.4箇所であった。また、定期的・継続的に受診している医療機関数が増えるほど、定期的・継続的に利用している保険薬局数も増える傾向にあった。

図表 5-6 定期的・継続的に利用している保険薬局数【性別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
男性	399	1.1	0.6	4.0	0.0	1
女性	652	1.2	0.6	4.0	0.0	1

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

図表 5-7 定期的・継続的に利用している保険薬局数【年代別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数（件）	1054	1.2	0.6	4.0	0.0	1
20歳未満	56	1.2	0.6	3.0	0.0	1
20歳代	49	1.0	0.6	4.0	0.0	1
30歳代	98	1.0	0.7	4.0	0.0	1
40歳代	129	1.0	0.6	4.0	0.0	1
50歳代	152	1.2	0.5	4.0	0.0	1
60歳代	186	1.2	0.5	3.0	0.0	1
70歳代	210	1.3	0.6	4.0	1.0	1
80歳以上	171	1.4	0.7	4.0	1.0	1

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

図表 5-8 定期的・継続的に利用している保険薬局数
【定期的に受診している医療機関数別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数（件）	1054	1.2	0.6	4.0	0.0	1
0箇所	53	0.1	0.4	2.0	0.0	0
1箇所	384	1.0	0.2	3.0	0.0	1
2箇所	345	1.2	0.4	3.0	0.0	1
3箇所	180	1.5	0.7	4.0	0.0	1
4箇所以上	90	1.7	1.0	4.0	1.0	1

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

図表 5-9 定期的・継続的に利用している保険薬局数【かかりつけ薬剤師の有無別】

	件数	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値
回答数（件）	1054	1.2	0.6	4.0	0.0	1
かかりつけ薬剤師がいる	538	1.2	0.6	4.0	0.0	1
かかりつけ薬剤師がいない	508	1.1	0.6	4.0	0.0	1

※本表の「平均値」「標準偏差」「最大値」「最小値」「中央値」はすべて「箇所」を単位としている。

（６）定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局の状況
（調査票問５）

定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局の状況については、医療機関、保険薬局が「どちらも住んでいる地域にある」が70.2%で最も多かった。年代別やかかりつけ薬剤師の有無別でみても、全体の傾向と大きな違いはみられなかった。

図表 5-10 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局の場所【性別】

	合計	男性	女性
回答数（件）	1076	407	665
医師の定期的な訪問がある	11.2	11.5	11.0
保険薬局のみ住んでいる地域にある	9.9	9.8	10.1
どちらも住んでいる地域にある	70.2	68.8	71.0
どちらも住んでいる地域にない（遠方まで行く必要がある）	6.7	7.6	6.2
無回答	2.0	2.2	1.8

図表 5-11 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局の場所【年代別】

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（件）	1076	59	49	98	131	155	188	212	180
医療機関のみ住んでいる地域にある	11.2	11.9	8.2	9.2	6.9	11.6	12.2	9.9	16.1
保険薬局のみ住んでいる地域にある	9.9	8.5	6.1	9.2	6.9	7.1	12.2	11.3	12.8
どちらも住んでいる地域にある	70.2	74.6	73.5	70.4	74.0	76.8	67.0	68.9	63.9
どちらも住んでいる地域にない（遠方まで行く必要がある）	6.7	3.4	12.2	6.1	8.4	3.2	7.4	8.5	5.6
無回答	2.0	1.7	0.0	5.1	3.8	1.3	1.1	1.4	1.7

図表 5-12 定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局の場所【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	1076	553	515
医師の定期的な訪問がある	11.2	11.8	10.3
保険薬局のみ住んでいる地域にある	9.9	12.1	7.6
どちらも住んでいる地域にある	70.2	68.2	72.4
どちらも住んでいる地域にない（遠方まで行く必要がある）	6.7	6.3	7.2
無回答	2.0	1.6	2.5

2) かかりつけ薬剤師について

(1) かかりつけ薬剤師の有無（調査票問 15）

かかりつけ薬剤師が「いる」と回答した割合は51.4%、「いない」と回答した割合は47.9%であった。調査票を受け取った保険薬局の地域支援体制加算有無別にみると、地域支援体制加算ありの保険薬局にて調査票を受け取った患者では、かかりつけ薬剤師が「いる」と回答した割合が59.2%と、地域支援体制加算なしの保険薬局にて調査票を受け取った患者よりも多かった。さらに年代別にみると、20歳代、30歳代で「いる」と回答した割合が他の年代に比べて低い傾向が見られた。

図表 5-13 かかりつけ薬剤師の有無【単純集計】

	割合
回答数（件）	1076
いる	51.4
いない	47.9
無回答	0.7

図表 5-14 かかりつけ薬剤師の有無
【調査票を受け取った保険薬局の地域支援体制加算有無別】

	合計	地域支援 体制加算 ありの保 険薬局の 来局者	地域支援 体制加算 なしの保 険薬局の 来局者
回答数（件）	1076	611	461
いる	51.4	59.2	41.0
いない	47.9	40.1	58.1
無回答	0.7	0.7	0.9

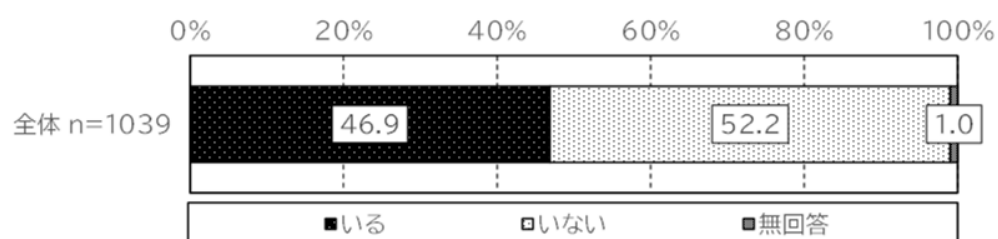
図表 5-15 かかりつけ薬剤師の有無【年代別】

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（件）	1076	59	49	98	131	155	188	212	180
いる	51.4	57.6	30.6	23.5	42.7	41.9	49.5	63.2	73.3
いない	47.9	42.4	69.4	76.5	57.3	57.4	50.0	35.4	25.0
無回答	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	1.4	1.7

図表 5-16 かかりつけ薬剤師の有無【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	1076	54	390	351	182	92
いる	51.4	16.7	45.6	52.4	63.7	68.5
いない	47.9	83.3	53.8	47.0	34.6	30.4
無回答	0.7	0.0	0.5	0.6	1.6	1.1

図表 5-17 （参考）かかりつけ薬剤師の有無（令和5年度調査）【単純集計】



（２）「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へのサイン状況（調査票問 16）

「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へ「サインしたことがあり、同意した」と回答した割合が 38.7%であった。かかりつけ薬剤師がいるが、「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へ「サインしたことはない」と回答した患者は 16.8%であった。

図表 5-18 「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へのサイン有無【単純集計】

	割合
回答数（件）	1076
サインしたことがあり、同意した	38.7
サインしたことがあるが、同意しなかった	0.1
サインしたことはない	50.9
サインしたことがあるかわからない	8.4
無回答	2.0

図表 5-19 「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へのサイン有無【年代別】

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
回答数（件）	1076	59	49	98	131	155	188	212	180
サインしたことがあり、同意した	38.7	54.2	18.4	19.4	34.4	25.8	37.2	45.8	57.2
サインしたことがあるが、同意しなかった	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
サインしたことはない	50.9	44.1	75.5	72.4	58.0	62.6	48.9	42.5	31.7
サインしたことがあるかわからない	8.4	1.7	6.1	4.1	6.1	9.0	10.6	10.8	8.9
無回答	2.0	0.0	0.0	4.1	1.5	2.6	2.7	0.9	2.2

図表 5-20 「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へのサイン有無
【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	1076	54	390	351	182	92
サインしたことがあり、同意した	38.7	14.8	33.8	39.0	51.1	47.8
サインしたことがあるが、同意しなかった	0.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
サインしたことはない	50.9	79.6	55.6	50.7	38.5	39.1
サインしたことがあるかわからない	8.4	3.7	9.0	8.0	7.7	10.9
無回答	2.0	1.9	1.5	2.0	2.7	2.2

図表 5-21 「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書へのサイン有無
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	1076	553	515
サインしたことがあり、同意した	38.7	74.0	1.4
サインしたことがあるが、同意しなかった	0.1	0.0	0.2
サインしたことはない	50.9	16.8	88.0
サインしたことがあるかわからない	8.4	8.3	8.5
無回答	2.0	0.9	1.9

（３）「かかりつけ薬剤師」に重視すること（調査票問 17）

かかりつけ薬剤師に重視することとして、全体では、「いろいろな医療機関で出される薬について重複しているものがないか、飲み合わせが大丈夫かなどを確認してもらえること」が 67.6%で最も多く、次いで「自分の飲んでいる（使用している）薬をすべて把握してくれること」が 59.9%であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、かかりつけ薬剤師がいる患者では、「自分の飲んでいる（使用している）薬をすべて把握してくれること」が 69.1%で最も多く、次いで「いろいろな医療機関で出される薬について重複しているものがないか、飲み合わせが大丈夫かなどを確認してもらえること」が 68.0%であった。いずれの項目も、かかりつけ薬剤師がいない患者よりも割合が高かった。

図表 5-22 「かかりつけ薬剤師」に重視すること（複数回答）
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	1076	553	515
生活情報や習慣などを理解した上で薬について説明などをしてくれること	52.5	59.9	44.5
自分の飲んでいる（使用している）薬をすべて把握してくれること	59.9	69.1	49.9
いろいろな医療機関で出される薬について重複しているものがないか、飲み合わせが大丈夫かなどを確認してもらえること	67.6	68.0	67.0
残っている薬がないかなどを確認してくれて、残っている薬がある場合は処方医に問合せを行ってくれるなど、調整してくれること	32.2	38.0	25.6
飲み忘れがないよう、薬を一つの小袋（一包化）に入れて渡してくれるなど、服薬管理・指導を丁寧にしてくれること	23.6	31.6	14.4
薬についてわかりやすく説明してくれること	55.6	62.6	48.2
薬に関する相談に対応してくれること	57.7	63.8	51.5
後発医薬品についての使用希望を聞いてくれること	18.3	23.0	12.8
医療機関についての相談ができること	24.4	28.4	20.2
薬を処方した医師・医療機関と情報共有ができていること	29.4	34.2	23.9
自分が使用している薬を必ず確保してくれること	29.2	34.0	23.7
保険薬局が閉まっている時間帯でも電話相談ができること	19.7	23.5	15.5
介護が必要になっても訪問して薬を管理してくれること	13.3	13.7	12.4
その他	1.9	2.4	1.2
無回答	1.3	0.5	1.7

3) 服薬指導について

(1) 直近1か月以内における服薬指導の経験（調査票問11）

直近1か月以内に服薬指導を「受けた」と回答した割合は、全体で74.2%であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、直近1か月以内に服薬指導を「受けた」と回答した割合は、かかりつけ薬剤師がいる患者では80.5%であった。また、定期的に受診している医療機関・利用している保険薬局数が0箇所の患者は服薬指導を「受けていない」と回答した患者が多かった。

図表 5-23 服薬指導の有無【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	1076	553	515
受けた	74.2	80.5	67.8
受けていない	25.3	19.2	31.7
無回答	0.6	0.4	0.6

図表 5-24 服薬指導の有無
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	1076	409	139	7	498
受けた	74.2	84.4	69.1	85.7	67.3
受けていない	25.3	15.2	30.9	14.3	32.1
無回答	0.6	0.5	0.0	0.0	0.6

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-25 服薬指導の有無【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以 上
回答数（件）	1076	54	390	351	182	92
受けた	74.2	33.3	70.8	79.2	82.4	78.3
受けていない	25.3	66.7	28.2	20.2	17.6	21.7
無回答	0.6	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0

図表 5-26 服薬指導の有無【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	1076	53	815	144	31	11
受けた	74.2	30.2	76.6	75.0	80.6	72.7
受けていない	25.3	69.8	22.7	25.0	19.4	27.3
無回答	0.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0

※「4箇所以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-27 服薬指導の有無【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な 処方薬あ り	定期的な 処方薬な し
回答数（件）	1076	926	127
受けた	74.2	78.9	41.7
受けていない	25.3	20.5	58.3
無回答	0.6	0.5	0.0

（２）服薬指導に対する評価（調査票問 11-2）

直近 1 か月以内に服薬指導を「受けた」と回答した患者について、服薬指導が役に立ったか尋ねたところ、「役に立った」と回答した割合は、全体で 69.0%であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、「役に立った」と回答した割合は、かかりつけ薬剤師がいる患者では 76.2%、かかりつけ薬剤師がいない患者では 59.6%であった。

図表 5-28 服薬指導に対する評価【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	798	445	349
役に立った	69.0	76.2	59.6
どちらかというと役に立った	27.9	22.2	35.5
どちらかというと役に立たなかった	1.6	0.9	2.6
役に立たなかった	0.9	0.0	2.0
無回答	0.5	0.7	0.3

※直近 1 か月以内に服薬指導を受けた患者が対象

図表 5-29 服薬指導に対する評価
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	798	345	96	6	335
役に立った	69.0	77.1	74.0	50.0	59.7
どちらかというと役に立った	27.9	21.2	25.0	50.0	35.5
どちらかというと役に立たなかった	1.6	1.2	0.0	0.0	2.7
役に立たなかった	0.9	0.0	0.0	0.0	2.1
無回答	0.5	0.6	1.0	0.0	0.0

※直近 1 か月以内に服薬指導を受けた患者が対象

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-30 服薬指導に対する評価【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	798	18	276	278	150	72
役に立った	69.0	66.7	68.1	68.7	70.0	72.2
どちらかというと役に立った	27.9	27.8	30.1	27.0	27.3	25.0
どちらかというと役に立たなかった	1.6	5.6	0.7	2.2	1.3	2.8
役に立たなかった	0.9	0.0	1.1	1.1	0.7	0.0
無回答	0.5	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0

※ 直近1か月以内に服薬指導を受けた患者が対象

図表 5-31 服薬指導に対する評価【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	798	16	624	108	25	8
役に立った	69.0	62.5	68.9	66.7	84.0	75.0
どちらかというと役に立った	27.9	31.3	28.8	25.9	12.0	25.0
どちらかというと役に立たなかった	1.6	6.3	1.1	3.7	4.0	0.0
役に立たなかった	0.9	0.0	0.5	3.7	0.0	0.0
無回答	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0

※ 直近1か月以内に服薬指導を受けた患者が対象

※ 「0箇所」「3箇所」「4箇所以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-32 服薬指導に対する評価【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な 処方薬あり	定期的な 処方薬なし
回答数（件）	798	731	53
役に立った	69.0	68.9	64.2
どちらかというと役に立った	27.9	28.0	32.1
どちらかというと役に立たなかった	1.6	1.6	1.9
役に立たなかった	0.9	1.0	0.0
無回答	0.5	0.4	1.9

※ 直近1か月以内に服薬指導を受けた患者が対象

（３）服薬指導に対する評価の理由（調査票問 11-3、問 11-4）

服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者について、その理由を尋ねたところ、全体では「薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから」が 64.1%、「疑問や不安が解消したから」が 55.3%であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、いずれの場合でも「薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから」は 6 割超であったが、「疑問や不安が解消したから」の割合は、かかりつけ薬剤師がいる場合は 63.0%、いない場合では 45.2%であった。

図表 5-33 服薬指導が役に立ったと感じた理由（複数回答）
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	774	438	332
薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	64.1	60.0	69.3
疑問や不安が解消したから	55.3	63.0	45.2
その他	3.7	4.6	2.4
無回答	0.8	0.7	0.9

※服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者が対象

図表 5-34 服薬指導が役に立ったと感じた理由（複数回答）
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	774	339	95	6	319
薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	64.1	60.2	58.9	83.3	68.3
疑問や不安が解消したから	55.3	64.0	58.9	33.3	46.1
その他	3.7	5.3	2.1	0.0	2.5
無回答	0.8	0.6	1.1	0.0	0.9

※服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者が対象

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-35 服薬指導が役に立ったと感じた理由（複数回答）
【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	774	17	271	266	146	70
薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	64.1	64.7	65.7	62.0	65.8	61.4
疑問や不安が解消したから	55.3	70.6	48.0	57.9	64.4	54.3
その他	3.7	5.9	3.7	3.4	3.4	5.7
無回答	0.8	0.0	0.7	0.4	1.4	0.0

※服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者が対象

※「0箇所」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-36 服薬指導が役に立ったと感じた理由（複数回答）
【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	774	15	610	100	24	8
薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	64.1	53.3	64.1	67.0	58.3	62.5
疑問や不安が解消したから	55.3	73.3	55.1	54.0	58.3	62.5
その他	3.7	0.0	3.9	3.0	4.2	0.0
無回答	0.8	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0

※服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者が対象

※「0箇所」「3箇所」「4箇所以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-37 服薬指導が役に立ったと感じた理由（複数回答）
【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な 処方薬あり	定期的な 処方薬なし
回答数（件）	774	709	51
薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	64.1	64.5	56.9
疑問や不安が解消したから	55.3	54.9	60.8
その他	3.7	3.9	0.0
無回答	0.8	0.7	0.0

※服薬指導が「役に立った」「どちらかという役に立った」と回答した患者が対象

4) 服薬期間中のフォローアップについて

(1) 服薬期間中のフォローアップ経験（調査票問 14）

服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けたこと（服薬期間中のフォローアップを受けたこと）があるか尋ねたところ、「確認を受けたことがある」の割合は、全体では 21.5%であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、「確認を受けたことがある」の割合は、かかりつけ薬剤師がいる場合では 32.9%、いない場合では 9.1%であった。また、定期的に受診している医療機関が多いほど「確認を受けたことがある」の割合が高い傾向が見られた。

図表 5-38 服薬期間中のフォローアップの有無
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	1076	553	515
確認を受けたことがある	21.5	32.9	9.1
確認を受けたことはない	77.8	66.0	90.7
無回答	0.7	1.1	0.2

図表 5-39 服薬期間中のフォローアップの有無
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	1076	409	139	7	498
確認を受けたことがある	21.5	38.6	14.4	14.3	9.2
確認を受けたことはない	77.8	60.9	82.7	85.7	90.6
無回答	0.7	0.5	2.9	0.0	0.2

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-40 服薬期間中のフォローアップの有無【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	1076	54	390	351	182	92
確認を受けたことがある	21.5	7.4	16.9	22.5	29.7	29.3
確認を受けたことはない	77.8	92.6	82.6	76.6	69.2	69.6
無回答	0.7	0.0	0.5	0.9	1.1	1.1

図表 5-41 服薬期間中のフォローアップの有無【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	1076	53	815	144	31	11
確認を受けたことがある	21.5	3.8	22.5	20.1	25.8	0.0
確認を受けたことはない	77.8	96.2	76.9	78.5	74.2	100.0
無回答	0.7	0.0	0.6	1.4	0.0	0.0

※「4箇所以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-42 服薬期間中のフォローアップの有無【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な 処方薬あり	定期的な 処方薬なし
回答数（件）	1076	926	127
確認を受けたことがある	21.5	23.1	11.0
確認を受けたことはない	77.8	76.1	89.0
無回答	0.7	0.8	0.0

（２）服薬期間中のフォローアップに対する評価（調査票問 14-1）

服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」（服薬期間中のフォローアップを受けたことがある）と回答した患者について、確認を受けてよかったか尋ねたところ、「よかった」と回答した割合は、全体で 97.8%であり、「よくなかった」と回答した割合は 2.2%（5 件）であった。

かかりつけ薬剤師の有無別にみると、「よかった」と回答した割合は、かかりつけ薬剤師がいる患者では 98.9%、かかりつけ薬剤師がいない患者では 93.6%であった。

かかりつけ薬剤師指導料の同意の有無別にみると、「よかった」と回答した割合は「かかりつけ薬剤師があり、同意した」患者では 98.7%であった。

図表 5-43 服薬期間中のフォローアップに対する評価
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	231	182	47
よかった	97.8	98.9	93.6
よくなかった	2.2	1.1	6.4
無回答	0.0	0.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」と回答した患者が対象

図表 5-44 服薬期間中のフォローアップに対する評価
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ薬剤師指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	231	158	20	1	46
よかった	97.8	98.7	100.0		93.5
よくなかった	2.2	1.3	0.0		6.5
無回答	0.0	0.0	0.0		0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」と回答した患者が対象

※「かかりつけ薬剤師あり・同意なし」「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」は回答数が 1 件のため、結果の表示を割愛している。

図表 5-45 服薬期間中のフォローアップに対する評価
【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	231	4	66	79	54	27
よかった	97.8	75.0	100.0	98.7	94.4	100.0
よくなかった	2.2	25.0	0.0	1.3	5.6	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」と回答した患者が対象

※「0 箇所」「4 箇所以上」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-46 服薬期間中のフォローアップに対する評価
【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	231	2	183	29	8	0
よかった	97.8	50.0	98.4	96.6	100.0	0.0
よくなかった	2.2	50.0	1.6	3.4	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」と回答した患者が対象
※「0 箇所」「2 箇所」「3 箇所」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-47 服薬期間中のフォローアップに対する評価【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な 処方薬あり	定期的な 処方薬なし
回答数（件）	231	214	14
よかった	97.8	98.1	92.9
よくなかった	2.2	1.9	7.1
無回答	0.0	0.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて「確認を受けたことがある」と回答した患者が対象

（３）服薬期間中のフォローアップに対する評価の理由（調査票問 14-1、問 14-2）

服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者について、その理由を尋ねたところ、全体では「服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた」が 76.5%、「服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた」が 42.0%、「薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた」が 22.1%であった。

かかりつけ薬剤師への有無別にみると、いずれの場合も「服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた」が 75%以上であった。

図表 5-48 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった理由（複数回答）
【かかりつけ薬剤師の有無別】

	合計	いる	いない
回答数（件）	226	180	44
服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	76.5	77.2	75.0
服薬状況の確認や服薬に関する再指導をもらい安心できた	42.0	44.4	31.8
薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をもらい安心できた	22.1	25.6	6.8
その他	2.2	1.7	4.5
無回答	1.3	1.1	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者が対象

図表 5-49 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった理由（複数回答）
【かかりつけ薬剤師×「かかりつけ指導料」への同意状況別】

	合計	かかりつけ 薬剤師あ り・同意あ り	かかりつけ 薬剤師あ り・同意な し	かかりつけ 薬剤師な し・同意あ り	かかりつけ 薬剤師な し・同意な し
回答数（件）	226	156	20	1	43
服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	76.5	78.2	75.0		74.4
服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた	42.0	46.2	35.0		32.6
薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた	22.1	26.3	25.0		7.0
その他	2.2	1.3	5.0		4.7
無回答	1.3	0.6	0.0		0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者が対象

※「かかりつけ薬剤師あり・同意なし」「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

※「かかりつけ薬剤師なし・同意あり」は回答数が1件のため、結果の表示を割愛している。

図表 5-50 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった理由（複数回答）
【定期的に受診している医療機関数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	226	3	66	78	51	27
服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	76.5	66.7	80.3	74.4	70.6	85.2
服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた	42.0	66.7	36.4	38.5	51.0	44.4
薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた	22.1	0.0	19.7	23.1	29.4	14.8
その他	2.2	0.0	3.0	1.3	2.0	3.7
無回答	1.3	0.0	1.5	1.3	2.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者が対象

※「0箇所」「4箇所以上」の回答数は30件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-51 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった理由（複数回答）
【定期的に利用している保険薬局数別】

	合計	0箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所以上
回答数（件）	226	1	180	28	8	0
服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	76.5	0.0	77.2	71.4	75.0	0.0
服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた	42.0	100.0	41.1	35.7	37.5	0.0
薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた	22.1	0.0	24.4	17.9	0.0	0.0
その他	2.2	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0
無回答	1.3	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者が対象

※「0 箇所」「2 箇所」「3 箇所」「4 箇所以上」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-52 服薬期間中のフォローアップを受けてよかった理由（複数回答）
【定期的な処方薬の有無別】

	合計	定期的な処方薬あり	定期的な処方薬なし
回答数（件）	226	210	13
服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	76.5	75.7	84.6
服薬状況の確認や服薬に関する再指導をもらい安心できた	42.0	42.9	23.1
薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をもらい安心できた	22.1	22.4	23.1
その他	2.2	2.4	0.0
無回答	1.3	1.4	0.0

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よかった」と回答した患者が対象

※「定期的な処方薬なし」の回答数は 30 件未満でサンプル数が十分ではないため、参考値として掲載しており、解釈には注意が必要である。

図表 5-53 服薬期間中のフォローアップを受けたがよくなかった理由（自由記載）

特に問題なく飲めていたので
不安感がでた、びっくりした
定期的に服用している薬の場合は必要ないと思うから。

※服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けて（服薬期間中のフォローアップを受けて）「よくなかった」と回答した患者が対象（有効回答 4 件。うち 1 件は「特になし」）

参考資料：NDB データを用いた集計（かかりつけ薬剤師）

1. 地域支援体制加算の算定施設数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
地域支援体制加算1	6,333	9,375
地域支援体制加算2	11,132	7,349
地域支援体制加算3	3,878	4,102
地域支援体制加算4	2,203	2,928

2. 服薬管理指導料の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
服薬管理指導料1	40,495,992	41,522,070
服薬管理指導料2	25,959,691	26,410,964
服薬管理指導料3	874,224	857,964
服薬管理指導料4イ	10,946	16,326
服薬管理指導料4ロ	10,677	20,883
服薬管理指導料の特例	12,363	10,624
服薬管理指導料の特例 （かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）	44,350	63,230

3. かかりつけ薬剤師指導料等の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
かかりつけ薬剤師指導料	1,165,315	1,325,767
かかりつけ薬剤師包括管理料	576	636

4. 重複投薬・相互作用等防止加算の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
重複投薬・相互作用等防止加算（残薬調整に係るもの以外）	170,815	189,649
重複投薬・相互作用等防止加算（残薬調整に係るもの）	232,897	248,479

5. 吸入薬指導加算の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
吸入薬指導加算	143,024	238,244

6. 調剤後薬剤管理指導加算／調剤後薬剤管理料の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
調剤後薬剤管理指導加算	622	0
調剤後薬剤管理指導加算／調剤後薬剤管理指導料1	0	4,314
調剤後薬剤管理指導料2	0	796

7. 服用薬剤調整支援料の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
服用薬剤調整支援料1	584	713
服用薬剤調整支援料2 ※ 別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険薬局において行った場合	476	635
服用薬剤調整支援料2 ※ 別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険薬局において行った場合以外の場合	748	1,148

8. 在宅患者訪問薬剤管理指導料等の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
在宅患者訪問薬剤管理指導料1	40,013	45,125
在宅患者訪問薬剤管理指導料2	12,561	16,801
在宅患者訪問薬剤管理指導料3	19,350	24,056
在宅患者オンライン服薬指導料	0	0
在宅患者オンライン薬剤管理指導料	35	24

9. 在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料等の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料1	13,892	12,435
在宅患者緊急訪問薬剤管理指導料2	29,395	33,294
在宅患者緊急オンライン薬剤管理指導料	19	38

参考資料：NDB データを用いた集計（かかりつけ薬剤師）

10. 在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算	296	374

11. 在宅中心静脈栄養法加算の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
在宅中心静脈栄養法加算	1,572	1,950

12. 服薬情報等提供料の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
服薬情報等提供料1	33,702	33,705
服薬情報等提供料2	102,376	83,877
服薬情報等提供料3	824	1,116

13. 経管投薬支援料の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
経管投薬支援料	101	121

1 4. 薬剤総合評価調整加算・調整管理料の算定状況

	令和5年11月診療分			
	診療所		病院	
	施設数	算定回数	施設数	算定回数
薬剤総合評価調整加算	22	100	1,158	8,215
薬剤調整加算	13	28	864	2,788
薬剤総合評価調整管理料	952	2,075	198	397
薬剤総合評価調整管理料（情報通信機器を用いた場合）	1	1	0	0
連携管理加算	123	307	9	24
	令和6年11月診療分			
	診療所		病院	
	施設数	算定回数	施設数	算定回数
薬剤総合評価調整加算	31	142	1,333	10,720
薬剤調整加算	16	31	981	3,437
薬剤総合評価調整管理料	826	1,755	139	265
薬剤総合評価調整管理料（情報通信機器を用いた場合）	0	0	0	0
連携管理加算	98	257	5	25

1 5. 退院時薬剤情報連携加算の算定状況

	令和5年11月診療分			
	診療所		病院	
	施設数	算定回数	施設数	算定回数
退院時薬剤情報管理指導料	485	7,119	3,989	275,640
退院時薬剤情報管理指導連携加算	0	0	31	77
退院時薬剤情報連携加算	29	169	901	11,080
	令和6年11月診療分			
	診療所		病院	
	施設数	算定回数	施設数	算定回数
退院時薬剤情報管理指導料	473	7,464	3,949	291,730
退院時薬剤情報管理指導連携加算	0	0	32	63
退院時薬剤情報連携加算	32	167	939	11,447

1 6. 麻薬管理指導加算の算定回数

	令和5年11月診療分	令和6年11月診療分
麻薬管理指導加算	33,149	29,186

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

1. 保険薬局調査

(2) 1①.所在地...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	北海道	41	4.4
2	青森県	6	0.6
3	岩手県	7	0.7
4	宮城県	19	2.0
5	秋田県	11	1.2
6	山形県	9	1.0
7	福島県	9	1.0
8	茨城県	19	2.0
9	栃木県	15	1.6
10	群馬県	14	1.5
11	埼玉県	38	4.0
12	千葉県	39	4.1
13	東京都	93	9.9
14	神奈川県	56	5.9
15	新潟県	22	2.3
16	富山県	12	1.3
17	石川県	9	1.0
18	福井県	5	0.5
19	山梨県	3	0.3
20	長野県	19	2.0
21	岐阜県	16	1.7
22	静岡県	38	4.0
23	愛知県	50	5.3
24	三重県	11	1.2
25	滋賀県	5	0.5
26	京都府	17	1.8
27	大阪府	71	7.5
28	兵庫県	54	5.7
29	奈良県	5	0.5
30	和歌山県	4	0.4
31	鳥取県	4	0.4
32	島根県	8	0.8
33	岡山県	23	2.4
34	広島県	20	2.1
35	山口県	9	1.0
36	徳島県	2	0.2
37	香川県	10	1.1
38	愛媛県	11	1.2
39	高知県	12	1.3
40	福岡県	61	6.5
41	佐賀県	8	0.8
42	長崎県	10	1.1
43	熊本県	9	1.0
44	大分県	10	1.1
45	宮崎県	7	0.7
46	鹿児島県	12	1.3
47	沖縄県	9	1.0
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(3) 1②.開設者...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	法人	865	91.8
2	個人	70	7.4
3	その他	2	0.2
	無回答	5	0.5
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(4) 1③.貴薬局はどのような地域に所在しているか...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	特別区	56	5.9
2	政令指定都市	233	24.7
3	中核市	328	34.8
4	その他	302	32.1
	無回答	23	2.4
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(5) 1④.同一グループ（財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう）等による薬局店舗数(店舗)...(数量)

合計	216507.00
平均	234.82
分散(n-1)	325088.41
標準偏差	570.17
最大値	3499.00
最小値	1.00
無回答	20
非該当	0
回答数 (件)	922

(6) 1⑤.開設年(年)...(数量)

合計	1785180.00
平均	2008.08
分散(n-1)	219.84
標準偏差	14.83
最大値	2025.00
最小値	1889.00
無回答	53
非該当	0
回答数 (件)	889

(7) 1⑥.貴薬局の処方箋の応需状況...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局	473	50.2
2	主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局	202	21.4
3	主に不動産賃貸借関係のある特定の病院の処方箋を応需している薬局	7	0.7
4	主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	218	23.1
5	主に不動産賃貸借関係のある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	12	1.3
6	主に複数の近接する特定の保険医療機関（いわゆる医療モールやビル診療所など）の処方箋を応需している薬局	23	2.4
7	その他	4	0.4
	無回答	3	0.3
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(8) 1⑦.応需医療機関数(機関)...(数量)

合計	59035.00
平均	64.73
分散(n-1)	3804.54
標準偏差	61.68
最大値	700.00
最小値	1.00
無回答	30
非該当	0
回答数（件）	912

(9) 1⑧.貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合(割合)...(数量)

合計	76335.36
平均	89.49
分散(n-1)	602.49
標準偏差	24.55
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	89
非該当	0
回答数（件）	853

(10) 1⑨.調剤基本料...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	調剤基本料 1	702	74.5
2	調剤基本料 2	34	3.6
3	調剤基本料 3 イ	28	3.0
4	調剤基本料 3 ロ	50	5.3
5	調剤基本料 3 ハ	114	12.1
6	特別調剤基本料 A	7	0.7
7	特別調剤基本料 B	0	0.0
	無回答	7	0.7
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(11) 1⑨-1.全処方箋の受付回数(回／月)...(数量)

合計	2508387.00
平均	2703.00
分散(n-1)	1810482783.17
標準偏差	42549.77
最大値	1296962.00
最小値	0.00
無回答	14
非該当	0
回答数（件）	928

(12) 1⑨-2.主たる保険医療機関に係る処方箋の受付回数の割合(割合)...(数量)

合計	61011.39
平均	65.96
分散(n-1)	768.23
標準偏差	27.72
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	17
非該当	0
回答数（件）	925

(13) 1⑩.後発医薬品調剤割合(割合)...(数量)

合計	83965.83
平均	91.27
分散(n-1)	50.27
標準偏差	7.09
最大値	99.50
最小値	0.00
無回答	22
非該当	0
回答数（件）	920

(14) 1⑪.供給停止となっている後発医薬品等の診療報酬上の臨時的な取扱いの適用...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	臨時的な取扱いの適用あり	410	43.5
2	臨時的な取扱いの適用なし	515	54.7
	無回答	17	1.8
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(15) 1⑫.後発医薬品の調剤数量割合が著しく低い薬局の調剤基本料の減算対象に該当するか...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	該当する	11	1.2
2	該当しない	912	96.8
	無回答	19	2.0
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

(16) 1⑫.2.該当しない理由...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	後発医薬品の調剤数量割合が50割合超	811	88.9
2	後処方箋の受付回数が月600回以下	112	12.3
3	直近1ヶ月の処方箋受付回数の5割以上が先発医薬品変更不可	11	1.2
	無回答	86	9.4
	非該当	30	
	回答数 (件)	912	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
1020	111.8

(17) 1⑬.後発医薬品調剤体制加算...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	後発医薬品調剤体制加算 1	74	7.9
2	後発医薬品調剤体制加算 3	561	59.6
3	後発医薬品調剤体制加算 2	261	27.7
4	届出 (算定) なし	34	3.6
	無回答	12	1.3
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(18) 1⑭.在宅薬学総合体制加算...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	在宅薬学総合体制加算 1	442	46.9
2	在宅薬学総合体制加算 2	99	10.5
3	届出 (算定) なし	329	34.9
	無回答	72	7.6
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(19) 1⑮1.薬剤師_常勤職員(人)...(数量)

合計	2348.30
平均	2.51
分散(n-1)	3.13
標準偏差	1.77
最大値	16.00
最小値	0.00
無回答	5
非該当	0
回答数 (件)	937

(20) 1⑮1.薬剤師_非常勤職員(人)...(数量)

合計	1103.62
平均	1.18
分散(n-1)	3.21
標準偏差	1.79
最大値	19.00
最小値	0.00
無回答	6
非該当	0
回答数 (件)	936

(21) 1⑮2.その他_常勤職員(人)...(数量)

合計	1807.41
平均	1.93
分散(n-1)	2.28
標準偏差	1.51
最大値	9.00
最小値	0.00
無回答	5
非該当	0
回答数 (件)	937

(22) 1⑮2.その他_非常勤職員(人)...(数量)

合計	727.62
平均	0.78
分散(n-1)	1.42
標準偏差	1.19
最大値	12.00
最小値	0.00
無回答	6
非該当	0
回答数 (件)	936

(23) 1⑯.貴薬局の認定等の状況...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	地域連携薬局 図 薬局	204	21.7
2	専門医療機関連	3	0.3
3	健康サポート薬局 (健康増進支援薬局) 図	78	8.3
4	該当なし	598	63.5
	無回答	110	11.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
993	105.4

(24) 2①.以下のうち導入しているもの...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	レセプトコンピューター	930	98.7
2	電子薬歴システム	866	91.9
3	薬剤情報提供文書作成支援ツール	316	33.5
	無回答	3	0.3
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
2115	224.5

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

(25) 2① 3.「3.薬剤情報提供文書作成支援ツール」のうち有する機能...(M A)

		回答数 (件)	割合	累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
1	QRコード	286	90.5	14	4.4
2	音声コード	14	4.4		
3	点字	0	0.0	2	0.6
4	その他	2	0.6		
	無回答	24	7.6	626	
	非該当				
	回答数 (件)	316	100.0	326	103.2

(26) 2②.貴薬局では、どのように24時間対応が可能な体制を整えているか。...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	自薬局単独で24時間対応が可能な体制を整えている	572	60.7
2	近隣の保険薬局と連携して24時間対応が可能な体制（例：地域での輪番体制等）を整えている	155	16.5
3	24時間対応が可能な体制を整えていない	188	20.0
4	その他	18	1.9
	無回答	9	1.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(27) 2② 1.夜間等時間外の対応を担当している薬剤師数(人)...(数量)

合計	862.00
平均	1.52
分散(n-1)	1.82
標準偏差	1.35
最大値	14.00
最小値	0.00
無回答	4
非該当	370
回答数 (件)	568

(28) 2② 1.令和7年4月～6月の3か月間の対応件数(件)...(数量)

合計	4985.00
平均	9.39
分散(n-1)	1726.42
標準偏差	41.55
最大値	577.00
最小値	0.00
無回答	41
非該当	370
回答数 (件)	531

(29) 2② 2.夜間等時間外の対応のために連携している薬局数(薬局)...(数量)

合計	924.00
平均	6.20
分散(n-1)	329.66
標準偏差	18.16
最大値	160.00
最小値	1.00
無回答	6
非該当	787
回答数 (件)	149

(30) 2② 2.令和7年4月～6月の3か月間の自局での対応件数(件)...(数量)

合計	1058.00
平均	7.35
分散(n-1)	1996.12
標準偏差	44.68
最大値	497.00
最小値	0.00
無回答	11
非該当	787
回答数 (件)	144

(31) 2② 2.連携している薬局の対応件数(件)...(数量)

合計	286.00
平均	2.07
分散(n-1)	221.66
標準偏差	14.89
最大値	167.00
最小値	0.00
無回答	17
非該当	787
回答数 (件)	138

(32) 2③1.医療機関との連携体制を整えているか...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	医療機関との連携体制を整えている	578	61.4
2	医療機関との連携体制を整えていない	356	37.8
	無回答	8	0.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(33) 2③2.在宅対応をしている場合、訪問看護ステーションとの連携体制を整えている...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	訪問看護ステーションとの連携体制を整えている	467	49.6
2	訪問看護ステーションとの連携体制を整えていない	460	48.8
	無回答	15	1.6
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

(34) 2③3.他薬局との連携体制を整えている...(S A)

		回答数（件）	割合
1	他薬局との連携体制を整えている	473	50.2
2	他薬局との連携体制を整えていない	458	48.6
	無回答	11	1.2
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(35) 2③4.連携している他薬局で在宅医療を受けている患者が、貴薬局への変更を希望し受け入れた実績...(S A)

		回答数（件）	割合
1	実績あり	68	7.2
2	実績なし	851	90.3
	無回答	23	2.4
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(36) 2④1).薬剤師の時間外勤務...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あり	343	36.4
2	なし	577	61.3
	無回答	22	2.3
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(37) 2④1) 1.薬剤師の時間外勤務 平均(人/日)...(数量)

合計	1214.77
平均	4.28
分散(n-1)	30.63
標準偏差	5.53
最大値	30.00
最小値	0.00
無回答	59
非該当	599
回答数（件）	284

(38) 2④2).薬剤師の休日勤務...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あり	181	19.2
2	なし	742	78.8
	無回答	19	2.0
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(39) 2④2) 1.薬剤師の休日勤務 平均(人/日)...(数量)

合計	258.15
平均	1.71
分散(n-1)	7.08
標準偏差	2.66
最大値	30.00
最小値	0.00
無回答	30
非該当	761
回答数（件）	151

(40) 2④3).開局時間外の電話対応...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あり	598	63.5
2	なし	320	34.0
	無回答	24	2.5
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(41) 2④3) 1.開局時間外の電話対応 平均(件/日)...(数量)

合計	1129.58
平均	2.54
分散(n-1)	24.14
標準偏差	4.91
最大値	60.00
最小値	0.00
無回答	153
非該当	344
回答数（件）	445

(42) 2④3)-1.3)のうち、患者からの相談件数...(S A)

		回答数（件）	割合
1	患者からの相談あり	564	59.9
2	患者からの相談なし	271	28.8
	無回答	107	11.4
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(43) 2④3)-1 1.患者からの相談件数 平均(件/日)...(数量)

合計	1136.07
平均	2.42
分散(n-1)	26.15
標準偏差	5.11
最大値	60.00
最小値	0.00
無回答	95
非該当	378
回答数（件）	469

(44) 2④3)-2.3)のうち、医療機関からの問い合わせ件数...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	医療機関からの問い合わせあり	173	18.4
2	医療機関からの問い合わせなし	646	68.6
	無回答	123	13.1
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(45) 2④3)-2_1.医療機関からの問い合わせ件数 平均(件/日)...(数量)

合計	412.57
平均	2.97
分散(n-1)	116.95
標準偏差	10.81
最大値	120.00
最小値	0.00
無回答	34
非該当	769
回答数 (件)	139

(46) 2④4).開局時間外の調剤応需への対応...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	開局時間外の調剤応需への対応あり	212	22.5
2	開局時間外の調剤応需への対応なし	704	74.7
	無回答	26	2.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(47) 2④4)_1.開局時間外の調剤応需への対応 平均(件/日)...(数量)

合計	993.01
平均	6.09
分散(n-1)	638.43
標準偏差	25.27
最大値	300.00
最小値	0.00
無回答	49
非該当	730
回答数 (件)	163

(48) 2④4)-1.4)のうち、麻薬の調剤の対応...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	麻薬の調剤の対応あり	26	2.8
2	麻薬の調剤の対応なし	776	82.4
	無回答	140	14.9
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(49) 2④4)-1_1.麻薬の調剤の対応 平均(件/日)...(数量)

合計	40.90
平均	1.95
分散(n-1)	17.53
標準偏差	4.19
最大値	20.00
最小値	0.00
無回答	5
非該当	916
回答数 (件)	21

(50) 2④5).在宅対応をしている場合、開局時間外の患者宅への訪問対応...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	開局時間外の患者宅への訪問対応あり	225	23.9
2	開局時間外の患者宅への訪問対応なし	689	73.1
	無回答	28	3.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(51) 2④5)_1.開局時間外の患者宅への訪問対応 平均(件/日)...(数量)

合計	673.49
平均	3.78
分散(n-1)	512.40
標準偏差	22.64
最大値	300.00
最小値	0.00
無回答	47
非該当	717
回答数 (件)	178

(52) 2④5)-1.5)のうち、麻薬使用患者への訪問...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	麻薬使用患者への訪問あり	36	3.8
2	麻薬使用患者への訪問なし	763	81.0
	無回答	143	15.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(53) 2④5)-1.1.麻薬使用患者への訪問 平均(件/日)...(数量)

合計	53.50
平均	1.98
分散(n-1)	14.35
標準偏差	3.79
最大値	20.00
最小値	0.00
無回答	9
非該当	906
回答数（件）	27

(54) 2④6).その他の夜間・休日等の対応の業務...(S A)

		回答数（件）	割合
1	その他の夜間・休日等の対応の業務あり	98	10.4
2	その他の夜間・休日等の対応の業務なし	790	88.9
	無回答	54	5.7
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(55) 2④6)_1.その他の夜間・休日等の対応の業務 平均(件/日)...(数量)

合計	290.12
平均	3.97
分散(n-1)	28.74
標準偏差	5.36
最大値	24.00
最小値	0.01
無回答	25
非該当	844
回答数（件）	73

(56) 3①.麻薬小売業者の免許の取得...(S A)

		回答数（件）	割合
1	取得している	894	94.9
2	取得していない	48	5.1
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(57) 3②.麻薬の調剤の状況...(MA)

		回答数（件）	割合
1	外来通院するがん患者に対して麻薬の調剤を行っている	381	40.4
2	外来通院するがん以外の患者（心不全等）に対して麻薬の調剤を行っている	115	12.2
3	在宅対応するがん患者に対して麻薬の調剤を行っている	192	20.4
4	在宅対応するがん以外の患者（心不全等）に対して麻薬の調剤を行っている	28	3.0
5	麻薬の調剤をしていない	393	41.7
	無回答	20	2.1
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
1129	119.9

(58) 3③.麻薬が処方された患者に対して（患者について）行っている業務...(MA)

		回答数（件）	割合
1	麻薬の鎮痛等の効果、副作用についてフォローアップを行い、医師等へ情報提供している	338	35.9
2	麻薬の鎮痛等の効果、副作用の評価をスケール評価（回答数（件）RS等）で行って、必要に応じて医師への処方提案を行っている	169	17.9
3	麻薬の処方内容について処方前に医師と検討している	87	9.2
4	麻薬の残薬の状況を確認し、医師へ情報提供している	260	27.6
5	不要な麻薬の取扱について患者へ説明を行っている	372	39.5
6	不要な麻薬の回収を行っている	390	41.4
7	対象となる患者がいない	339	36.0
	無回答	45	4.8
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
2000	212.3

(59) 3③_2.「麻薬の鎮痛等の効果、副作用の評価をスケール評価（回答数（件）RS等）で行って、必要に応じて医師への処方提案を行っている」の頻度...(S A)

		回答数（件）	割合
1	すべての患者に実施している	28	16.6
2	半数以上の患者に実施している	17	10.1
3	一部の患者に実施している	83	49.1
4	実施していない	35	20.7
	無回答	6	3.6
	非該当	773	
	回答数（件）	169	100.0

(60) 3④.上記で「麻薬の鎮痛等の効果、副作用の評価をスケール評価（回答数（件）RS等）で行って、必要に応じて医師への処方提案を行っている」を選ばなかった理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	スケール評価を行う必要性を感じないため	45	6.2
2	対象患者が少ないため	291	40.0
3	医師が行っているため	161	22.1
4	その他	113	15.5
	無回答	169	23.2
	非該当	214	
	回答数（件）	728	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
779	107.0

(61) 3⑤.貴薬局の麻薬処方箋の受付枚数（枚）...(数量)

合計	17484.00
平均	19.89
分散(n-1)	19428.74
標準偏差	139.39
最大値	3639.00
最小値	0.00
無回答	15
非該当	48
回答数（件）	879

(62) 3⑥.貴薬局の麻薬処方箋の応需医療機関数(機関)...(数量)

合計	1076.00
平均	1.22
分散(n-1)	10.56
標準偏差	3.25
最大値	82.00
最小値	0.00
無回答	13
非該当	48
回答数（件）	881

(63) 3⑦1).内服薬_うち、徐放剤...(数量)

合計	3338.00
平均	4.12
分散(n-1)	1564.59
標準偏差	39.55
最大値	730.00
最小値	0.00
無回答	84
非該当	48
回答数（件）	810

(64) 3⑦1).内服薬_うち、速放剤...(数量)

合計	1836.00
平均	2.27
分散(n-1)	398.59
標準偏差	19.96
最大値	400.00
最小値	0.00
無回答	84
非該当	48
回答数（件）	810

(65) 3⑦1).内服薬_うち、その他...(数量)

合計	9778.00
平均	12.07
分散(n-1)	11444.55
標準偏差	106.98
最大値	1655.00
最小値	0.00
無回答	84
非該当	48
回答数（件）	810

(66) 3⑦1).内服薬_品目数(品目)...(数量)

合計	29452.00
平均	34.98
分散(n-1)	36051.06
標準偏差	189.87
最大値	1813.00
最小値	0.00
無回答	52
非該当	48
回答数（件）	842

(67) 3⑦2).外用剤_医薬品の成分数...(数量)

合計	2606.00
平均	3.43
分散(n-1)	510.82
標準偏差	22.60
最大値	382.00
最小値	0.00
無回答	134
非該当	48
回答数（件）	760

(68) 3⑦2).外用剤_品目数(品目)...(数量)

合計	5290.00
平均	6.66
分散(n-1)	1335.65
標準偏差	36.55
最大値	500.00
最小値	0.00
無回答	100
非該当	48
回答数（件）	794

(69) 3⑦3).注射薬_医薬品の成分数...(数量)

合計	321.00
平均	0.45
分散(n-1)	6.04
標準偏差	2.46
最大値	50.00
最小値	0.00
無回答	176
非該当	48
回答数（件）	718

(70) 3⑦3).注射薬_品目数(品目)...(数量)

合計	464.00
平均	0.63
分散(n-1)	8.23
標準偏差	2.87
最大値	50.00
最小値	0.00
無回答	163
非該当	48
回答数（件）	731

(71) 3⑧.麻薬の備蓄体制に関する課題...(M A)

	回答数（件）	割合
1 備蓄する医薬品が多くなり管理コストがかかる	465	52.0
2 突発的な麻薬の処方箋の応需により様々な規格の麻薬を取り揃える必要がある	545	61.0
3 卸に発注しても該当する薬剤の手配まで時間が必要である	659	73.7
4 地域の譲渡の体制が構築されていない	233	26.1
5 特定の患者にしか使用されない薬剤を準備しなければならない	515	57.6
6 患者の容体変化※にともない使用する薬剤が変更となるため不動態在庫が発生するリスクがある※患者が亡くなった場合も含む	716	80.1
7 その他	36	4.0
8 課題はない	24	2.7
無回答	13	1.5
非該当	48	
回答数（件）	894	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
3206	358.6

(72) 3⑨.上記⑧の選択肢1～7のうち、最も課題と思う番号...(S A)

	回答数（件）	割合
1 備蓄する医薬品が多くなり管理コストがかかる	58	6.8
2 突発的な麻薬の処方箋の応需により様々な規格の麻薬を取り揃える必要がある	92	10.7
3 卸に発注しても該当する薬剤の手配まで時間が必要である	263	30.7
4 地域の譲渡の体制が構築されていない	29	3.4
5 特定の患者にしか使用されない薬剤を準備しなければならない	34	4.0
6 患者の容体変化※にともない使用する薬剤が変更となるため不動態在庫が発生するリスクがある※患者が亡くなった場合も含む	309	36.1
7 その他	9	1.1
8 課題はない	0	0.0
無回答	63	7.4
非該当	85	
回答数（件）	857	100.0

(73) 3⑩.麻薬小売業者間譲渡許可...(S A)

	回答数（件）	割合
1 麻薬小売業者間譲渡許可を得ている	331	37.0
2 麻薬小売業者間譲渡許可を得ていない	556	62.2
無回答	7	0.8
非該当	48	
回答数（件）	894	100.0

(74) 3⑪.麻薬の譲渡の体制...(S A)

	回答数（件）	割合
1 同一グループ（調剤基本料のグループ）のみで麻薬小売業者間譲渡の体制分譲体制を構築している	247	74.6
2 地域の同一グループ以外の薬局間で麻薬小売業者間譲渡の体制を構築している	63	19.0
3 その他	8	2.4
無回答	13	3.9
非該当	611	
回答数（件）	331	100.0

(75) 3⑫.麻薬を他の薬局へ譲り渡した実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1 実績あり	74	22.4
2 実績なし	250	75.5
無回答	7	2.1
非該当	611	
回答数（件）	331	100.0

(76) 3⑫_1.麻薬を他の薬局へ譲り渡した回数...(数量)

合計	235.00
平均	3.46
分散(n-1)	14.46
標準偏差	3.80
最大値	18.00
最小値	1.00
無回答	6
非該当	868
回答数（件）	68

(77) 3⑫1-1.譲渡先について...(M A)

	回答数（件）	割合
1 同一グループ（調剤基本料のグループ）内	63	85.1
2 地域の同一グループ以外の薬局	10	13.5
3 その他	1	1.4
無回答	2	2.7
非該当	868	
回答数（件）	74	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
76	102.7

(78) 3⑬.麻薬を他の薬局から譲り受けた実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1 実績あり	67	20.2
2 実績なし	244	73.7
無回答	20	6.0
非該当	611	
回答数（件）	331	100.0

(79) 3⑬-1.麻薬を他の薬局から譲り受けた回数...(数量)

合計	186.00
平均	3.05
分散(n-1)	10.88
標準偏差	3.30
最大値	14.00
最小値	1.00
無回答	6
非該当	875
回答数（件）	61

(80) 3⑬-1.譲渡元について...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	同一グループ（調剤基本料のグループ）内	57	85.1
2	地域の同一グループ以外の薬局	6	9.0
3	その他	1	1.5
	無回答	3	4.5
	非該当	875	
	回答数（件）	67	100.0

(81) 3⑭.麻薬の譲渡に関する課題...(ＭＡ)

		回答数（件）	割合
1	夜間休日対応のため麻薬小売業者間譲渡の体制が活用できないことがある	108	32.6
2	高用量の規格の薬剤など、他の薬局から譲り受けることができないことがある	81	24.5
3	高用量の規格の薬剤の不動在庫が発生しても、譲渡で引き受けてくれる薬局がない	164	49.5
4	地域の譲渡の体制が構築されていない	92	27.8
5	その他	24	7.3
6	課題はない	58	17.5
	無回答	14	4.2
	非該当	611	
	回答数（件）	331	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
541	163.4

(82) 3⑮.上記⑭の選択肢１～５のうち、最も課題と思う番号...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	夜間休日対応のため麻薬小売業者間譲渡の体制が活用できないことがある	53	20.5
2	高用量の規格の薬剤など、他の薬局から譲り受けることができないことがある	14	5.4
3	高用量の規格の薬剤の不動在庫が発生しても、譲渡で引き受けてくれる薬局がない	96	37.1
4	地域の譲渡の体制が構築されていない	64	24.7
5	その他	18	6.9
	無回答	14	5.4
	非該当	683	
	回答数（件）	259	100.0

(83) 3⑯.無菌製剤処理のための体制...(ＭＡ)

		回答数（件）	割合
1	自薬局単独で、無菌調剤室の設備を整えている	22	2.3
2	自薬局単独で、クリーンベンチの設備を整えている	117	12.4
3	自薬局単独で、安全キャビネットの設備を整えている	5	0.5
4	他薬局の無菌調剤室を共同利用し、無菌製剤処理の体制を整えている	163	17.3
5	無菌調剤室、クリーンベンチ又は安全キャビネットの設備を整えていない	642	68.2
6	その他	18	1.9
	無回答	26	2.8
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
993	105.4

(84) 3⑯-1.使用しているクリーンベンチの形態...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	簡易型又は卓上型	85	72.6
2	簡易型又は卓上型以外	31	26.5
	無回答	1	0.9
	非該当	825	
	回答数（件）	117	100.0

(85) 4①.現在の貴薬局での感染対策の状況...(ＭＡ)

		回答数（件）	割合
1	入り口に体温計を設置している	103	10.9
2	マスク着用を案内している	602	63.9
3	手指消毒剤を入りに設置している	904	96.0
4	感染症疑い患者と一般外来患者の動線を分離している	350	37.2
5	その他	53	5.6
	無回答	3	0.3
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
2015	213.9

(86) 4②.現在の薬事承認された検査キットの取り扱い...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	新型コロナウイルス抗原定性検査キットを取り扱っている	238	25.3
2	新型コロナウイルス＋インフルエンザウイルス同時検査キットを取り扱っている	563	59.8
3	いずれも取り扱っていない	136	14.4
	無回答	5	0.5
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(87) 4③.現在の新型コロナウイルス治療薬の取り扱い...(ＳＡ)

		回答数（件）	割合
1	取扱いあり	719	76.3
2	取扱いなし	222	23.6
	無回答	1	0.1
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(88) 4④.連携強化加算の届出...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	届出あり	758	80.5
2	届出なし	182	19.3
	無回答	2	0.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(89) 4⑤.届出なしの場合、満たすことが難しい施設基準...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	都道府県知事より第二種協定指定医療機関の指定を受けていること	40	22.0
2	感染症対応に係る当該保険薬局の保険薬剤師に対する研修、訓練を年1回以上実施していること	61	33.5
3	個人防護具を備蓄していること	28	15.4
4	新型インフルエンザ等感染症等の発生時等において、要指導医薬品及び一般用医薬品の提供、感染症に係る体外診断用医薬品（検査キット）の提供、マスク等の感染症対応に必要な衛生材料等の提供ができる体制を新型インフルエンザ等感染症等の発生等がないときから整備し、これらを提供していること	46	25.3
5	自治体からの要請に応じて、避難所・救護所等における医薬品の供給又は調剤所の設置に係る人員派遣等の協力等を行う体制が整備されていること	94	51.6
6	災害対応に係る当該保険薬局の保険薬剤師に対する研修、訓練を年1回以上実施していること	59	32.4
7	災害や新興感染症発生時における薬局の体制や対応について、それぞれの状況に応じた手順書等の作成	41	22.5
8	情報通信機器を用いた服薬指導を行う体制が整備されていること	46	25.3
9	要指導医薬品及び一般用医薬品の販売、検査キット（体外診断用医薬品）の取扱い	37	20.3
10	その他	15	8.2
	無回答	15	8.2
	非該当	760	
	回答数 (件)	182	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
482	264.8

(90) 5①.貴薬局ではかかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	届出あり	747	79.3
2	届出なし	194	20.6
	無回答	1	0.1
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(91) 5②-1.1).かかりつけ薬剤師指導料(回)...(数量)

合計	30180.40
平均	41.29
分散(n-1)	9263.38
標準偏差	96.25
最大値	1280.00
最小値	0.00
無回答	16
非該当	195
回答数 (件)	731

(92) 5②-1.2).かかりつけ薬剤師包括管理料(回)...(数量)

合計	292.00
平均	0.43
分散(n-1)	7.66
標準偏差	2.77
最大値	40.00
最小値	0.00
無回答	61
非該当	195
回答数 (件)	686

(93) 5②-1.1)-1.かかりつけ薬剤師指導料のうち、服薬指導料の特例（かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合）の算定回数(回)...(数量)

合計	1438.00
平均	2.02
分散(n-1)	152.34
標準偏差	12.34
最大値	200.00
最小値	0.00
無回答	36
非該当	195
回答数 (件)	711

(94) 5②-2.貴薬局では、かかりつけ薬剤師指導料等の算定患者について、受診医療機関数を把握しているか...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	すべて把握している	281	37.6
2	おおむね把握している	437	58.5
3	ほとんど把握していない	3	0.4
4	把握していない	7	0.9
	無回答	19	2.5
	非該当	195	
	回答数 (件)	747	100.0

(95) 5②-3.かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応する理由...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	かかりつけ薬剤師が時短勤務であり、不在時間対応するため	18	16.1
2	かかりつけ薬剤師が休暇を取得し、不在時間に対応するため	101	90.2
3	夜間・休日等に急遽対応が必要であるため	6	5.4
4	その他	6	5.4
	無回答	3	2.7
	非該当	830	
	回答数 (件)	112	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
134	119.6

(96) 5③.かかりつけ薬剤師指導料の届出なしである理由...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	保険薬剤師として3年以上の薬局勤務経験がある保険薬剤師がいないため	7	3.6
2	当該保険薬局に週32時間以上勤務している薬剤師がいないため	1	0.5
3	当該保険薬局に1年以上在籍している保険薬剤師がいないため	48	24.7
4	薬剤師認定制度認証機構が認定している研修認定制度等の研修認定を取得している保険薬剤師がいないため	58	29.9
5	医療に係る地域活動の取組に参画している保険薬剤師がいないため	73	37.6
6	時間外の24時間電話相談が困難（人手不足等）であるため	81	41.8
7	自薬局以外で調剤されている医薬品、処方薬以外のサプリメント等の内服まで含めた薬学的管理指導を行える体制が整っていないため	15	7.7
8	かかりつけ薬剤師の機能を患者に理解してもらえていないため	12	6.2
9	患者の利用している全ての保険医療機関、服用薬を把握する体制が整っていないため	7	3.6
10	かかりつけ薬剤師指導料もしくはかかりつけ薬剤師包括管理料を上手く説明できないため	11	5.7
11	その他	15	7.7
	無回答	10	5.2
	非該当	748	
	回答数 (件)	194	100.0

累計	(回答数 (件))	累計	(割合)
	338		174.2

(97) 5④.かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	薬の効果に関する相談	678	72.0
2	薬の副作用に関する相談	714	75.8
3	薬の服用頻度に関する相談	324	34.4
4	薬の飲み合わせに関する相談	775	82.3
5	残薬に関する相談	580	61.6
6	ポリファーマシー解消・重複投薬の削減に関する相談	258	27.4
7	OTC医薬品に関する相談	449	47.7
8	その他	77	8.2
	無回答	45	4.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

累計	(回答数 (件))	累計	(割合)
	3900		414.0

(98) 6①.地域支援体制加算の届出...(SA)

		回答数 (件)	割合
1	地域支援体制加算1	262	27.8
2	地域支援体制加算2	205	21.8
3	地域支援体制加算3	5	0.5
4	地域支援体制加算4	1	0.1
5	届出なし	355	37.7
	無回答	114	12.1
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(99) 6②.休日、夜間を含む開局時間外であっても調剤及び在宅業務に対応できる体制（輪番制含む）を周知しているか...(SA)

		回答数 (件)	割合
1	周知している	453	95.8
2	周知していない	17	3.6
	無回答	3	0.6
	非該当	469	
	回答数 (件)	473	100.0

(100) 6②-1.1).周知方法...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	自薬局・グループのHPでの周知	240	50.7
2	薬剤師会を通じた周知	370	78.2
3	行政機関を通じた周知	116	24.5
4	その他	17	3.6
	無回答	20	4.2
	非該当	469	
	回答数 (件)	473	100.0

累計	(回答数 (件))	累計	(割合)
	763		161.3

(101) 6②-1.2).周知先...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	住民・患者	408	86.3
2	他薬局	220	46.5
3	医療機関	295	62.4
4	訪問看護ステーション	181	38.3
5	福祉関係者	143	30.2
6	行政機関	177	37.4
7	その他	10	2.1
	無回答	29	6.1
	非該当	469	
	回答数 (件)	473	100.0

累計	(回答数 (件))	累計	(割合)
	1463		309.3

(102) 6③.一般用医薬品及び要指導医薬品等の備蓄・販売状況...(SA)

		回答数 (件)	割合
1	基本的な48薬効群について備蓄・販売している	500	53.1
2	「基本的な48薬効群」以外にも備蓄・販売している	179	19.0
3	取扱いはあるが48薬効群は揃えていない	196	20.8
4	扱っていない	54	5.7
5	その他	2	0.2
	無回答	11	1.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(103) 6④.直近1か月での販売実績...(SA)

		回答数 (件)	割合
1	販売実績あり	745	85.1
2	販売実績なし	119	13.6
	無回答	11	1.3
	非該当	67	
	回答数 (件)	875	100.0

(104) 6⑤.女性の健康サポートに関する体制整備の状況として実施しているもの...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	緊急避妊薬の取り扱い	617	65.5
2	妊婦等からの服薬相談への対応	373	39.6
3	女性の健康サポートに係る研修実施（外部受講含む）	109	11.6
4	健康教室の開催	35	3.7
5	その他	5	0.5
6	特に実施していない	204	21.7
	無回答	11	1.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

累計	(回答数 (件))	累計	(割合)
	1354		143.7

(105) 6⑥1).夜間・休日等の対応実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	596	63.3
2	満たしていない	327	34.7
	無回答	19	2.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(106) 6⑥11)_1.夜間・休日等の対応 回数...(数量)

合計	369445.40
平均	689.26
分散(n-1)	1274514.99
標準偏差	1128.94
最大値	9680.00
最小値	0.00
無回答	60
非該当	346
回答数 (件)	536

(107) 6⑥2).麻薬の調剤実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	531	56.4
2	満たしていない	394	41.8
	無回答	17	1.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(108) 6⑥2)_1.麻薬の調剤 回数...(数量)

合計	24386.89
平均	50.91
分散(n-1)	12633.09
標準偏差	112.40
最大値	1028.00
最小値	0.00
無回答	52
非該当	411
回答数 (件)	479

(109) 6⑥3).重複投薬・相互作用等防止加算等の実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	734	77.9
2	満たしていない	187	19.9
	無回答	21	2.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(110) 6⑥3)_1.重複投薬・相互作用等防止加算等 回数...(数量)

合計	77339.37
平均	119.54
分散(n-1)	20928.13
標準偏差	144.67
最大値	1253.00
最小値	1.00
無回答	87
非該当	208
回答数 (件)	647

(111) 6⑥4).かかりつけ薬剤師指導料等の実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	694	73.7
2	満たしていない	233	24.7
	無回答	15	1.6
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(112) 6⑥4)_1.かかりつけ薬剤師指導料等 回数...(数量)

合計	211263.86
平均	346.33
分散(n-1)	271638.78
標準偏差	521.19
最大値	3328.00
最小値	0.50
無回答	84
非該当	248
回答数 (件)	610

(113) 6⑥5).外来服薬支援料 1 の実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	462	49.0
2	満たしていない	447	47.5
	無回答	33	3.5
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(114) 6⑥5) 1.外来服薬支援料 1 回数...(数量)

合計	6806.75
平均	16.17
分散(n-1)	922.63
標準偏差	30.37
最大値	359.00
最小値	0.19
無回答	41
非該当	480
回答数 (件)	421

(115) 6⑥6).服用薬剤調整支援料 1 及び 2 の実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	263	27.9
2	満たしていない	641	68.0
	無回答	38	4.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(116) 6⑥6) 1.服用薬剤調整支援料 1 及び 2 回数...(数量)

合計	742.48
平均	3.21
分散(n-1)	16.33
標準偏差	4.04
最大値	33.00
最小値	0.00
無回答	32
非該当	679
回答数 (件)	231

(117) 6⑥7).単一建物診療患者が1人以上の在宅薬剤管理の実績 ... (S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	627	66.6
2	満たしていない	291	30.9
	無回答	24	2.5
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(118) 6⑥7) 1.単一建物診療患者が1人以上の在宅薬剤管理 合計...(数量)

合計	191707.38
平均	341.72
分散(n-1)	930707.17
標準偏差	964.73
最大値	8791.00
最小値	1.00
無回答	66
非該当	315
回答数 (件)	561

(119) 6⑥7) 1.単一建物診療患者が1人以上の在宅薬剤管理 自宅...(数量)

合計	62639.88
平均	116.65
分散(n-1)	50801.38
標準偏差	225.39
最大値	2144.00
最小値	0.00
無回答	90
非該当	315
回答数 (件)	537

(120) 6⑥7) 1.単一建物診療患者が1人以上の在宅薬剤管理 自宅以外（施設）...(数量)

合計	109822.80
平均	206.43
分散(n-1)	685744.93
標準偏差	828.10
最大値	7916.00
最小値	0.00
無回答	95
非該当	315
回答数 (件)	532

(121) 6⑥8).服薬情報等提供料に相当する実績...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	満たしている	424	45.0
2	満たしていない	480	51.0
	無回答	38	4.0
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

(122) 6⑥8) 1.服薬情報等提供料に相当する実績 回数...(数量)

合計	31910.22
平均	85.55
分散(n-1)	39260.77
標準偏差	198.14
最大値	2320.00
最小値	0.00
無回答	51
非該当	518
回答数 (件)	373

(123) 6⑥9).小児特定加算の算定実績...(ＳＡ)

	回答数 (件)	割合
1 満たしている	87	9.2
2 満たしていない	822	87.3
無回答	33	3.5
非該当	0	
回答数 (件)	942	100.0

(124) 6⑥9) 1.小児特定加算 回...(数量)

合計	1454.60
平均	18.89
分散(n-1)	3877.22
標準偏差	62.27
最大値	538.00
最小値	0.00
無回答	10
非該当	855
回答数 (件)	77

(125) 6⑥10).薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の研修認定を取得した保険薬剤師が地域の多職種と連携する会議への出席の実績...(ＳＡ)

	回答数 (件)	割合
1 満たしている	543	57.6
2 満たしていない	374	39.7
無回答	25	2.7
非該当	0	
回答数 (件)	942	100.0

(126) 6⑥10) 1.会議への出席 回数...(数量)

合計	2231.00
平均	4.74
分散(n-1)	77.48
標準偏差	8.80
最大値	120.00
最小値	1.00
無回答	72
非該当	399
回答数 (件)	471

(127) 6㉔).地域支援体制加算の施設基準のうち、満たすことが難しい項目...(MA)

	回答数 (件)	割合
1 備蓄品目数1,200品目以上☑	117	33.0
2 地域のお薬局との在庫状況共有、医薬品の融通	41	11.5
3 医療材料及び衛生材料の供給体制☑	39	11.0
4 麻薬小売り業者の免許と指導実施体制	48	13.5
5 集中率85割合超の薬局は、後発品の調剤割合70割合以上☑	15	4.2
6 取り扱う医薬品に関する情報提供ができる体制	4	1.1
7 一定時間以上の開局☑	86	24.2
8 開局時間外であっても調剤・在宅業務に対応できる体制	138	38.9
9 患者からの相談体制の整備☑	6	1.7
10 夜間・休日の調剤、在宅対応体制（地域の輪番体制	110	31.0
11 地域の行政機関、保険医療機関、訪問看護ステーション及び福祉関係者等との連携体制とその周知☑	78	22.0
12 在宅薬剤管理の実績	182	51.3
13 医療安全に関する取組実績の報告	19	5.4
14 かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出	101	28.5
15 患者ごとの薬学的管理等☑	9	2.5
16 管理薬剤師の要件（5年以上の薬局勤務等）	29	8.2
17 定期的な研修の実施、学会への定期的な参加・発表☑	89	25.1
18 患者のプライバシーへの配慮	25	7.0
19 要指導医薬品・一般用医薬品の販売等（48薬効群の取り扱い）	75	21.1
20 健康相談又は健康教室を行っている旨の周知等	31	8.7
21 緊急避妊薬の備蓄と調剤体制☑	96	27.0
22 敷地内禁煙、たばこ及び喫煙器具の販売をしないこと	12	3.4
23 その他	11	3.1
無回答	20	5.6
非該当	587	
回答数 (件)	355	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
1381	389.0

(128) 7㉑).ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、貴薬局が行っている取組...(MA)

	回答数 (件)	割合
1 服用状況等にもとづく、かかりつけ医への処方提案	569	60.4
2 お薬手帳等を利用した医療機関での服用薬の把握	864	91.7
3 電子処方箋システムの活用による重複投薬等の確認	394	41.8
4 オンライン資格確認システムによる薬剤情報・特定健診情報の確認	560	59.4
5 医療機関の薬剤師との連携による服用薬の見直し	142	15.1
6 医薬品の適正使用に係る患者・家族向けの普及啓発の実施	194	20.6
7 厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」を参考にした処方の提案	69	7.3
8 薬局からかかりつけ医への服用薬の情報の提供	421	44.7
9 学会や地域で開催される研修会への参加	256	27.2
10 その他	5	0.5
無回答	4	0.4
非該当	0	
回答数 (件)	942	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
3478	369.2

(129) 7②.ポリファーマシー解消・重複投薬の削減の阻害要因...(M A)

		回答数 (件)	割合	
1	患者・家族の理解・協力が得られない	519	55.1	
2	効果的な方法がわからない	203	21.5	
3	対応するための十分な時間が捻出できない	362	38.4	
4	その他	89	9.4	
	無回答	46	4.9	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	累計 (回答数 (件)) 1219
				累計 (割合) 129.4

(130) 7③.ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場へはどのような方が参加しているか...(M A)

		回答数 (件)	割合	
1	自治体	82	8.7	
2	保険者	33	3.5	
3	医師会	81	8.6	
4	病院関係者	123	13.1	
5	診療所関係者	85	9.0	
6	薬剤師会	264	28.0	
7	薬局関係者	212	22.5	
8	看護関係者	105	11.1	
9	介護関係者	111	11.8	
10	学識経験者	4	0.4	
11	その他	6	0.6	
12	わからない	282	29.9	
13	協議の場はない	230	24.4	
	無回答	24	2.5	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	累計 (回答数 (件)) 1642
				累計 (割合) 174.3

(131) 7④.上記③で選択肢 1～11を選んだ場合、協議する場は機能していると感じるか...(S A)

		回答数 (件)	割合	
1	機能していると感じる	86	21.2	
2	どちらともいえない	241	59.4	
3	機能していると感じない	70	17.2	
	無回答	9	2.2	
	非該当	536		
	回答数 (件)	406	100.0	

(132) 7⑤.薬剤レビューを実施しているか...(S A)

		回答数 (件)	割合	
1	すべての患者について実施している	45	4.8	
2	特定の条件に該当する患者について実施している	209	22.2	
3	その他	1	0.1	
4	実施していない	658	69.9	
	無回答	29	3.1	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	

(133) 7⑥.処方箋発行元の医療機関への問い合わせにあたり、問合せ簡素化プロトコルを活用しているか...(S A)

		回答数 (件)	割合	
1	すべての医療機関で活用している	9	1.0	
2	一部の医療機関で活用している	596	63.3	
3	活用していない	316	33.5	
	無回答	21	2.2	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	

(134) 8①.調剤後薬剤管理指導加算 1 (回)...(数量)

合計	442.00
平均	0.50
分散(n-1)	14.33
標準偏差	3.79
最大値	71.00
最小値	0.00
無回答	56
非該当	0
回答数 (件)	886

(135) 8①.調剤後薬剤管理指導加算 2 (回)...(数量)

合計	166.00
平均	0.19
分散(n-1)	3.62
標準偏差	1.90
最大値	45.00
最小値	0.00
無回答	55
非該当	0
回答数 (件)	887

(136) 8②.フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導加算が算定できなかったこと...(S A)

		回答数 (件)	割合	
1	調剤後薬剤管理指導加算が算定できなかったことがある	360	38.2	
2	調剤後薬剤管理指導加算が算定できなかったことはない	501	53.2	
	無回答	81	8.6	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	

(137) 8②-1.②で「1.調剤後薬剤管理指導加算が算定できなかったことがある」を選んだ場合、その理由...(MA)

		回答数 (件)	割合	
1	地域支援体制加算の届出を行っていないため	99	27.5	
2	定要件を満たす患者ではなかったため	164	45.6	
3	医師の指示又は患者等からの求めがなかったため	140	38.9	
4	電話等による薬学的管理を実施しなかったため	20	5.6	
5	フォローアップ後、医療機関へ文書による情報提供を実施しなかったため	93	25.8	
6	その他	23	6.4	
	無回答	6	1.7	
	非該当	582		
	回答数 (件)	360	100.0	累計 (回答数 (件)) 545
				累計 (割合) 151.4

(138) 8③.特にフォローアップの必要がある疾患...(MA)

		回答数 (件)	割合	
1	糖尿病	645	68.5	
2	ぜんそく	332	35.2	
3	COPD	220	23.4	
4	心不全	407	43.2	
5	血栓塞栓症	200	21.2	
6	認知症	315	33.4	
7	精神疾患	164	17.4	
8	悪性腫瘍	480	51.0	
9	小児慢性特定疾病	129	13.7	
10	その他	43	4.6	
	無回答	80	8.5	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	累計 (回答数 (件)) 3015
				累計 (割合) 320.1

(139) 8④.フォローアップの必要がある患者の属性...(MA)

		回答数 (件)	割合	
1	薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者☑	575	61.0	
2	長期処方（処方日数28日以上）の患者	215	22.8	
3	服薬アドヒアランスが不良な患者☑	503	53.4	
4	認知機能が低下している患者	447	47.5	
5	服用方法に注意が必要な薬剤を処方された患者☑	481	51.1	
6	手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	478	50.7	
7	薬剤や治療に不安を持っている患者☑	391	41.5	
8	新規で来局した患者	145	15.4	
9	ポリファーマシーの患者	172	18.3	
10	特に副作用の頻度が高く注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	512	54.4	
11	特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者	229	24.3	
12	その他	15	1.6	
	無回答	63	6.7	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	累計 (回答数 (件)) 4226
				累計 (割合) 448.6

(140) 8⑤.調剤後のフォローアップの実施手段...(MA)

		回答数 (件)	割合	
1	電話	822	87.3	
2	メール	72	7.6	
3	ビデオ電話	23	2.4	
4	S回答数 (件) S等のチャットツール	220	23.4	
5	対面	247	26.2	
6	その他	21	2.2	
	無回答	65	6.9	
	非該当	0		
	回答数 (件)	942	100.0	累計 (回答数 (件)) 1470
				累計 (割合) 156.1

(141) 8⑥1).フォローアップ実施患者数（実人数）(人)...(数量)

合計	6813.00
平均	7.87
分散(n-1)	542.28
標準偏差	23.29
最大値	245.00
最小値	0.00
無回答	76
非該当	0
回答数 (件)	866

(142) 8⑥2).糖尿病(人)...(数量)

合計	1698.00
平均	3.87
分散(n-1)	339.41
標準偏差	18.42
最大値	300.00
最小値	0.00
無回答	97
非該当	406
回答数 (件)	439

(143) 8⑥2).ぜんそく(人)...(数量)

合計	512.00
平均	1.18
分散(n-1)	20.73
標準偏差	4.55
最大値	45.00
最小値	0.00
無回答	103
非該当	406
回答数 (件)	433

(144) 8⑥2).COPD (人)...(数量)

合計	104.00
平均	0.24
分散(n-1)	2.75
標準偏差	1.66
最大値	30.00
最小値	0.00
無回答	105
非該当	406
回答数 (件)	431

(145) 8⑥2).心不全(人)...(数量)

合計	450.00
平均	1.03
分散(n-1)	10.17
標準偏差	3.19
最大値	36.00
最小値	0.00
無回答	100
非該当	406
回答数 (件)	436

(146) 8⑥2).血栓塞栓症(人)...(数量)

合計	407.00
平均	0.94
分散(n-1)	31.03
標準偏差	5.57
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	104
非該当	406
回答数 (件)	432

(147) 8⑥2).認知症 (人)...(数量)

合計	357.00
平均	0.83
分散(n-1)	7.53
標準偏差	2.74
最大値	30.00
最小値	0.00
無回答	104
非該当	406
回答数 (件)	432

(148) 8⑥2).精神疾患(人)...(数量)

合計	347.00
平均	0.81
分散(n-1)	7.33
標準偏差	2.71
最大値	32.00
最小値	0.00
無回答	105
非該当	406
回答数 (件)	431

(149) 8⑥2).悪性腫瘍(人)...(数量)

合計	325.00
平均	0.75
分散(n-1)	3.96
標準偏差	1.99
最大値	21.00
最小値	0.00
無回答	103
非該当	406
回答数 (件)	433

(150) 8⑥2).小児慢性特定疾病(人)...(数量)

合計	35.00
平均	0.08
分散(n-1)	0.51
標準偏差	0.71
最大値	10.00
最小値	0.00
無回答	104
非該当	406
回答数 (件)	432

(151) 8⑥2).その他(人)...(数量)

合計	2811.00
平均	6.51
分散(n-1)	613.04
標準偏差	24.76
最大値	392.00
最小値	0.00
無回答	104
非該当	406
回答数 (件)	432

(152) 8⑥3).フォローアップで得られた情報を処方医等にフィードバックした回数(人)...(数量)

合計	1999.00
平均	4.51
分散(n-1)	110.11
標準偏差	10.49
最大値	110.00
最小値	0.00
無回答	93
非該当	406
回答数（件）	443

(153) 8⑦).フォローアップで収集している情報...(M A)

	回答数（件）	割合
1 体調の変化	644	68.4
2 患者の服薬状況	617	65.5
3 残薬状況	369	39.2
4 患者の薬剤の保管・管理の状況	173	18.4
5 患者の薬剤服用後の副作用等の状況	503	53.4
6 服薬期間中に保健医療機関を新規受診し追加された併用薬	122	13.0
7 患者の生活習慣（食生活、運動習慣、飲酒/喫煙等）	111	11.8
8 その他	15	1.6
無回答	190	20.2
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
2744	291.3

(154) 8⑧).フォローアップした情報について処方医等に情報提供しているか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 フォローアップしたときは毎回、処方医等に情報提供している	141	15.0
2 フォローアップを行い問題点があった場合にのみ、処方医等に情報提供している	503	53.4
3 特に処方医等への情報提供をしていない	109	11.6
4 その他	14	1.5
無回答	175	18.6
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(155) 8⑨).処方医等にフィードバックした内容...(M A)

	回答数（件）	割合
1 新たに追加された併用薬剤等（一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む）の情報	162	25.2
2 処方薬剤の服用状況（アドヒアランス及び残薬等）	455	70.7
3 薬剤に関する提案	168	26.1
4 副作用等の状況	442	68.6
5 服薬指導の要点	163	25.3
6 その他	14	2.2
無回答	24	3.7
非該当	298	
回答数（件）	644	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
1428	221.7

(156) 8⑩).上記⑥でフォローアップの実績が0回の場合、その理由...(S A)

	回答数（件）	割合
1 フォローアップが必要な患者がいないため	168	41.4
2 フォローアップに必要な情報が不足しているため	68	16.7
3 医療機関との連携が不十分であるため	37	9.1
4 その他	63	15.5
無回答	70	17.2
非該当	536	
回答数（件）	406	100.0

(157) 9①).令和7年4月～6月の3か月間における、特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導の実施頻度...(S A)

	回答数（件）	割合
1 毎回実施	212	22.5
2 用法用量変更時又は副作用発現時に実施	537	57.0
3 実施していない・対象患者がいなかった	155	16.5
4 その他	21	2.2
無回答	17	1.8
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(158) 9②).特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導１イ又はロを算定できなかったこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 算定できなかったことがある	582	61.8
2 算定できなかったことはない	336	35.7
無回答	24	2.5
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(159) 9②-1.上記②で「1.算定できなかったことがある」を選択した場合、その理由...(M A)

	回答数（件）	割合
1 当該ハイリスク薬の処方が初めてではない患者に対して行ったため	453	77.8
2 1つの処方箋受付に対して2回以上実施したため	70	12.0
3 当該ハイリスク薬が継続処方され、用法用量に変更がなかったため	381	65.5
4 当該ハイリスク薬が継続処方され、副作用等の発現がみられなかったため	267	45.9
5 その他	37	6.4
無回答	4	0.7
非該当	360	
回答数（件）	582	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
1212	208.2

(160) 9③.令和7年4月～6月の3か月間における、医薬品リスク管理計画（RMP）に基づく指導の実施タイミング...(S A)

		回答数（件）	割合
1	初回処方時	792	84.1
2	継続内服中にRMP資材が作成された時	57	6.1
3	その他	26	2.8
	無回答	67	7.1
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(161) 9④.医薬品リスク管理計画（RMP）の患者向け資材は、患者に対してどのように提示・説明しているか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	資材を交付している	688	73.0
2	資材は提示のみで交付はしていない	174	18.5
3	その他	25	2.7
	無回答	55	5.8
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(162) 9⑤.医薬品リスク管理計画（RMP）の患者向け資材を用いた指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導３イ又はロを算定できなかったこと...(S A)

		回答数（件）	割合
1	算定できなかったことがある	219	23.2
2	算定できなかったことはない	665	70.6
	無回答	58	6.2
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(163) 9⑤-1.上記⑤で「1.算定できなかったことがある」を選択した場合、その理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	当該医薬品に対して2回以上実施したため	148	67.6
2	その他	66	30.1
	無回答	12	5.5
	非該当	723	
	回答数（件）	219	100.0

累計	（回答数（件）	累計	（割合）
	226		103.2

(164) 10①1).服薬情報等提供料１の算定有無...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あり	149	15.8
2	なし	772	82.0
	無回答	21	2.2
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(165) 10①1)-1.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	966.00
平均	6.76
分散(n-1)	201.23
標準偏差	14.19
最大値	123.00
最小値	0.00
無回答	6
非該当	793
回答数（件）	143

(166) 10①1)-2.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	166.00
平均	1.15
分散(n-1)	13.56
標準偏差	3.68
最大値	37.00
最小値	0.00
無回答	5
非該当	793
回答数（件）	144

(167) 10①2).服薬情報等提供料２の算定有無...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あり	354	37.6
2	なし	552	58.6
	無回答	36	3.8
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(168) 10①2)-1.算定回数のうち患者もしくはその家族への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	653.00
平均	1.91
分散(n-1)	42.24
標準偏差	6.50
最大値	71.00
最小値	0.00
無回答	13
非該当	588
回答数（件）	341

(169) 10①2)-2.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	1849.00
平均	5.42
分散(n-1)	105.26
標準偏差	10.26
最大値	90.00
最小値	0.00
無回答	13
非該当	588
回答数（件）	341

(170) 10①2)-3.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	591.00
平均	1.73
分散(n-1)	23.94
標準偏差	4.89
最大値	50.00
最小値	0.00
無回答	12
非該当	588
回答数（件）	342

(171) 10①3).服薬情報等提供料 3 の算定有無...(S A)

		回答数（件）	割合
1	算定あり	33	3.5
2	算定なし	878	93.2
	無回答	31	3.3
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(172) 10①3)-1.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	27.00
平均	0.84
分散(n-1)	0.65
標準偏差	0.81
最大値	3.00
最小値	0.00
無回答	1
非該当	909
回答数（件）	32

(173) 10①3)-2.算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	20.00
平均	0.63
分散(n-1)	0.44
標準偏差	0.66
最大値	2.00
最小値	0.00
無回答	1
非該当	909
回答数（件）	32

(174) 10①3)-3.算定なしの場合、算定の阻害要因...(M A)

		回答数（件）	割合
1	医療機関から依頼がない	419	47.7
2	対象となる患者がいない	379	43.2
3	情報提供をしたが在宅患者であった	137	15.6
4	その他	25	2.8
	無回答	171	19.5
	非該当	64	
	回答数（件）	878	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
1131	128.8

(175) 10①4).服薬情報等提供料を算定していないが、医療機関へ情報提供をおこなった回数(回)...(数量)

合計	4755.00
平均	6.22
分散(n-1)	701.19
標準偏差	26.48
最大値	501.00
最小値	0.00
無回答	178
非該当	0
回答数（件）	764

(176) 10①4)-1.4)のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	3370.00
平均	8.58
分散(n-1)	588.07
標準偏差	24.25
最大値	237.00
最小値	0.00
無回答	16
非該当	533
回答数（件）	393

(177) 10①4)-2.4)のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数(回)...(数量)

合計	1322.00
平均	3.38
分散(n-1)	243.61
標準偏差	15.61
最大値	264.00
最小値	0.00
無回答	18
非該当	533
回答数（件）	391

(178) 10①5).服薬情報等提供料を算定していないが、他の薬局へ情報提供をおこなった回数(回)...(数量)

合計	140.00
平均	0.19
分散(n-1)	0.65
標準偏差	0.81
最大値	10.00
最小値	0.00
無回答	198
非該当	0
回答数（件）	744

(179) 10②1)a.医師_提供の有無...(S A)

	回答数（件）	割合
1 医師への情報提供あり	804	85.4
2 医師への情報提供なし	111	11.8
無回答	27	2.9
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(180) 10②1)b.医師_提供した内容...(M A)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況に合わせた処方提案	462	57.5
2 薬物療法に関する助言	200	24.9
3 服薬状況の確認と残薬の整理	665	82.7
4 麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	51	6.3
5 医療材料、衛生材料の提供	43	5.3
6 夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	77	9.6
7 麻薬の供給	84	10.4
8 医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	435	54.1
9 服用薬の副作用に関する情報提供	382	47.5
10 輸液等において薬剤の調製に関する助言	20	2.5
無回答	22	2.7
非該当	138	
回答数（件）	804	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
2441	303.6

(181) 10②2)a.歯科医師_提供の有無...(S A)

	回答数（件）	割合
1 歯科医師への情報提供あり	81	8.6
2 歯科医師への情報提供なし	718	76.2
無回答	143	15.2
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(182) 10②2)b.歯科医師_提供した内容...(M A)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況に合わせた処方提案	28	34.6
2 薬物療法に関する助言	33	40.7
3 服薬状況の確認と残薬の整理	20	24.7
4 麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	1	1.2
5 医療材料、衛生材料の提供	1	1.2
6 夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	3	3.7
7 麻薬の供給	1	1.2
8 医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	8	9.9
9 服用薬の副作用に関する情報提供	15	18.5
10 輸液等において薬剤の調製に関する助言	1	1.2
無回答	9	11.1
非該当	861	
回答数（件）	81	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
120	148.1

(183) 10②3)a.病院薬剤師_提供の有無...(S A)

	回答数（件）	割合
1 病院薬剤師への情報提供あり	292	31.0
2 病院薬剤師への情報提供なし	523	55.5
無回答	127	13.5
非該当	0	
回答数（件）	942	100.0

(184) 10②3)b.病院薬剤師_提供した内容...(M A)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況に合わせた処方提案	63	21.6
2 薬物療法に関する助言	40	13.7
3 服薬状況の確認と残薬の整理	211	72.3
4 麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	6	2.1
5 医療材料、衛生材料の提供	5	1.7
6 夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	11	3.8
7 麻薬の供給	10	3.4
8 医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	64	21.9
9 服用薬の副作用に関する情報提供	70	24.0
10 輸液等において薬剤の調製に関する助言	2	0.7
無回答	23	7.9
非該当	650	
回答数（件）	292	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
505	172.9

(185) 10②4)a.看護師_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	看護師への情報提供あり	325	34.5
2	看護師への情報提供なし	498	52.9
	無回答	119	12.6
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(186) 10②4)b.看護師_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	88	27.1
2	薬物療法に関する助言	104	32.0
3	服薬状況の確認と残薬の整理	243	74.8
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	33	10.2
5	医療材料、衛生材料の提供	41	12.6
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	47	14.5
7	麻薬の供給	34	10.5
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	134	41.2
9	服用薬の副作用に関する情報提供	109	33.5
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	18	5.5
	無回答	23	7.1
	非該当	617	
	回答数 (件)	325	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
874	268.9

(187) 10②5)a.管理栄養士_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	管理栄養士への情報提供あり	12	1.3
2	管理栄養士への情報提供なし	773	82.1
	無回答	157	16.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(188) 10②5)b.管理栄養士_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	1	8.3
2	薬物療法に関する助言	7	58.3
3	服薬状況の確認と残薬の整理	2	16.7
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	1	8.3
5	医療材料、衛生材料の提供	1	8.3
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	1	8.3
7	麻薬の供給	0	0.0
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	1	8.3
9	服用薬の副作用に関する情報提供	1	8.3
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	0	0.0
	無回答	1	8.3
	非該当	930	
	回答数 (件)	12	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
16	133.3

(189) 10②6)a.PT/OT/ST_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	PT/OT/STへの情報提供あり	14	1.5
2	PT/OT/STへの情報提供なし	771	81.8
	無回答	157	16.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(190) 10②6)b.PT/OT/ST_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	1	7.1
2	薬物療法に関する助言	4	28.6
3	服薬状況の確認と残薬の整理	10	71.4
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	1	7.1
5	医療材料、衛生材料の提供	2	14.3
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	2	14.3
7	麻薬の供給	1	7.1
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	3	21.4
9	服用薬の副作用に関する情報提供	6	42.9
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	1	7.1
	無回答	1	7.1
	非該当	928	
	回答数 (件)	14	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
32	228.6

(191) 10②7)a.ケアマネジャー_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	ケアマネジャーへの情報提供あり	517	54.9
2	ケアマネジャーへの情報提供なし	336	35.7
	無回答	89	9.4
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(192) 10②7)b.ケアマネジャー_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	92	17.8
2	薬物療法に関する助言	112	21.7
3	服薬状況の確認と残薬の整理	396	76.6
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	18	3.5
5	医療材料、衛生材料の提供	44	8.5
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	41	7.9
7	麻薬の供給	21	4.1
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	202	39.1
9	服用薬の副作用に関する情報提供	148	28.6
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	8	1.5
	無回答	33	6.4
	非該当	425	
	回答数 (件)	517	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
1115	215.7

(193) 10②8)a.介護士_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	介護士への情報提供あり	141	15.0
2	介護士への情報提供なし	653	69.3
	無回答	148	15.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(194) 10②8)b.介護士_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	26	18.4
2	薬物療法に関する助言	44	31.2
3	服薬状況の確認と残薬の整理	91	64.5
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	8	5.7
5	医療材料、衛生材料の提供	23	16.3
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	17	12.1
7	麻薬の供給	7	5.0
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	65	46.1
9	服用薬の副作用に関する情報提供	42	29.8
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	3	2.1
	無回答	9	6.4
	非該当	801	
	回答数 (件)	141	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
335	237.6

(195) 10②9)a.生活相談員_提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	生活相談員への情報提供あり	57	6.1
2	生活相談員への情報提供なし	727	77.2
	無回答	158	16.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(196) 10②9)b.生活相談員_提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	7	12.3
2	薬物療法に関する助言	12	21.1
3	服薬状況の確認と残薬の整理	39	68.4
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	4	7.0
5	医療材料、衛生材料の提供	9	15.8
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	3	5.3
7	麻薬の供給	1	1.8
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	20	35.1
9	服用薬の副作用に関する情報提供	11	19.3
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	2	3.5
	無回答	7	12.3
	非該当	885	
	回答数 (件)	57	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
115	201.8

(197) 10②10)a.その他 _提供の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	その他職種への情報提供あり	9	1.0
2	その他職種への情報提供なし	511	54.2
	無回答	422	44.8
	非該当	0	
	回答数 (件)	942	100.0

(198) 10②10)b.その他 _提供した内容...(M A)

		回答数 (件)	割合
1	患者の服薬状況に合わせた処方提案	3	33.3
2	薬物療法に関する助言	4	44.4
3	服薬状況の確認と残薬の整理	6	66.7
4	麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援	0	0.0
5	医療材料、衛生材料の提供	1	11.1
6	夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供	0	0.0
7	麻薬の供給	1	11.1
8	医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）	4	44.4
9	服用薬の副作用に関する情報提供	1	11.1
10	輸液等において薬剤の調製に関する助言	0	0.0
	無回答	1	11.1
	非該当	933	
	回答数 (件)	9	100.0

累計 (回答数 (件))	累計 (割合)
21	233.3

(199) 1⑩-1.後発医薬品調剤割合(割合)...(数量)

合計	8048.81
平均	91.46
分散(n-1)	31.25
標準偏差	5.59
最大値	99.00
最小値	55.00
無回答	854
非該当	0
回答数 (件)	88

(200) 1⑩-2.後発医薬品調剤割合(割合)...(数量)

合計	8106.56
平均	92.12
分散(n-1)	28.62
標準偏差	5.35
最大値	99.00
最小値	56.00
無回答	854
非該当	0
回答数 (件)	88

(201) 抽出条件...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	地域支援体制加算あり	498	52.9
2	上記以外（届出なし）	444	47.1
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(202) 過疎地域該当...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	過疎地域該当	79	8.4
2	過疎地域非該当	863	91.6
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

(221) 1④.同一グループ（財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう）等による薬局店舗数(店舗)(カテゴリー)...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	1 店舗	205	21.8
2	2 ～ 5 店舗	226	24.0
3	6 ～19店舗	183	19.4
4	20～49店舗	73	7.7
5	50～299店舗	73	7.7
6	300～店舗	162	17.2
	無回答	20	2.1
	非該当	0	
	回答数（件）	942	100.0

平均	234.82
標準偏差	570.165

(231) 軸 1 ...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	地域支援体制加算あり	498	52.9
2	上記以外（届出なし）	444	47.1
3	1 店舗	205	21.8
4	2 ～ 5 店舗	226	24.0
5	6 ～19店舗	183	19.4
6	20～49店舗	73	7.7
7	50～299店舗	73	7.7
8	300～店舗	162	17.2
9	在宅薬学総合体制加算 1	442	46.9
10	在宅薬学総合体制加算 2	99	10.5
11	届出（算定）なし	329	34.9
12	様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局	473	50.2
13	主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局	202	21.4
14	主に不動産賃貸借関係のある特定の病院の処方箋を応需している薬局	7	0.7
15	主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	218	23.1
16	主に不動産賃貸借関係のある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	12	1.3
17	主に複数の近接する特定の保険医療機関（いわゆる医療モールやビル診療所など）の処方箋を応需している薬局	23	2.4
18	その他	4	0.4
19	調剤基本料 1	702	74.5
20	調剤基本料 2	34	3.6
21	調剤基本料 3 イ	28	3.0
22	調剤基本料 3 ロ	50	5.3
23	調剤基本料 3 ハ	114	12.1
24	特別調剤基本料 A	7	0.7
25	特別調剤基本料 B	0	0.0
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
4608	489.2

(232) 軸 2 ...(MA)

		回答数 (件)	割合
1	地域支援体制加算あり	498	52.9
2	上記以外（届出なし）	444	47.1
3	1 店舗	205	21.8
4	2 ～ 5 店舗	226	24.0
5	6 ～19店舗	183	19.4
6	20～49店舗	73	7.7
7	50～299店舗	73	7.7
8	300～店舗	162	17.2
9	在宅薬学総合体制加算 1	442	46.9
10	在宅薬学総合体制加算 2	99	10.5
11	届出（算定）なし	329	34.9
12	様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局	473	50.2
13	主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局	202	21.4
14	主に不動産賃貸借関係のある特定の病院の処方箋を応需している薬局	7	0.7
15	主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	218	23.1
16	主に不動産賃貸借関係のある特定の診療所の処方箋を応需している薬局	12	1.3
17	主に複数の近接する特定の保険医療機関（いわゆる医療モールやビル診療所など）の処方箋を応需している薬局	23	2.4
18	その他	4	0.4
19	調剤基本料 1	702	74.5
20	調剤基本料 2	34	3.6
21	調剤基本料 3 イ	28	3.0
22	調剤基本料 3 ロ	50	5.3
23	調剤基本料 3 ハ	114	12.1
24	特別調剤基本料 A	7	0.7
25	特別調剤基本料 B	0	0.0
26	地域支援体制加算1	262	27.8
27	地域支援体制加算2	205	21.8
28	地域支援体制加算3	5	0.5
29	地域支援体制加算4	1	0.1
30	届出なし	355	37.7
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	942	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
5436	577.1

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

2．病院調査

(2) 1①.所在地...(S A)

	回答数（件）	割合
1 北海道	24	8.1
2 青森県	3	1.0
3 岩手県	3	1.0
4 宮城県	3	1.0
5 秋田県	2	0.7
6 山形県	2	0.7
7 福島県	3	1.0
8 茨城県	6	2.0
9 栃木県	5	1.7
10 群馬県	3	1.0
11 埼玉県	13	4.4
12 千葉県	9	3.1
13 東京都	24	8.1
14 神奈川県	15	5.1
15 新潟県	7	2.4
16 富山県	3	1.0
17 石川県	2	0.7
18 福井県	3	1.0
19 山梨県	1	0.3
20 長野県	2	0.7
21 岐阜県	5	1.7
22 静岡県	9	3.1
23 愛知県	14	4.7
24 三重県	3	1.0
25 滋賀県	2	0.7
26 京都府	8	2.7
27 大阪府	20	6.8
28 兵庫県	14	4.7
29 奈良県	6	2.0
30 和歌山県	6	2.0
31 鳥取県	1	0.3
32 島根県	2	0.7
33 岡山県	6	2.0
34 広島県	4	1.4
35 山口県	3	1.0
36 徳島県	5	1.7
37 香川県	1	0.3
38 愛媛県	8	2.7
39 高知県	2	0.7
40 福岡県	14	4.7
41 佐賀県	2	0.7
42 長崎県	5	1.7
43 熊本県	3	1.0
44 大分県	4	1.4
45 宮崎県	7	2.4
46 鹿児島県	5	1.7
47 沖縄県	3	1.0
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(3) 1②.開設者...(S A)

	回答数（件）	割合
1 国	21	7.1
2 公立	49	16.6
3 公的	18	6.1
4 社会保険関係団体	1	0.3
5 医療法人（社会医療法人を除く）	148	50.2
6 会社	1	0.3
7 その他の法人	54	18.3
8 個人	3	1.0
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(4) 1③.標榜診療科...(M A)

	回答数（件）	割合
1 内科	261	88.5
2 外科	189	64.1
3 精神科	123	41.7
4 小児科	119	40.3
5 皮膚科	142	48.1
6 泌尿器科	145	49.2
7 産婦人科・産科	93	31.5
8 眼科	116	39.3
9 耳鼻咽喉科	105	35.6
10 放射線科	135	45.8
11 脳神経外科	130	44.1
12 整形外科	197	66.8
13 麻酔科	139	47.1
14 救急科	62	21.0
15 歯科・歯科口腔外科	63	21.4
16 リハビリテーション科	198	67.1
17 その他	72	24.4
無回答	1	0.3
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
2290	776.3

(5) 1④.在宅療養支援病院の届出区分...(S A)

	回答数（件）	割合
1 機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	7	2.4
2 機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	17	5.8
3 上記以外の在宅療養支援病院	33	11.2
4 在宅療養支援病院ではない	227	76.9
無回答	11	3.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(6) 1⑤.地域包括診療料の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1 算定あり	61	2.0
2 算定なし	281	95.3
無回答	81	2.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(7) 1⑤_1.地域包括診療料の算定件数(件)...(数量)

合計	101.00
平均	16.83
分散(n-1)	414.17
標準偏差	20.35
最大値	57.00
最小値	3.00
無回答	0
非該当	289
回答数（件）	6

(8) 1⑥.地域包括診療加算の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1 算定あり	0	0.0
2 算定なし	287	97.3
無回答	81	2.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(9) 1⑥_1.地域包括診療加算の算定件数(件)...(数量)

合計	0.00
平均	
分散(n-1)	
標準偏差	
最大値	
最小値	
無回答	0
非該当	295
回答数（件）	0

(10) 1⑦.小児かかりつけ診療料の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1 算定あり	21	0.7
2 算定なし	287	97.3
無回答	61	2.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(11) 1⑦_1.小児かかりつけ診療料の算定件数(件)...(数量)

合計	122.00
平均	61.00
分散(n-1)	4608.00
標準偏差	67.88
最大値	109.00
最小値	13.00
無回答	0
非該当	293
回答数（件）	2

(12) 2①.外来患者数_初診_R7年6月(人)...(数量)

合計	152526.00
平均	554.64
分散(n-1)	393259.93
標準偏差	627.10
最大値	3685.00
最小値	0.00
無回答	20
非該当	0
回答数（件）	275

(13) 2①.外来患者数_再診延べ_R7年6月(人)...(数量)

合計	828772.00
平均	3035.79
分散(n-1)	19444556.77
標準偏差	4409.60
最大値	28274.00
最小値	0.00
無回答	22
非該当	0
回答数（件）	273

(14) 2①.外来患者数_初診患者数_R6年6月(人)...(数量)

合計	833759.60
平均	3031.85
分散(n-1)	36129736.54
標準偏差	6010.80
最大値	44461.00
最小値	0.00
無回答	20
非該当	0
回答数（件）	275

(15) 2①.外来患者数_再診延べ_R6年6月(人)...(数量)

合計	1604034.60
平均	5832.85
分散(n-1)	56383212.09
標準偏差	7508.88
最大値	48698.00
最小値	0.00
無回答	20
非該当	0
回答数 (件)	275

(16) 2②.院内処方(割合)...(数量)

合計	6023.06
平均	21.82
分散(n-1)	1273.07
標準偏差	35.68
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	19
非該当	0
回答数 (件)	276

(17) 2②.院外処方(割合)...(数量)

合計	21576.94
平均	78.18
分散(n-1)	1273.07
標準偏差	35.68
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	19
非該当	0
回答数 (件)	276

(18) 2②-1.今後院内処方を増やす意向の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	院内処方を増やす意向あり	9	3.1
2	院内処方を増やす意向なし	222	75.3
3	未定	57	19.3
	無回答	7	2.4
	非該当	0	
	回答数 (件)	295	100.0

(19) 2③.往診の実施回数(回)...(数量)

合計	1566.00
平均	5.76
分散(n-1)	925.86
標準偏差	30.43
最大値	417.00
最小値	0.00
無回答	23
非該当	0
回答数 (件)	272

(20) 2④.訪問診療の実施回数(回)...(数量)

合計	8613.00
平均	31.55
分散(n-1)	13110.52
標準偏差	114.50
最大値	1183.00
最小値	0.00
無回答	22
非該当	0
回答数 (件)	273

(21) 2⑤.いわゆる門前薬局の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	あり	219	74.2
2	なし	74	25.1
	無回答	2	0.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	295	100.0

(22) 2⑥.いわゆる敷地内薬局の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	あり	39	13.2
2	なし	252	85.4
	無回答	4	1.4
	非該当	0	
	回答数 (件)	295	100.0

(23) 2⑥ .1.薬局数...(数量)

合計	38.00
平均	1.09
分散(n-1)	0.14
標準偏差	0.37
最大値	3.00
最小値	1.00
無回答	4
非該当	256
回答数 (件)	35

(24) 2㉔.院外処方箋における問合せ簡素化プロトコルを結んでいるか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 結んでいる	87	29.5
2 結んでいない	194	65.8
無回答	14	4.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(25) 3㉑.医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性...(MA)

	回答数（件）	割合
1 薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者	175	59.3
2 長期処方（処方日数28日以上）の患者	62	21.0
3 服薬アドヒアランスが不良な患者	210	71.2
4 認知機能が低下している患者	181	61.4
5 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）を処方された患者	141	47.8
6 手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	182	61.7
7 薬剤や治療に不安を持っている患者	145	49.2
8 新規で受診した患者	63	21.4
9 ポリファーマシーの患者	126	42.7
10 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	184	62.4
11 特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤を処方された患者	110	37.3
12 その他	5	1.7
無回答	19	6.4
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1603	543.4

(26) 3㉒.医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患...(MA)

	回答数（件）	割合
1 糖尿病	200	67.8
2 ぜんそく	145	49.2
3 COPD	131	44.4
4 心不全	83	28.1
5 血栓塞栓症	117	39.7
6 認知症	148	50.2
7 精神疾患	123	41.7
8 悪性腫瘍	171	58.0
9 小児慢性特定疾病	49	16.6
10 その他	5	1.7
無回答	22	7.5
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1194	404.7

(27) 3㉓.薬局にフォローアップして欲しい薬剤...(MA)

	回答数（件）	割合
1 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）	181	61.4
2 手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）	207	70.2
3 注射器以外のデバイスが必要な薬剤（COPD治療薬等）	197	66.8
4 注射器が必要な薬剤	154	52.2
5 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）	200	67.8
6 特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	146	49.5
7 その他	18	6.1
8 そのような薬剤は特にない	14	4.7
無回答	15	5.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1132	383.7

(28) 3㉔.上記のうち、十分にフィードバックされていない薬剤...(MA)

	回答数（件）	割合
1 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）	64	24.1
2 手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）	87	32.7
3 注射器以外のデバイスが必要な薬剤（COPD治療薬等）	66	24.8
4 注射器が必要な薬剤	69	25.9
5 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）	70	26.3
6 特に他の薬剤との相互作用に注意すべき薬剤	58	21.8
7 その他	12	4.5
8 そのような薬剤は特にない	80	30.1
無回答	19	7.1
非該当	29	
回答数（件）	266	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
525	197.4

(29) 3㉕.フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	232	78.6
2 残薬状況	196	66.4
3 患者の保管・管理の状況	126	42.7
4 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	177	60.0
5 処方内容に関する提案情報	129	43.7
6 その他の患者に関する情報	14	4.7
7 特になし	20	6.8
無回答	15	5.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
909	308.1

(30) 3㉖.上記のうち、十分にフィードバックされていない情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	79	30.4
2 残薬状況	60	23.1
3 患者の保管・管理の状況	70	26.9
4 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	87	33.5
5 処方内容に関する提案情報	62	23.8
6 その他の患者に関する情報	7	2.7
7 特になし（フィードバック情報に満足している）	40	15.4
8 わからない	41	15.8
無回答	12	4.6
非該当	35	
回答数（件）	260	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
458	176.2

(31) 3⑦.フォローアップを薬局に指示した場合のメリット...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者が正しく服用できるようになった	171	58.0
2 アドヒアランスが向上した	164	55.6
3 服用等の状況の報告が診療の参考となった	162	54.9
4 医薬品に関する患者からの問い合わせが減った	59	20.0
5 患者の手技やデバイスの使用が適切になった	160	54.2
6 その他	6	2.0
7 薬局でのフォローアップにメリットを感じない	6	2.0
無回答	20	6.8
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
748	253.6

(32) 3⑧.患者による薬局の選択の上で、連携する薬局を変更したこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 連携する薬局を変更したことがある	54	18.3
2 連携する薬局を変更したことがない	226	76.6
無回答	15	5.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(33) 3⑧-1.薬局の変更理由...(MA)

	回答数（件）	割合
1 麻薬注射等のこれまでの薬局では対応できない機能が必要となったから	34	63.0
2 患者から要望があったから	17	31.5
3 ケアマネジャーから要望があったから	3	5.6
4 その他	9	16.7
無回答	0	0.0
非該当	241	
回答数（件）	54	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
63	116.7

(34) 3⑨.在宅移行初期管理料の認知度...(S A)

	回答数（件）	割合
1 どのようなものかも知っている	18	6.1
2 聞いたことはあるが、詳細は知らない	116	39.3
3 知らない	147	49.8
無回答	14	4.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(35) 3⑩.在宅移行初期管理料のメリット...(MA)

	回答数（件）	割合
1 在宅療養開始前に薬剤師が患者の情報を把握できるため、効果的な服薬指導が期待できる	174	59.0
2 薬剤師やケアマネジャー等の多職種との連携が進むことで、効果的な薬物治療や服薬指導が期待できる	175	59.3
3 ポリファーマシー対策に繋がる	107	36.3
4 その他	10	3.4
無回答	41	13.9
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
507	171.9

(36) 3⑪.薬局との連携についての課題...(MA)

	回答数（件）	割合
1 在宅訪問を依頼する場合にどこの薬局へ依頼すればいいのかわからない	99	33.6
2 抗がん剤などの特殊な薬剤をどの薬局が取り扱っているかどうかかわからない	99	33.6
3 TP回答数（件）（中心静脈栄養）などの無菌調製に対応できる薬局が見つからない	76	25.8
4 麻薬処方時にどの薬局が麻薬を取り扱っているかどうかかわからない	74	25.1
5 ターミナル期の患者対応ができる薬局が見つからない	56	19.0
6 患者の体調変化等により、やむを得ず急速薬剤が必要となった場合に対応できる薬局が見つからない	87	29.5
7 薬局との連携の必要性がない	16	5.4
8 患者のかかりつけ薬局等がわからない	109	36.9
9 その他	24	8.1
無回答	35	11.9
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
675	228.8

(37) 3⑫.薬局と連携することでデメリットだと感じる点...(MA)

	回答数（件）	割合
1 処方した薬剤に関して、薬局から患者に意図しない説明がされることがある	75	25.4
2 薬局とのコミュニケーションに時間を取られる	66	22.4
3 処方データの共有や薬剤情報の確認など、連携による業務が増える	111	37.6
4 薬局からのフィードバックが不十分である	52	17.6
5 薬局における服薬管理の状況が不明確である	52	17.6
6 薬局の対応に差がある	163	55.3
7 その他	17	5.8
無回答	38	12.9
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
574	194.6

(38) 4①.薬局より患者の重複投薬等の解消に関し、処方変更の提案を受け取った経験...(S A)

	回答数（件）	割合
1 受け取ったことがある	124	42.0
2 受け取ったことがない	159	53.9
無回答	12	4.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(39) 4①-1.薬局の提案により処方を変更した経験...(S A)

	回答数（件）	割合
1 処方の変更をしたことがある	117	94.4
2 処方の変更をしたことはない	6	4.8
無回答	1	0.8
非該当	171	
回答数（件）	124	100.0

(40) 4②.ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場へはどのような方が参加しているか...(MA)

	回答数（件）	割合
1 自治体	10	3.4
2 保険者	3	1.0
3 医師会	15	5.1
4 病院関係者	30	10.2
5 診療所関係者	6	2.0
6 薬剤師会	38	12.9
7 薬局関係者	25	8.5
8 看護関係者	6	2.0
9 介護関係者	6	2.0
10 学識経験者	0	0.0
11 その他	2	0.7
12 わからない	96	32.5
13 協議の場はない	124	42.0
無回答	18	6.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
379	128.5

(41) 4③.上記②で1～11を選んだ場合、協議する場は機能していると感じるか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 機能していると感じる	4	7.0
2 どちらともいえない	43	75.4
3 機能していると感じない	7	12.3
無回答	3	5.3
非該当	238	
回答数（件）	57	100.0

(42) 4④.ポリファーマシー対策のためのオンライン資格確認の導入状況...(S A)

	回答数（件）	割合
1 導入しており、ポリファーマシー対策に使用している	16	5.4
2 導入しているが、ポリファーマシー対策には使用できていない	129	43.7
3 導入していないが、導入予定であり、ポリファーマシー対策にも使用予定である	12	4.1
4 導入しておらず、導入予定もない	124	42.0
無回答	14	4.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(43) 4⑤.複数のお薬手帳を持つ患者をどのように把握しているか...(MA)

	回答数（件）	割合
1 問診時に確認している	114	38.6
2 診察時に確認している	97	32.9
3 患者からの自己申告により確認している	138	46.8
4 オンライン資格確認システムの薬剤情報との比較で確認している	20	6.8
5 薬局からの問合せや情報提供により確認している	40	13.6
6 その他	6	2.0
7 把握できていない	50	16.9
無回答	15	5.1
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
480	162.7

(44) 5①.薬局に対して、トレーシングレポートの提供を求めたこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 求めたことがある	47	15.9
2 求めたことはない	238	80.7
無回答	10	3.4
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(45) 5①-1.貴施設からの求めに応じた薬局からのトレーシングレポートの提供状況...(S A)

	回答数（件）	割合
1 遅滞なく提供された	32	68.1
2 時間を要したが提供された	14	29.8
3 提供されなかった	1	2.1
無回答	0	0.0
非該当	248	
回答数（件）	47	100.0

(46) 5②.貴施設からの求めのほか、疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取ったこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 受け取ったことがある	118	40.0
2 受け取ったことはない	166	56.3
無回答	11	3.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(47) 5②-1.薬局から受け取った疑義照会とは異なり、処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整したか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 処方内容を調整したことがある	60	45.5
2 処方内容を調整したことがない	60	45.5
無回答	12	9.1
非該当	163	
回答数（件）	132	100.0

(48) 5②-1_1.変更回数...(数量)

合計	176.00
平均	4.40
分散(n-1)	224.04
標準偏差	14.97
最大値	96.00
最小値	0.00
無回答	20
非該当	235
回答数（件）	40

(49) 5②-2.具体的にどのような内容を変更...(MA)

	回答数（件）	割合
1 薬剤の変更	23	38.3
2 用法の変更	21	35.0
3 用量の変更	24	40.0
4 分量の変更	6	10.0
5 薬剤の追加・削除	35	58.3
6 その他	10	16.7
無回答	1	1.7
非該当	235	
回答数（件）	60	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
120	200.0

(50) 5②-3.薬局から受け取った服薬情報のうち、貴施設が求めた情報は何割程度か(割)...(数量)

合計	165.00
平均	2.04
分散(n-1)	5.69
標準偏差	2.38
最大値	10.00
最小値	0.00
無回答	51
非該当	163
回答数（件）	81

(51) 5②-4.これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	80	60.6
2 残薬状況	83	62.9
3 患者の医薬品の保管・管理の状況	22	16.7
4 患者の服薬後のモニタリング状況	36	27.3
5 処方内容に関する提案情報	49	37.1
6 副作用の発生状況	68	51.5
7 患者の医療機関・薬局等の利用状況	15	11.4
8 その他の患者に関する情報	5	3.8
無回答	16	12.1
非該当	163	
回答数（件）	132	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
374	283.3

(52) 5③.薬局から報告してほしい患者の情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	220	74.6
2 残薬状況	191	64.7
3 患者の医薬品の保管・管理の状況	101	34.2
4 患者の服薬後のモニタリング状況	123	41.7
5 処方内容に関する提案情報	105	35.6
6 副作用の発生状況	193	65.4
7 患者の医療機関・薬局等の利用状況	69	23.4
8 その他の患者に関する情報	7	2.4
無回答	16	5.4
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1025	347.5

(53) 5④.お薬手帳などにより、患者のかかりつけ薬局を容易に把握すること...(SA)

	回答数（件）	割合
1 概ね把握できている	110	37.3
2 把握できない場合がある	146	49.5
3 ほぼ把握できていない	25	8.5
無回答	14	4.7
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(54) 5①&②....(SA)

	回答数（件）	割合
1 求めたことがあるor受け取ったことがある	132	44.7
2 上記以外	163	55.3
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(55) 抽出条件...(SA)

	回答数（件）	割合
1 200床未満（かつ地域包括診療料あり）	13	4.4
2 200床未満	114	38.6
3 200床以上	168	56.9
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(56) 過疎地域該当...(SA)

	回答数（件）	割合
1 過疎地域	41	13.9
2 過疎地域以外	254	86.1
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(57) 特定機能病院該当...(SA)

	回答数（件）	割合
1 特定機能病院	12	4.1
2 特定機能病院以外	283	95.9
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	295	100.0

(58) DPC対象病院該当...(S A)

		回答数（件）	割合
1	DPC対象病院	19	6.4
2	DPC対象病院以外	276	93.6
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	295	100.0

(59) 地域医療支援病院該当...(S A)

		回答数（件）	割合
1	地域医療支援病院	40	13.6
2	地域医療支援病院以外	255	86.4
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	295	100.0

(231) 軸 1...(MA)

		回答数（件）	割合
1	200床未満（かつ地域包括診療料あり）	13	4.4
2	200床未満	114	38.6
3	200床以上	168	56.9
4	機能強化型在宅療養支援病院(単独型)	7	2.4
5	機能強化型在宅療養支援病院(連携型)	17	5.8
6	上記以外の在宅療養支援病院	33	11.2
7	在宅療養支援病院ではない	227	76.9
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	295	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
579	196.3

調査名 [かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査]

3. 診療所調査

(2) 1①.所在地...(S A)

	回答数（件）	割合
1 北海道	6	1.9
2 青森県	2	0.6
3 岩手県	4	1.3
4 宮城県	3	0.9
5 秋田県	3	0.9
6 山形県	2	0.6
7 福島県	8	2.5
8 茨城県	6	1.9
9 栃木県	5	1.6
10 群馬県	3	0.9
11 埼玉県	22	6.9
12 千葉県	9	2.8
13 東京都	41	12.9
14 神奈川県	28	8.8
15 新潟県	5	1.6
16 富山県	3	0.9
17 石川県	3	0.9
18 福井県	2	0.6
19 山梨県	1	0.3
20 長野県	2	0.6
21 岐阜県	4	1.3
22 静岡県	15	4.7
23 愛知県	16	5.0
24 三重県	6	1.9
25 滋賀県	3	0.9
26 京都府	6	1.9
27 大阪府	19	6.0
28 兵庫県	14	4.4
29 奈良県	2	0.6
30 和歌山県	4	1.3
31 鳥取県	2	0.6
32 島根県	1	0.3
33 岡山県	7	2.2
34 広島県	10	3.1
35 山口県	4	1.3
36 徳島県	0	0.0
37 香川県	3	0.9
38 愛媛県	5	1.6
39 高知県	3	0.9
40 福岡県	19	6.0
41 佐賀県	1	0.3
42 長崎県	6	1.9
43 熊本県	4	1.3
44 大分県	3	0.9
45 宮崎県	2	0.6
46 鹿児島県	2	0.6
47 沖縄県	0	0.0
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(3) 1②.開設者...(S A)

	回答数（件）	割合
1 国	0	0.0
2 公立	6	1.9
3 公的	0	0.0
4 社会保険関係団体	0	0.0
5 医療法人（社会医療法人を除く）	186	58.3
6 会社	1	0.3
7 その他の法人	8	2.5
8 個人	116	36.4
無回答	2	0.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(4) 1③.診療所の種別...(S A)

	回答数（件）	割合
1 有床診療所	23	7.2
2 無床診療所	289	90.6
無回答	7	2.2
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(5) 1④.標榜診療科...(M A)

	回答数（件）	割合
1 内科	183	57.4
2 外科	35	11.0
3 精神科	30	9.4
4 小児科	121	37.9
5 皮膚科	33	10.3
6 泌尿器科	6	1.9
7 産婦人科・産科	7	2.2
8 眼科	19	6.0
9 耳鼻咽喉科	18	5.6
10 放射線科	9	2.8
11 脳神経外科	13	4.1
12 整形外科	38	11.9
13 麻酔科	9	2.8
14 救急科	0	0.0
15 歯科・歯科口腔外科	3	0.9
16 リハビリテーション科	28	8.8
17 その他	40	12.5
無回答	2	0.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
594	186.2

(6) 1⑤.貴施設の在宅療養支援診療所の届出区分...(S A)

	回答数（件）	割合
1機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)	14	4.4
2機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	34	10.7
3上記以外の在宅療養支援診療所	49	15.4
4在宅療養支援診療所ではない	205	64.3
無回答	17	5.3
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(7) 1⑥.地域包括診療料の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1算定あり	35	11.0
2算定なし	262	82.1
無回答	22	6.9
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(8) 1⑥ 1.地域包括診療料の算定件数(件)...(数量)

合計	1691.00
平均	54.55
分散(n-1)	5045.06
標準偏差	71.03
最大値	248.00
最小値	1.00
無回答	4
非該当	284
回答数（件）	31

(9) 1⑦.地域包括診療加算の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1算定あり	40	12.5
2算定なし	252	79.0
無回答	27	8.5
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(10) 1⑦ 1.地域包括診療加算の算定件数(件)...(数量)

合計	7543.00
平均	228.58
分散(n-1)	24326.19
標準偏差	155.97
最大値	633.00
最小値	2.00
無回答	7
非該当	279
回答数（件）	33

(11) 1⑧.小児かかりつけ診療料の算定実績...(S A)

	回答数（件）	割合
1算定あり	67	21.0
2算定なし	238	74.6
無回答	14	4.4
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(12) 1⑧ 1.小児かかりつけ診療料の算定件数(件)...(数量)

合計	11004.00
平均	220.08
分散(n-1)	45554.40
標準偏差	213.43
最大値	821.00
最小値	1.00
無回答	17
非該当	252
回答数（件）	50

(13) 2①.外来患者数_初診_R7年6月(人)...(数量)

合計	54996.00
平均	194.33
分散(n-1)	43507.47
標準偏差	208.58
最大値	988.00
最小値	0.00
無回答	36
非該当	0
回答数（件）	283

(14) 2①.外来患者数_再診延べ_R7年6月(人)...(数量)

合計	216234.00
平均	748.21
分散(n-1)	414549.68
標準偏差	643.86
最大値	4260.00
最小値	0.00
無回答	30
非該当	0
回答数（件）	289

(15) 2①.外来患者数_初診_R6年6月(人)...(数量)

合計	92831.00
平均	332.73
分散(n-1)	268619.76
標準偏差	518.29
最大値	3585.00
最小値	0.00
無回答	40
非該当	0
回答数 (件)	279

(16) 2①.外来患者数_再診延べ_R6年6月(人)...(数量)

合計	244724.00
平均	870.90
分散(n-1)	586798.16
標準偏差	766.03
最大値	6000.00
最小値	0.00
無回答	38
非該当	0
回答数 (件)	281

(17) 2②.院内処方(割合)...(数量)

合計	5927.92
平均	19.63
分散(n-1)	1408.13
標準偏差	37.53
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	17
非該当	0
回答数 (件)	302

(18) 2②.院外処方(割合)...(数量)

合計	24272.08
平均	80.37
分散(n-1)	1408.13
標準偏差	37.53
最大値	100.00
最小値	0.00
無回答	17
非該当	0
回答数 (件)	302

(19) 2②-1.今後院内処方を増やす意向...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	あり	10	3.1
2	なし	254	79.6
3	未定	40	12.5
	無回答	15	4.7
	非該当	0	
	回答数 (件)	319	100.0

(20) 2③.往診の実施回数(回)...(数量)

合計	2195.00
平均	7.24
分散(n-1)	638.07
標準偏差	25.26
最大値	226.00
最小値	0.00
無回答	16
非該当	0
回答数 (件)	303

(21) 2④.訪問診療の実施回数(回)...(数量)

合計	25673.00
平均	84.45
分散(n-1)	113345.78
標準偏差	336.67
最大値	3472.00
最小値	0.00
無回答	15
非該当	0
回答数 (件)	304

(22) 2⑤.いわゆる門前薬局の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	あり	184	57.7
2	なし	128	40.1
	無回答	7	2.2
	非該当	0	
	回答数 (件)	319	100.0

(23) 2⑥.いわゆる敷地内薬局の有無...(S A)

		回答数 (件)	割合
1	あり	42	13.2
2	なし	274	85.9
	無回答	3	0.9
	非該当	0	
	回答数 (件)	319	100.0

(24) 2⑥.1.薬局数...(数量)

合計	48.00
平均	1.17
分散(n-1)	0.40
標準偏差	0.63
最大値	4.00
最小値	1.00
無回答	1
非該当	277
回答数（件）	41

(25) 2⑦.院外処方箋における問合せ簡素化プロトコルを結んでいるか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 結んでいる	31	9.7
2 結んでいない	270	84.6
無回答	18	5.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(26) 3①.医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性...(M A)

	回答数（件）	割合
1 薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者	200	62.7
2 長期処方（処方日数28日以上）の患者	63	19.7
3 服薬アドヒアランスが不良な患者	166	52.0
4 認知機能が低下している患者	177	55.5
5 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）を処方された患者	111	34.8
6 手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者	139	43.6
7 薬剤や治療に不安を持っている患者	103	32.3
8 新規で受診した患者	64	20.1
9 ポリファーマシーの患者	90	28.2
10 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者	91	28.5
11 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者	110	34.5
12 その他	11	3.4
無回答	24	7.5
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
1349	422.9

(27) 3②.医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患...(M A)

	回答数（件）	割合
1 糖尿病	126	39.5
2 ぜんそく	110	34.5
3 COPD	70	21.9
4 心不全	87	27.3
5 血栓塞栓症	60	18.8
6 認知症	139	43.6
7 精神疾患	87	27.3
8 悪性腫瘍	63	19.7
9 小児慢性特定疾病	42	13.2
10 その他	24	7.5
無回答	58	18.2
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
866	271.5

(28) 3③.薬局にフォローアップして欲しい薬剤...(M A)

	回答数（件）	割合
1 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）	146	45.8
2 手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）	168	52.7
3 注射器以外のデバイスが必要な薬剤（COPD治療薬等）	107	33.5
4 注射器が必要な薬剤	101	31.7
5 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）	100	31.3
6 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤	144	45.1
7 その他	11	3.4
8 そのような薬剤は特にない	39	12.2
無回答	18	5.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
834	261.4

(29) 3④.上記のうち、十分にフィードバックされていない薬剤...(M A)

	回答数（件）	割合
1 服用方法に注意が必要な薬剤（ビスフォス等）	43	16.4
2 手技を伴う薬剤（点鼻剤、注射剤等）	54	20.6
3 射器以外のデバイスが必要な薬剤（COPD治療薬等）	28	10.7
4 注射器が必要な薬剤	22	8.4
5 特に副作用に注意すべき薬剤（抗がん剤等）	24	9.2
6 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤	30	11.5
7 その他	7	2.7
8 そのような薬剤は特にない	122	46.6
無回答	35	13.4
非該当	57	
回答数（件）	262	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
365	139.3

(30) 3⑤.フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報...(M A)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	202	63.3
2 残薬状況	198	62.1
3 患者の保管・管理の状況	110	34.5
4 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	96	30.1
5 処方内容に関する提案情報	99	31.0
6 その他の患者に関する情報	17	5.3
7 特になし	44	13.8
無回答	18	5.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
784	245.8

(31) 3⑥.上記のうち、十分にフィードバックされていない情報...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 患者の服薬状況	61		23.7	
2 残薬状況	66		25.7	
3 患者の保管・管理の状況	51		19.8	
4 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況	44		17.1	
5 処方内容に関する提案情報	27		10.5	
6 その他の患者に関する情報	8		3.1	
7 特になし	86		33.5	
8 わからない	38		14.8	
無回答	12		4.7	
非該当	62			
回答数（件）	257		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
393	152.9

(32) 3⑦.フォローアップを薬局に指示した場合のメリット...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 患者が正しく服用できるようになった	161		50.5	
2 アドヒアランスが向上した	126		39.5	
3 服用等の状況の報告が診療の参考となった	130		40.8	
4 医薬品に関する患者からの問い合わせが減った	58		18.2	
5 患者の手技やデバイスの使用が適切になった	89		27.9	
6 その他	6		1.9	
7 薬局でのフォローアップにメリットを感じない	26		8.2	
無回答	33		10.3	
非該当	0			
回答数（件）	319		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
629	197.2

(33) 3⑧.患者による薬局の選択の上で、連携する薬局を変更したこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 ある	63	19.7
2 ない	240	75.2
無回答	16	5.0
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(34) 3⑧-1.薬局の変更理由...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 麻薬注射等のこれまでの薬局では対応できない機能が必要となったから	25		39.7	
2 患者から要望があったから	36		57.1	
3 ケアマネジャーから要望があったから	5		7.9	
4 その他	22		34.9	
無回答	1		1.6	
非該当	256			
回答数（件）	63		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
89	141.3

(35) 3⑨.在宅移行初期管理料の認知度...(S A)

	回答数（件）	割合
1 どのようなものかも知っている	30	9.4
2 聞いたことはあるが、詳細は知らない	54	16.9
3 知らない	217	68.0
無回答	18	5.6
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(36) 3⑩.在宅移行初期管理料のメリット...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 在宅療養開始前に薬剤師が患者の情報を把握できるため、効果的な服薬指導が期待できる	122		38.2	
2 薬剤師やケアマネジャー等の多職種との連携が進むことで、効果的な薬物治療や服薬指導が期待できる	112		35.1	
3 ポリファーマシー対策に繋がる	83		26.0	
4 その他	16		5.0	
無回答	107		33.5	
非該当	0			
回答数（件）	319		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
440	137.9

(37) 3⑪.薬局との連携についての課題...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 在宅訪問を依頼する場合にどこの薬局へ依頼すればいいのかわからない	41		12.9	
2 抗がん剤などの特殊な薬剤をどの薬局が取り扱っているかどうかかわからない	39		12.2	
3 TP回答数（件）（中心静脈栄養）などの無菌調製を対応できる薬局がみつからない	20		6.3	
4 麻薬処方時にどの薬局が麻薬を取り扱っているかどうかかわからない	32		10.0	
5 ターミナル期の患者対応ができる薬局がみつからない	20		6.3	
6 患者の体調変化等により、やむを得ず急速薬剤が必要となった場合に対応できる薬局がみつからない	53		16.6	
7 薬局との連携の必要性がない	29		9.1	
8 患者のかかりつけ薬局等がわからない	87		27.3	
9 その他	43		13.5	
無回答	87		27.3	
非該当	0			
回答数（件）	319		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
451	141.4

(38) 3⑫.薬局と連携することでデメリット...(M A)

	回答数（件）	割合		
1 処方した薬剤に関して、薬局から患者に意図しない説明がされることがある	119		37.3	
2 薬局とのコミュニケーションに時間を取られる	45		14.1	
3 処方データの共有や薬剤情報の確認など、連携による業務が増える	36		11.3	
4 薬局からのフィードバックが不十分である	40		12.5	
5 薬局における服薬管理の状況が不明確である	37		11.6	
6 薬局の対応に差がある	127		39.8	
7 その他	27		8.5	
無回答	69		21.6	
非該当	0			
回答数（件）	319		100.0	

累計（回答数（件）	累計（割合）
500	156.7

(39) 4④.薬局より患者の重複投薬等の解消に関し、処方変更の提案を受け取ったこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 受け取ったことがある	152	47.6
2 受け取ったことがない	158	49.5
無回答	9	2.8
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(40) 4①-1.薬局の提案により処方を変更したこと...(S A)

	回答数（件）	割合
1 処方の変更をしたことがある	150	98.7
2 処方の変更をしたことはない	1	0.7
無回答	1	0.7
非該当	167	
回答数（件）	152	100.0

(41) 4②.ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場合へはどのような方が参加しているか...(M A)

	回答数（件）	割合
1 自治体	16	5.0
2 保険者	10	3.1
3 医師会	36	11.3
4 病院関係者	23	7.2
5 診療所関係者	35	11.0
6 薬剤師会	18	5.6
7 薬局関係者	30	9.4
8 看護関係者	17	5.3
9 介護関係者	23	7.2
10 学識経験者	1	0.3
11 その他	4	1.3
12 わからない	108	33.9
13 協議の場はない	99	31.0
無回答	30	9.4
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
450	141.1

(42) 4③.上記②で1～11を選んだ場合、協議する場合は機能していると感じるか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 機能していると感じる	19	23.2
2 どちらともいえない	35	42.7
3 機能していると感じない	24	29.3
無回答	4	4.9
非該当	237	
回答数（件）	82	100.0

(43) 4④.ポリファーマシー対策のためのオンライン資格確認の導入状況...(S A)

	回答数（件）	割合
1 導入しており、ポリファーマシー対策に使用している	62	19.4
2 導入しているが、ポリファーマシー対策には使用できていない	156	48.9
3 導入していないが、導入予定であり、ポリファーマシー対策にも使用予定である	13	4.1
4 導入しておらず、導入予定もない	75	23.5
無回答	13	4.1
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(44) 4⑤.複数のお薬手帳を持つ患者をどのように把握しているか...(M A)

	回答数（件）	割合
1 問診時に確認している	139	43.6
2 診察時に確認している	174	54.5
3 患者からの自己申告により確認している	99	31.0
4 オンライン資格確認システムの薬剤情報との比較で確認している	43	13.5
5 薬局からの問合せや情報提供により確認している	46	14.4
6 その他	8	2.5
7 把握できていない	33	10.3
無回答	13	4.1
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
555	174.0

(45) 5①.薬局に対して、トレーシングレポートの提供を求めた経験...(S A)

	回答数（件）	割合
1 求めたことがある	27	8.5
2 求めたことはない	284	89.0
無回答	8	2.5
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(46) 5①-1.貴施設からの求めに応じて薬局からトレーシングレポートは提供されたか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 遅滞なく提供された	22	81.5
2 時間を要したが提供された	4	14.8
3 提供されなかった	0	0.0
無回答	1	3.7
非該当	292	
回答数（件）	27	100.0

(47) 5②.貴施設からの求めのほか、疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取った経験...(S A)

	回答数（件）	割合
1 受け取ったことがある	70	21.9
2 受け取ったことはない	237	74.3
無回答	12	3.8
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(48) 5②-1.薬局から受け取った疑義照会とは異なり、処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整した経験...(S A)

	回答数（件）	割合
1 ある	45	52.3
2 ない	31	36.0
無回答	10	11.6
非該当	233	
回答数（件）	86	100.0

(49) 5②-1 1.変更回数...(数量)

合計	98.00
平均	3.38
分散(n-1)	11.32
標準偏差	3.36
最大値	10.00
最小値	0.00
無回答	16
非該当	274
回答数（件）	29

(50) 5②-2.具体的にどのような内容を変更...(MA)

	回答数（件）	割合
1 薬剤の変更	21	46.7
2 用法の変更	23	51.1
3 用量の変更	12	26.7
4 分量の変更	5	11.1
5 薬剤の追加・削除	26	57.8
6 その他	3	6.7
無回答	0	0.0
非該当	274	
回答数（件）	45	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
90	200.0

(51) 5②-3.薬局から受け取った服薬情報のうち、貴施設が求めた情報は何割程度か(割)...(数量)

合計	113.00
平均	2.35
分散(n-1)	7.94
標準偏差	2.82
最大値	10.00
最小値	0.00
無回答	38
非該当	233
回答数（件）	48

(52) 5②-4.これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	51	59.3
2 残薬状況	50	58.1
3 患者の医薬品の保管・管理の状況	14	16.3
4 患者の服薬後のモニタリング状況	12	14.0
5 処方内容に関する提案情報	26	30.2
6 副作用の発生状況	18	20.9
7 患者の医療機関・薬局等の利用状況	10	11.6
8 その他の患者に関する情報	4	4.7
無回答	11	12.8
非該当	233	
回答数（件）	86	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
196	227.9

(53) 5③.薬局から報告してほしい患者の情報...(MA)

	回答数（件）	割合
1 患者の服薬状況	211	66.1
2 残薬状況	190	59.6
3 患者の医薬品の保管・管理の状況	100	31.3
4 患者の服薬後のモニタリング状況	53	16.6
5 処方内容に関する提案情報	95	29.8
6 副作用の発生状況	151	47.3
7 患者の医療機関・薬局等の利用状況	60	18.8
8 その他の患者に関する情報	5	1.6
無回答	25	7.8
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
890	279.0

(54) 5④.お薬手帳などにより、患者のかかりつけ薬局を容易に把握することはできているか...(S A)

	回答数（件）	割合
1 概ね把握できている	159	49.8
2 把握できない場合がある	117	36.7
3 ほぼ把握できていない	24	7.5
無回答	19	6.0
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(55) 5①&②....(S A)

	回答数（件）	割合
1 求めたことがあるor受け取ったことがある	86	27.0
2 上記以外	233	73.0
無回答	0	0.0
非該当	0	
回答数（件）	319	100.0

(56) 抽出条件...(S A)

		回答数（件）	割合
1	地域包括診療料あり	46	14.4
2	地域包括診療加算あり	36	11.3
3	小児かかりつけ診療料	79	24.8
4	届出なし	158	49.5
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	319	100.0

(57) 過疎地域該当...(S A)

		回答数（件）	割合
1	過疎地域	29	9.1
2	過疎地域以外	290	90.9
	無回答	0	0.0
	非該当	0	
	回答数（件）	319	100.0

(231) 軸 1...(MA)

		回答数（件）	割合
1	地域包括診療料あり	46	14.4
2	地域包括診療加算あり	36	11.3
3	小児かかりつけ診療料	79	24.8
4	届出なし	158	49.5
5	機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)	14	4.4
6	機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	34	10.7
7	上記以外の在宅療養支援診療所	49	15.4
8	在宅療養支援診療所ではない	205	64.3
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	319	100.0

累計（回答数（件）	累計（割合）
621	194.7

調査名 [令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和 7 年度調査）かかりつけ薬局・薬剤師に関するアンケート]

4．患者調査

(2) 問1.アンケートの記入...(S A)

		回答数（件）	割合
1	患者ご本人	615	57.2
2	患者ご本人以外のご家族等	228	21.2
	無回答	233	21.7
	回答数（件）	1076	100.0

(3) 問2.性別...(S A)

		回答数（件）	割合
1	男性	407	37.8
2	女性	665	61.8
	無回答	4	0.4
	回答数（件）	1076	100.0

(4) 問2.年齢...(S A)

		回答数（件）	割合
1	20歳未満	59	5.5
2	20歳代	49	4.6
3	30歳代	98	9.1
4	40歳代	131	12.2
5	50歳代	155	14.4
6	60歳代	188	17.5
7	70歳代	212	19.7
8	80歳以上	180	16.7
	無回答	4	0.4
	回答数（件）	1076	100.0

(5) 問2.お住まい...(S A)

		回答数（件）	割合
1	北海道	52	4.8
2	青森県	7	0.7
3	岩手県	10	0.9
4	宮城県	28	2.6
5	秋田県	11	1.0
6	山形県	7	0.7
7	福島県	8	0.7
8	茨城県	26	2.4
9	栃木県	19	1.8
10	群馬県	17	1.6
11	埼玉県	50	4.6
12	千葉県	47	4.4
13	東京都	87	8.1
14	神奈川県	52	4.8
15	新潟県	20	1.9
16	富山県	16	1.5
17	石川県	8	0.7
18	福井県	5	0.5
19	山梨県	2	0.2
20	長野県	18	1.7
21	岐阜県	21	2.0
22	静岡県	42	3.9
23	愛知県	62	5.8
24	三重県	9	0.8
25	滋賀県	5	0.5
26	京都府	10	0.9
27	大阪府	65	6.0
28	兵庫県	53	4.9
29	奈良県	7	0.7
30	和歌山県	5	0.5
31	鳥取県	5	0.5
32	島根県	9	0.8
33	岡山県	22	2.0
34	広島県	19	1.8
35	山口県	14	1.3
36	徳島県	2	0.2
37	香川県	13	1.2
38	愛媛県	9	0.8
39	高知県	16	1.5
40	福岡県	77	7.2
41	佐賀県	11	1.0
42	長崎県	16	1.5
43	熊本県	10	0.9
44	大分県	11	1.0
45	宮崎県	8	0.7
46	鹿児島県	19	1.8
47	沖縄県	12	1.1
	無回答	34	3.2
	回答数（件）	1076	100.0

(6) 問3.医療費の自己負担額...(S A)

		回答数（件）	割合
1	ある	914	84.9
2	ない	150	13.9
	無回答	12	1.1
	回答数（件）	1076	100.0

(7) 問4.定期的・継続的に受診している医療機関数(箇所)...(数量)

合計	2053.00
平均	1.92
分散(n-1)	1.34
標準偏差	1.16
最大値	8.00
最小値	0.00
無回答	7
回答数（件）	1069

(8) 問4.定期的・継続的に利用している薬局数(箇所)...(数量)

合計	1240.00
平均	1.18
分散(n-1)	0.37
標準偏差	0.61
最大値	4.00
最小値	0.00
無回答	22
回答数（件）	1054

調査名 [令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和 7 年度調査）かかりつけ薬局・薬剤師に関するアンケート]

(9) 問5.定期的に受診している医療機関（病院・診療所）や利用している保険薬局はあなたご自身のお住まいの地域にあるか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	医師の定期的な訪問がある	120	11.2
2	保険薬局のみ住んでいる地域にある	107	9.9
3	どちらも住んでいる地域にある	755	70.2
4	どちらも住んでいる地域にない（遠方まで行く必要がある）	72	6.7
	無回答	22	2.0
	回答数（件）	1076	100.0

(10) 問6.定期的に（半年に複数回）在宅医療を受けているか...(M A)

		回答数（件）	割合
1	医師の定期的な訪問がある	26	2.4
2	薬局薬剤師または看護師の定期的な訪問がある	33	3.1
3	在宅医療を受けていない	998	92.8
	無回答	31	2.9
	回答数（件）	1076	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1088	101.1

(11) 問7.定期的に医療機関（病院・診療所）に行って処方してもらっているお薬はあるか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	ある	926	86.1
2	ない	127	11.8
	無回答	23	2.1
	回答数（件）	1076	100.0

(12) 問7-1①.飲み薬（処方されたもの）...(S A)

		回答数（件）	割合
1	1～3種類	382	41.3
2	4～5種類	222	24.0
3	6～7種類	124	13.4
4	8種類以上	159	17.2
	無回答	39	4.2
	非該当	150	
	回答数（件）	926	100.0

(13) 問7-1②.飲み薬以外（処方されたもの）...(S A)

		回答数（件）	割合
1	1～2種類	442	47.7
2	3～4種類	84	9.1
3	5～6種類	15	1.6
4	7種類以上	5	0.5
	無回答	380	41.0
	非該当	150	
	回答数（件）	926	100.0

(14) 問7-1③.自分で購入したもの（サプリ等）...(S A)

		回答数（件）	割合
1	使っていない	438	47.3
2	1～3種類	213	23.0
3	4～5種類	9	1.0
4	6種類以上	2	0.2
	無回答	264	28.5
	非該当	150	
	回答数（件）	926	100.0

(15) 問7-2.現在の飲み薬が6～7種類または8種類以上の場合、お薬を減らしたいと思うか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	思う	136	48.1
2	思わない	146	51.6
	無回答	1	0.4
	非該当	793	
	回答数（件）	283	100.0

(16) 問7-3.お薬を減らすことについて医師や薬局薬剤師に相談したいと思ったことはあるか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	あるし、相談したことがある	85	62.5
2	あるが、相談したことはない	32	23.5
3	ない	19	14.0
	無回答	0	0.0
	非該当	940	
	回答数（件）	136	100.0

(17) 問8.紙のお薬手帳、もしくは、電子版お薬手帳を利用しているか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	紙のお薬手帳のみ利用している	858	79.7
2	電子版お薬手帳のみ利用している	69	6.4
3	両方利用している	87	8.1
4	どちらも利用していない	54	5.0
	無回答	8	0.7
	回答数（件）	1076	100.0

(18) 問9.マイナンバーカードを健康保険証として利用して、同意いただくと、過去に服用したお薬の情報などを医師や歯科医師、薬局薬剤師に提供できることを知っていたか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	知っており、利用している	642	59.7
2	知っているが利用していない	362	33.6
3	知らなかった	67	6.2
	無回答	5	0.5
	回答数（件）	1076	100.0

(19) 問10.電子処方せんは、紙の処方せんを電子化したもので、同意いただくと処方・調剤時に医師・歯科医師・薬剤師がお薬の情報を確認できるようになることを知っていたか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	知っており、利用している	180	16.7
2	知っているが利用していない	572	53.2
3	知らなかった	316	29.4
	無回答	8	0.7
	回答数（件）	1076	100.0

調査名 [令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和 7 年度調査）かかりつけ薬局・薬剤師に関するアンケート]

(20) 問11.直近1か月以内に服薬指導を受けた経験...(S A)

		回答数（件）	割合
1	受けた	798	74.2
2	受けていない	272	25.3
	無回答	6	0.6
	回答数（件）	1076	100.0

(21) 問11-1.直近で受けた服薬指導受けた説明...(MA)

		回答数（件）	割合
1	処方薬の効果・効能、副作用	633	79.3
2	処方薬の服用方法・回数やタイミング	520	65.2
3	処方薬の保存方法	154	19.3
4	他に使用している薬との飲み合わせ	286	35.8
5	健康状態の確認	542	67.9
6	生活習慣等へのアドバイス	256	32.1
7	その他	25	3.1
	無回答	10	1.3
	非該当	278	
	回答数（件）	798	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
2426	304.0

(22) 問11-2.近1か月以内に受けた服薬指導は役に立ったか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	役に立った	551	69.0
2	どちらかというと役に立った	223	27.9
3	どちらかというと役に立たなかった	13	1.6
4	役に立たなかった	7	0.9
	無回答	4	0.5
	非該当	278	
	回答数（件）	798	100.0

(23) 問11-3.11-2で「1.役に立った」「2.どちらかというと役に立った」と回答した場合、その理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから	496	64.1
2	疑問や不安が解消したから	428	55.3
3	その他	29	3.7
	無回答	6	0.8
	非該当	302	
	回答数（件）	774	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
959	123.9

(24) 問11-4.11-2で「3.どちらかというと役に立たなかった」「4.役に立たなかった」と回答した場合、その理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	特に新しい情報や指導はなかったから	18	90.0
2	疑問や不安が解消しなかったから	1	5.0
3	その他	2	10.0
	無回答	1	5.0
	非該当	1056	
	回答数（件）	20	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
22	110.0

(25) 問12.保険薬局においてビデオ通話（音声通話のみの場合を除く）によるオンライン服薬指導ができることを知っているか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	知っており、利用したことがある	14	1.3
2	知っているが、利用したことがない	588	54.6
3	知らない	469	43.6
	無回答	5	0.5
	回答数（件）	1076	100.0

(26) 問13.今後ビデオ通話（音声通話のみの場合を除く）によるオンライン服薬指導の利用意向...(S A)

		回答数（件）	割合
1	利用したい	150	13.9
2	利用したくない	226	21.0
3	わからない	691	64.2
	無回答	9	0.8
	回答数（件）	1076	100.0

(27) 問14.服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けた経験（服薬期間中のフォローアップを受けた経験）...(S A)

		回答数（件）	割合
1	確認を受けたことがある	231	21.5
2	確認を受けたことはない	837	77.8
	無回答	8	0.7
	回答数（件）	1076	100.0

(28) 問14-1.服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けてよかったか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	よかった	226	97.8
2	よくなかった	5	2.2
	無回答	0	0.0
	非該当	845	
	回答数（件）	231	100.0

(29) 問14-2.14-1で「1.よかった」と回答した場合、その理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた	173	76.5
2	服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた	95	42.0
3	薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた	50	22.1
4	その他	5	2.2
	無回答	3	1.3
	非該当	850	
	回答数（件）	226	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
326	144.2

(30) 問14-3.服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けてみたいか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	確認を受けてみたい	151	18.0
2	確認を受けたくない	674	80.5
	無回答	12	1.4
	非該当	239	
	回答数（件）	837	100.0

調査名 [令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和 7 年度調査）かかりつけ薬局・薬剤師に関するアンケート]

(31) 問14-4.4-3で「2.確認を受けたくない」と回答した場合、その理由...(MA)

		回答数（件）	割合
1	これまでの医師や薬局薬剤師とのやりとりで十分なため	471	69.9
2	疑問や不安は特になく、フォローアップの必要性を感じないため	232	34.4
3	個人情報の取り扱いなどに不安があるため	45	6.7
4	フォローアップを受けるのが煩わしいため	120	17.8
5	その他	29	4.3
	無回答	13	1.9
	非該当	402	
	回答数（件）	674	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
910	135.0

(32) 問15.「かかりつけ薬剤師」の有無...(S A)

		回答数（件）	割合
1	いる	553	51.4
2	いない	515	47.9
	無回答	8	0.7
	回答数（件）	1076	100.0

(33) 問16.あなたは「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書にサインした経験...(S A)

		回答数（件）	割合
1	サインしたことがあり、同意した	416	38.7
2	サインしたことがあるが、同意しなかった	1	0.1
3	サインしたことはない	548	50.9
4	サインしたことがあるかわからない	90	8.4
	無回答	21	2.0
	回答数（件）	1076	100.0

(34) 問17.あなたが「かかりつけ薬剤師」に重視すること...(MA)

		回答数（件）	割合
1	生活情報や習慣などを理解した上で薬について説明などをしてくれること	565	52.5
2	自分の飲んでいる（使用している）薬をすべて把握してくれること	644	59.9
3	いろいろな医療機関で出される薬について重複しているものがないか、飲み合わせが大丈夫かなどを確認してもらえること	727	67.6
4	残っている薬がないかなどを確認してくれて、残っている薬がある場合は処方医に問合せを行ってくれるなど、調整してくれること	346	32.2
5	飲み忘れがないよう、薬を一つの小袋（一包化）に入れて渡してくれるなど、服薬管理・指導を丁寧してくれること	254	23.6
6	薬についてわかりやすく説明してくれること	598	55.6
7	薬に関する相談に対応してくれること	621	57.7
8	後発医薬品についての使用希望を聞いてくれること	197	18.3
9	医療機関についての相談ができること	263	24.4
10	薬を処方した医師・医療機関と情報共有ができていること	316	29.4
11	自分が使用している薬を必ず確保してくれること	314	29.2
12	保険薬局が閉まっている時間帯でも電話相談ができること	212	19.7
13	介護が必要になっても訪問して薬を管理してくれること	143	13.3
14	その他	20	1.9
	無回答	14	1.3
	回答数（件）	1076	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
5234	486.4

(35) 問18.保険薬局に期待すること...(MA)

		回答数（件）	割合
1	健康に関する相談	671	62.4
2	女性の健康に関する相談	136	12.6
3	緊急避妊薬の販売・相談	32	3.0
4	受診先（医療機関）の相談	381	35.4
5	健診機会の提供	50	4.6
6	OTC医薬品の販売・相談	292	27.1
7	介護に関する相談	142	13.2
8	介護用品の販売・相談	81	7.5
9	福祉用具の販売・相談	40	3.7
10	日用品の販売	32	3.0
11	その他	47	4.4
	無回答	77	7.2
	回答数（件）	1076	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1981	184.1

(36) 問18_1.具体的な内容...(MA)

		回答数（件）	割合
1	栄養・食生活	493	73.5
2	身体活動・運動	293	43.7
3	休養	69	10.3
4	こころの健康づくり	128	19.1
5	飲酒	36	5.4
6	喫煙	28	4.2
7	その他	15	2.2
	無回答	70	10.4
	非該当	405	
	回答数（件）	671	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
1132	168.7

(37) 問19①.保険薬局や併設するドラッグストアでタバコを扱うことについてどう感じるか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	扱うべき	66	6.1
2	どちらかというと扱うべき	83	7.7
3	どちらかというと扱うべきではない	294	27.3
4	扱うべきではない	600	55.8
	無回答	33	3.1
	回答数（件）	1076	100.0

(38) 問19②.保険薬局や併設するドラッグストアで酒類を扱うことについてどう感じるか...(S A)

		回答数（件）	割合
1	扱うべき	107	9.9
2	どちらかというと扱うべき	185	17.2
3	どちらかというと扱うべきではない	361	33.6
4	扱うべきではない	389	36.2
	無回答	34	3.2
	回答数（件）	1076	100.0

(39) 回答種別....(S A)

		回答数（件）	割合
1	紙	953	88.6
2	Web	123	11.4
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	1076	100.0

(221) 問4.定期的・継続的に受診している医療機関数(箇所)(カテゴリ)...(S A)

		回答数（件）	割合
1	0箇所	54	5.0
2	1箇所	390	36.2
3	2箇所	351	32.6
4	3箇所	182	16.9
5	4箇所以上	92	8.6
	無回答	7	0.7
	回答数（件）	1076	100.0

平均	1.92
標準偏差	1.157

(222) 問4.定期的・継続的に利用している薬局数(箇所)(カテゴリ)...(S A)

		回答数（件）	割合
1	0箇所	53	4.9
2	1箇所	815	75.7
3	2箇所	144	13.4
4	3箇所	31	2.9
5	4箇所以上	11	1.0
	無回答	22	2.0
	回答数（件）	1076	100.0

平均	1.18
標準偏差	0.606

(223) 問2.お住まい(カテゴリ)...(S A)

		回答数（件）	割合
1	北海道・東北	123	11.4
2	関東	298	27.7
3	中部	194	18.0
4	近畿	154	14.3
5	中国・四国	109	10.1
6	九州	164	15.2
	無回答	34	3.2
	回答数（件）	1076	100.0

平均	21.87
標準偏差	12.799

(231) 軸 1 ...(M A)

		回答数（件）	割合
1	20歳未満	59	5.5
2	20歳代	49	4.6
3	30歳代	98	9.1
4	40歳代	131	12.2
5	50歳代	155	14.4
6	60歳代	188	17.5
7	70歳代	212	19.7
8	80歳以上	180	16.7
9	北海道・東北	123	11.4
10	関東	298	27.7
11	中部	194	18.0
12	近畿	154	14.3
13	中国・四国	109	10.1
14	九州	164	15.2
15	0箇所	54	5.0
16	1箇所	390	36.2
17	2箇所	351	32.6
18	3箇所	182	16.9
19	4箇所以上	92	8.6
20	いる	553	51.4
21	いない	515	47.9
22	サインしたことがあり、同意した	416	38.7
23	サインしたことがあるが、同意しなかった	1	0.1
24	サインしたことはない	548	50.9
25	サインしたことがあるかわからない	90	8.4
	無回答	0	0.0
	回答数（件）	1076	100.0

累計（回答数（件））	累計（割合）
5306	493.1

ID 番号：

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和 7 年度調査)
かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査
保険薬局票

※この「保険薬局票」は、保険薬局の開設者・管理者の方に、保険医療機関との連携方策も含め、医薬品の適正使用や患者本位の医薬分業の更なる推進を図るため、かかりつけ薬剤師の取組状況や薬局における調剤報酬改定の影響についてお伺いするものです。

<ご回答方法>

- ・あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ・「※○は1つ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和 7 年 7 月 1 日現在の貴薬局の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴薬局の状況についてお伺いします。

① 所在地(都道府県)	() 都・道・府・県		
② 開設者 ※○は1つ	1. 法人	2. 個人	3. その他
③ 貴薬局はどのような地域に所在するとお考えですか。 次の選択肢のうち、最もあてはまるものをお答えください。※○は1つ	1. 特別区	2. 政令指定都市	3. 中核市 4. その他（具体的に：_____）
④ 同一グループ(財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう)等※1による薬局店舗数	() 店舗 ※当該店舗を含めてお答えください。		

※1: 同一グループは次の基準により判断する(調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様)

1. 保険薬局の事業者の最終親会社
2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社
3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社
4. 1から3までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者

⑤ 開設年 ※当該店舗の開設年をお答えください。	西暦 () 年
⑥ 貴薬局の処方箋の応需状況として最も近いものは、次のうちどれですか。 ※○は1つ	1. 様々な保険医療機関からの処方箋を応需している薬局 2. 主に近隣にある特定の病院の処方箋を応需している薬局 3. 主に不動産賃貸借関係のある特定の病院の処方箋を応需している薬局 4. 主に近隣にある特定の診療所の処方箋を応需している薬局 5. 主に不動産賃貸借関係のある特定の診療所の処方箋を応需している薬局 6. 主に複数の近接する特定の保険医療機関（いわゆる医療モールやビル診療所など）の処方箋を応需している薬局 7. その他（具体的に：_____）
⑦ 応需医療機関数 ※令和 7 年 6 月 1 か月間	() 機関
⑧ 貴薬局の売上高に占める保険調剤売上の割合 ※令和 6 年度決算 ※OTC医薬品等(食品、雑貨等を含む)の販売がなく、保険調剤収入のみである場合は100%とご記入ください。 ※「保険調剤売上」には医療保険分の他、居宅療養管理指導費(介護保険)も含めてください。	約() %
⑨ 調剤基本料 ※○は1つ	1. 調剤基本料 1 2. 調剤基本料 2 3. 調剤基本料 3 イ 4. 調剤基本料 3 ロ 5. 調剤基本料 3 ハ 6. 特別調剤基本料 A 7. 特別調剤基本料 B
⑨-1 全処方箋の受付回数(調剤基本料の根拠となる数字) ※令和 7 年 6 月 1 か月間 ※同一グループの保険薬局の場合、貴薬局単独の受付回数	() 回/月
⑨-2 主たる保険医療機関に係る処方箋の受付回数の割合 (調剤基本料の根拠となる数字)	() % ※小数点以下第 1 位まで
⑩ 後発医薬品調剤割合(調剤報酬算定上の数値) ※令和 7 年 6 月 1 か月間	() %
⑪ 供給停止となっている後発医薬品等の診療報酬上の臨時的な取扱いの適用※2 ※○は1つ	1. あり 2. なし

※2: 供給が停止されていると報告された医薬品のうち、別に示す供給停止品目と同一成分・同一投与形態の医薬品については、「後発医薬品調剤体制加算」等において後発医薬品の使用(調剤)割合を算出する際に算出対象から除外しても差し支えないこととするもの。

⑫ 後発医薬品の調剤数量割合が著しく低い薬局の調剤基本料の減算対象に該当するか ※○は1つ	1. 該当する 2. 該当しない → 該当しない理由 ※○はいくつでも 21. 後発医薬品の調剤数量割合が 50%超 22. 処方箋の受付回数が月 600 回以下 23. 直近 1 ヶ月の処方箋受付回数の 5 割以上が先発医薬品変更不可	
⑬ 後発医薬品調剤体制加算 ※○は1つ	1. 後発医薬品調剤体制加算 1 2. 後発医薬品調剤体制加算 3	3. 後発医薬品調剤体制加算 2 4. 届出 (算定) なし
⑭ 在宅薬学総合体制加算 ※○は1つ	1. 在宅薬学総合体制加算 1 2. 在宅薬学総合体制加算 2 3. 届出 (算定) なし	
⑮ 職員数 ※該当者がいない場合は「0」とご記入ください。	常勤職員※ ³	非常勤職員 (常勤換算※ ⁴)
1) 薬剤師	() 人	() 人
2) その他 (事務職員等)	() 人	() 人
⑯ 貴薬局の認定等の状況 ※○はいくつでも	1. 地域連携薬局 2. 専門医療機関連携薬局 3. 健康サポート薬局 (健康増進支援薬局※ ⁵) 4. 該当なし	

※3: 常勤職員数 (常勤薬剤師数) には、貴薬局における実労働時間が週 32 時間以上である職員 (保険薬剤師) の実人数を計上します。常勤薬剤師数については、直近 3 月間の勤務状況に基づき算出します。

※4: 常勤換算とは、事業所の従業員の勤務延時間数を当該事業所において常勤の従業員が勤務すべき時間数で除することにより、常勤の従業員の員数に換算する方法。非常勤職員 (非常勤薬剤師) は、貴薬局における実労働時間が週 32 時間に満たない職員 (保険薬剤師) をいい、常勤換算数は、以下により算出します (小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで求める)。非常勤薬剤師数については、直近 3 か月間の勤務状況に基づき算出します。

$$\text{非常勤薬剤師数 (常勤換算)} = \frac{\text{当該保険薬局における週 32 時間に満たない保険薬剤師の実労働時間の合計 (時間/3 か月)}}{32 (\text{時間/週}) \times 13 (\text{週/3 月})}$$

※5: 令和 7 年 5 月成立の改正薬機法が施行されると、健康サポート薬局が健康増進支援薬局へと名称変更となります。

2. 貴薬局の体制についてお伺いします。

① 以下のうち導入しているものについてお選びください。 ※○はいくつでも
1. レセプトコンピューター 2. 電子薬歴システム 3. 薬剤情報提供文書作成支援ツール → 「3. 薬剤情報提供文書作成支援ツール」のうち有する機能: 31. QR コード 32. 音声コード 33. 点字 34. その他 (具体的に:)
② 貴薬局では、どのように 24 時間対応が可能な体制を整えていますか。 ※○は1つ
1. 自薬局単独で 24 時間対応が可能な体制を整えている → 夜間等時間外の対応を担当している薬剤師数: () 人 → 令和 7 年 4 月～6 月の 3 か月間の対応件数: () 件 2. 近隣の保険薬局と連携して 24 時間対応が可能な体制 (例: 地域での輪番体制等) を整えている → 夜間等時間外の対応のために連携※ ¹ している薬局数: () 薬局 → 令和 7 年 4 月～6 月の 3 か月間の自局での対応件数: () 件 連携している薬局の対応件数: () 件 3. 24 時間対応が可能な体制を整えていない 4. その他 (具体的に:)

※1: 地域支援体制加算の施設基準等に限定せず、貴薬局が連携している薬局数についてお答えください。

③ 夜間・休日の対応※ ² のため、医療機関や訪問看護ステーション、他薬局との連携体制を整えていますか。 ※それぞれ○は1つ	
③-1 医療機関との連携体制を整えている	1. はい 2. いいえ
③-2 在宅対応をしている場合、訪問看護ステーションとの連携体制を整えている	1. はい 2. いいえ
③-3 他薬局との連携体制を整えている	1. はい 2. いいえ
③-4 連携している他薬局で在宅医療を受けている患者が、貴薬局への変更を希望し受け入れた実績	1. あり 2. なし

※2: 外来・在宅問わず医療機関からの相談、臨時処方の対応がとれる。

④ 夜間・休日等の対応について、薬剤師が行った業務についてお答えください。実績有無にそれぞれ○を1つつけ、実績がある場合は件数等をご記入ください。(令和7年6月)	
体制について	
1) 薬剤師の時間外勤務	1. あり ⇒平均 () 日/人 2. なし
2) 薬剤師の休日勤務※3	1. あり ⇒平均 () 日/人 2. なし
業務について	
3) 開局時間外の電話対応	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
3)-1 3)のうち、 <u>患者</u> からの相談件数	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
3)-2 3)のうち、 <u>医療機関</u> からの問い合わせ件数	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
4) 開局時間外の調剤応需への対応	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
4)-1 4)のうち、麻薬の調剤の対応	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
5) 在宅対応をしている場合、開局時間外の患者宅への訪問対応	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
5)-1 5)のうち、麻薬使用患者への訪問	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし
6) その他の夜間・休日等の対応の業務 (具体的に:)	1. あり ⇒平均 () 日/件 2. なし

※3：法定休日に出勤し、振替の休日を取得しない場合、休日勤務となります。

3. 麻薬調剤等についてお伺いします。

① 貴薬局では麻薬小売業者の免許を取得していますか。 ※○は1つ	1. 取得している 2. 取得していない
② 麻薬の調剤の状況についてお答えください。(令和7年1月～6月の6か月) ※○はいくつでも	
1. 外来通院するがん患者に対して麻薬の調剤を行っている 2. 外来通院するがん以外の患者(心不全等)に対して麻薬の調剤を行っている 3. 在宅対応するがん患者に対して麻薬の調剤を行っている 4. 在宅対応するがん以外の患者(心不全等)に対して麻薬の調剤を行っている 5. 麻薬の調剤をしていない	
③ 麻薬が処方された患者に対して(患者について)行っている業務についてお答えください。 ※○はいくつでも	
1. 麻薬の鎮痛等の効果、副作用についてフォローアップを行い、医師等へ情報提供している 2. 麻薬の鎮痛等の効果、副作用の評価をスケール評価(NRS等)で行って、必要に応じて医師への処方提案を行っている →頻度：21. すべての患者に実施している 22. 半数以上の患者に実施している 23. 一部の患者に実施している 24. 実施していない 3. 麻薬の処方内容について処方前に医師と検討している 4. 麻薬の残薬の状況を確認し、医師へ情報提供している 5. 不要な麻薬の取扱について患者へ説明を行っている 6. 不要な麻薬の回収を行っている 7. 対象となる患者がいらない	
④ 上記で「2」を選ばなかった場合、その理由は何ですか。 ※○はいくつでも	
1. スケール評価を行う必要性を感じないため 2. 対象患者が少ないため 3. 医師が行っているため 4. その他(具体的に:)	

【⑤～⑩は、①で麻薬小売事業者の免許を「1. 取得している」と回答した方にお伺いします。】

⑤ 貴薬局の麻薬処方箋の受付枚数 (令和7年1月～6月の6か月)	() 枚
⑥ 貴薬局の麻薬処方箋の応需医療機関数 (令和7年1月～6月の6か月)	() 機関

⑦ 貴薬局における麻薬の備蓄品目数についてお答えください。				
	医薬品の成分数			品目数 ※規格単位毎
	うち、徐放剤	うち、速放剤	うち、その他	
1) 内服薬	()	()	()	() 品目
2) 外用剤(貼付剤、坐剤、パッカル錠、舌下錠)	()			() 品目
3) 注射薬	()			() 品目
※例示	成分数: MS コンチンとモルヒネ硫酸塩(後発)は同一成分のため、 まとめて「1」 として数える。(この場合記載は1となる)			
	MS コンチン 10mg と MS コンチン 30mg は同一成分のため、 まとめて「1」 として数える。(この場合記載は1となる)			
	MS コンチンとパシーフは成分が異なるため、 それぞれを「1」 として数える。(この場合記載は2となる)			
	品目数: MS コンチンとパシーフは成分が異なるため、 それぞれを「1」 として数える。(この場合記載は2となる)			
	MS コンチン 10mg と MS コンチン 30mg は規格単位異なるため、 それぞれを「1」 として数える。(この場合記載は2となる)			

⑧ 麻薬の備蓄体制に関する課題についてお答えください。 ※○はいくつでも	
1. 備蓄する医薬品が多くなり管理コストがかかる 2. 突発的な麻薬の処方箋の応需により様々な規格の麻薬を取り揃える必要がある 3. 卸に発注しても該当する薬剤の手配まで時間が必要である 4. 地域の譲渡の体制が構築されていない 5. 特定の患者にしか使用されない薬剤を準備しなければならない 6. 患者の容体変化※にともない使用する薬剤が変更となるため不動在庫が発生するリスクがある ※患者が亡くなった場合も含む 7. その他(具体的に: _____) 8. 課題はない	
⑨ 上記⑧の選択肢1～7のうち、最も課題と思う番号を1つだけお書きください。	
⑩ 麻薬小売業者間譲渡許可を得ていますか。 ※○は1つ	1. はい ⇒⑪～⑮へ 2. いいえ ⇒⑯へ

【⑪～⑮は、⑩で「1. はい」(麻薬小売業者間譲渡許可を得ている)と回答した方にお伺いします。】

⑪ 麻薬の譲渡の体制についてお答えください。 ※○は1つ	
1. 同一グループ(調剤基本料のグループ)のみで麻薬小売業者間譲渡の体制分譲体制を構築している 2. 地域の同一グループ以外の薬局間で麻薬小売業者間譲渡の体制を構築している 3. その他(具体的に: _____)	
⑫ 麻薬を他の薬局へ譲り渡した実績(令和7年1月～6月の6か月)	1. あり⇒()回 2. なし
⑫-1(譲り渡した実績がある場合) 譲渡先についてお答えください。 ※○はいくつでも	1. 同一グループ(調剤基本料のグループ)内 2. 地域の同一グループ以外の薬局 3. その他(具体的に: _____)
⑬ 麻薬を他の薬局から譲り受けた実績(令和7年1月～6月の6か月)	1. あり⇒()回 2. なし
⑬-1(譲り受けた実績がある場合) 譲渡元についてお答えください。 ※○はいくつでも	1. 同一グループ(調剤基本料のグループ)内 2. 地域の同一グループ以外の薬局 3. その他(具体的に: _____)
⑭ 麻薬の譲渡に関する課題についてお答えください。 ※○はいくつでも	
1. 夜間休日対応のため麻薬小売業者間譲渡の体制が活用できないことがある 2. 高用量の規格の薬剤など、他の薬局から譲り受けることができないことがある 3. 高用量の規格の薬剤の不動在庫が発生しても、譲渡で引き受けてくれる薬局がない 4. 地域の譲渡の体制が構築されていない 5. その他(具体的に: _____) 6. 課題はない	
⑮ 上記⑭の選択肢1～5のうち、最も課題と思う番号を1つだけお書きください。	

【すべての方にお伺いします。】

⑩ 貴薬局では、どのように無菌製剤処理のための体制を整えていますか。 ※〇はいくつでも	
1. 自薬局単独で、無菌調剤室の設備を整えている 2. 自薬局単独で、クリーンベンチの設備を整えている 3. 自薬局単独で、安全キャビネットの設備を整えている 4. 他薬局の無菌調剤室を共同利用し、無菌製剤処理の体制を整えている 5. 無菌調剤室、クリーンベンチ又は安全キャビネットの設備を整えていない 6. その他（具体的に：_____）	
⑩-1 上記⑩の選択肢「2」を選んだ場合、使用しているクリーンベンチの形態はどれですか。 ※〇は1つ	
1. 簡易型又は卓上型	2. 簡易型又は卓上型以外

4. 感染症対策等についてお伺いします。

① 現在の貴薬局での感染対策の状況についてお答えください。 ※〇はいくつでも	
1. 入り口に体温計を設置している 2. マスク着用を案内している 3. 手指消毒剤を入りに設置している 4. 感染症疑い患者と一般外来患者の動線を分離している 5. その他（具体的に：_____）	
② 現在の薬事承認された検査キットの取り扱いについてお答えください。 ※〇は1つ	
1. 新型コロナウイルス抗原定性検査キットを取り扱っている 2. 新型コロナウイルス＋インフルエンザウイルス同時検査キットを取り扱っている 3. いずれも取り扱っていない	
③ 現在の新型コロナウイルス治療薬の取り扱いについてお答えください。 ※〇は1つ	1. 取扱いあり 2. 取扱いなし
④ 連携強化加算の届出をしていますか。 ※〇は1つ	1. 届出あり 2. 届出なし
⑤ 届出なしの場合、満たすことが難しい施設基準は何ですか。 ※〇はいくつでも	
1. 都道府県知事より第二種協定指定医療機関の指定を受けていること 2. 感染症対応に係る当該保険薬局の保険薬剤師に対する研修、訓練を年1回以上実施していること 3. 個人防護具を備蓄していること 4. 新型インフルエンザ等感染症等の発生時等において、要指導医薬品及び一般用医薬品の提供、感染症に係る体外診断用医薬品（検査キット）の提供、マスク等の感染症対応に必要な衛生材料等の提供ができる体制を新型インフルエンザ等感染症等の発生等がないときから整備し、これらを提供していること 5. 自治体からの要請に応じて、避難所・救護所等における医薬品の供給又は調剤所の設置に係る人員派遣等の協力等を行う体制が整備されていること 6. 災害対応に係る当該保険薬局の保険薬剤師に対する研修、訓練を年1回以上実施していること 7. 災害や新興感染症発生時における薬局の体制や対応について、それぞれの状況に応じた手順書等の作成 8. 情報通信機器を用いた服薬指導を行う体制が整備されていること 9. 要指導医薬品及び一般用医薬品の販売、検査キット（体外診断用医薬品）の取扱い 10. その他（具体的に：_____）	

5. かかりつけ薬剤師に関する取組についてお伺いします。

① 貴薬局ではかかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出をしていますか。 ※〇は1つ			
1. 届出あり ⇒②-1、②-2、②-3へ		2. 届出なし ⇒③へ	
②-1 貴薬局におけるかかりつけ薬剤師指導料等の算定状況についてご記入ください。(令和7年6月)			
1) かかりつけ薬剤師指導料	() 回	2) かかりつけ薬剤師包括管理料	() 回
1)-1 かかりつけ薬剤師指導料のうち、服薬指導料の特例 (かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合)の算定回数			() 回
②-2 貴薬局では、かかりつけ薬剤師指導料等の算定患者について、受診医療機関数を把握していますか。 ※〇は1つ			
1. すべて把握している 2. おおむね把握している 3. ほとんど把握していない 4. 把握していない			

【②-1の1)-1で「服薬指導料の特例(かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応した場合)の算定」ありと回答した場合】
②-3 かかりつけ薬剤師と連携する他の薬剤師が対応する理由は何ですか。 ※〇はいくつでも

1. かかりつけ薬剤師が時短勤務であり、不在時間対応するため
2. かかりつけ薬剤師が休暇を取得し、不在時間に対応するため
3. 夜間・休日等に急遽対応が必要であるため
4. その他（具体的に：_____）

【①で「2. 届出なし」と回答した場合】③ かかりつけ薬剤師指導料の届出なしである理由は何ですか。 ※〇はいくつでも

1. 保険薬剤師として3年以上の薬局勤務経験がある保険薬剤師がいないため
2. 当該保険薬局に週32時間以上※1勤務している薬剤師がいないため
3. 当該保険薬局に1年以上在籍している保険薬剤師がいないため
4. 薬剤師認定制度認証機構が認定している研修認定制度等の研修認定を取得している保険薬剤師がいないため
5. 医療に係る地域活動の取組に参画している保険薬剤師がいないため
6. 時間外の24時間電話相談が困難（人手不足等）であるため
7. 自薬局以外で調剤されている医薬品、処方薬以外のサプリメント等の内服まで含めた薬学的管理指導を行える体制が整っていないため
8. かかりつけ薬剤師の機能を患者に理解してもらえていないため
9. 患者の利用している全ての保険医療機関、服用薬を把握する体制が整っていないため
10. かかりつけ薬剤師指導料もしくはかかりつけ薬剤師包括管理料を上手く説明できないため
11. その他（具体的に：_____）

※1: 32時間以上勤務する他の保険薬剤師を届け出た保険薬局において、保険薬剤師について育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置が講じられ、当該労働者の所定労働時間が短縮された場合にあっては週24時間以上かつ週4日以上である場合を含む。

【すべての方にお伺いします。】

④ かかりつけ薬剤師として患者から相談を受けた具体的な内容についてご回答ください。 ※〇はいくつでも

1. 薬の効果に関する相談
2. 薬の副作用に関する相談
3. 薬の服用頻度に関する相談
4. 薬の飲み合わせに関する相談
5. 残薬に関する相談
6. ポリファーマシー解消・重複投薬の削減に関する相談
7. OTC医薬品に関する相談
8. その他（具体的に：_____）

6. 地域支援体制加算についてお伺いします。

① 地域支援体制加算の届出をしていますか。 ※〇は1つ

1. 地域支援体制加算 1 ⇒②へ
2. 地域支援体制加算 2 ⇒②へ
3. 地域支援体制加算 3 ⇒②へ
4. 地域支援体制加算 4 ⇒②へ
5. 届出なし ⇒③へ

② 休日、夜間を含む開局時間外であっても調剤及び在宅業務に対応できる体制（輪番制含む）を周知していますか。 ※〇は1つ

1. している
2. していない

②-1 ②で「1. している」と回答した場合、その方法と周知先をご回答ください。 ※〇はいくつでも

1) 方法	1. 自薬局・グループのHPでの周知	2. 薬剤師会を通じた周知	3. 行政機関を通じた周知	4. その他（具体的に：_____）			
2) 周知先	1. 住民・患者	2. 他薬局	3. 医療機関	4. 訪問看護ステーション	5. 福祉関係者	6. 行政機関	7. その他（具体的に：_____）

③ 一般用医薬品及び要指導医薬品等の備蓄・販売状況として当てはまるものをお選びください。 ※〇は1つ

1. 基本的な48薬効群について備蓄・販売している
2. 「1」以外にも備蓄・販売している
3. 取扱いはあるが48薬効群は揃えていない
4. 扱っていない
5. その他（具体的に：_____）

④ 上記③で「1」～「3」を選んだ場合、直近1か月での販売実績はありますか。 ※〇は1つ

1. ある
2. ない

⑤ 女性の健康サポートに関する体制整備の状況として実施しているものをお選びください。 ※○はいくつでも

1. 緊急避妊薬の取り扱い 2. 妊婦等からの服薬相談への対応 3. 女性の健康サポートに係る研修実施
(外部受講含む)
4. 健康教室の開催 5. その他（具体的に： ） 6. 特に実施していない

【すべての方にお伺いします。】

⑥ 地域支援体制加算の施設基準における、地域医療に貢献する体制を有することとして求められている実績についてご回答ください。1)～10)のそれぞれについて、地域支援体制加算の施設基準を満たしているかどうかご回答ください。また、基準を満たしているか否かに関わらず、実績をご記入ください。(令和6年7月1日から令和7年6月30日までの実績)。

なお、1)～9)は処方箋1万枚当たりの年間回数、10)は薬局当たりの年間の回数を指します。

1) 夜間・休日等の対応実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
2) 麻薬の調剤実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
3) 重複投薬・相互作用等防止加算等の実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
4) かかりつけ薬剤師指導料等の実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
5) 外来服薬支援料1の実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
6) 服用薬剤調整支援料1及び2の実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
7) 単一建物診療患者が1人以上の在宅薬剤管理の実績 ※○は1つ	1. 満たしている 合計 () 回 自宅 () 回 自宅以外(施設) () 回	2. 満たしていない
8) 服薬情報等提供料に相当する実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
9) 小児特定加算の算定実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない
10) 薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の 研修認定を取得した保険薬剤師が地域の多職種と連携する 会議への出席の実績 ※○は1つ	1. 満たしている ⇒ () 回	2. 満たしていない

【①で「5.届出なし」と回答した場合】

⑦ 地域支援体制加算の施設基準のうち、満たすことが難しい項目をご回答ください。 ※○はいくつでも

1. 備蓄品目数 1,200 品目以上
3. 医療材料及び衛生材料の供給体制
5. 集中率 85%超の薬局は、後発品の調剤割合 70%以上
7. 一定時間以上の開局
9. 患者からの相談体制の整備
11. 地域の行政機関、保険医療機関、訪問看護ステーション及び福祉関係者等との連携体制とその周知
13. 医療安全に関する取組実績の報告
15. 患者ごとの薬学的管理等
17. 定期的な研修の実施、学会への定期的な参加・発表
19. 要指導医薬品・一般用医薬品の販売等（48 薬効群の取り扱い）
21. 緊急避妊薬の備蓄と調剤体制
23. その他（具体的に：
2. 地域のお薬局との在庫状況共有、医薬品の融通
4. 麻薬小売り業者の免許と指導実施体制
6. 取り扱う医薬品に関する情報提供ができる体制
8. 開局時間外であっても調剤・在宅業務に対応できる体制
10. 夜間・休日の調剤、在宅対応体制（地域の輪番体制含む）の周知
12. 在宅薬剤管理の実績
14. かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出
16. 管理薬剤師の要件（5 年以上の薬局勤務等）
18. 患者のプライバシーへの配慮
20. 健康相談又は健康教室を行っている旨の周知等
22. 敷地内禁煙、たばこ及び喫煙器具の販売をしないこと

7. 残薬解消、ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のための取組についてお伺いします。

【すべての方にお伺いします。】

① ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、貴薬局が行っている取組をお答えください。 ※○はいくつでも				
1. 服用状況等にもとづく、かかりつけ医への処方提案	2. お薬手帳等を利用した医療機関での服用薬の把握			
3. 電子処方箋システムの活用による重複投薬等の確認	4. オンライン資格確認システムによる薬剤情報・特定健診情報の確認			
5. 医療機関の薬剤師との連携による服用薬の見直し	6. 医薬品の適正使用に係る患者・家族向けの普及啓発の実施			
7. 厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」を参考にした処方の提案	8. 薬局からかかりつけ医への服用薬の情報の提供			
9. 学会や地域で開催される研修会への参加	10. その他（具体的に：_____）			
② ポリファーマシー解消・重複投薬の削減の阻害要因は何ですか。 ※○はいくつでも				
1. 患者・家族の理解・協力が得られない 2. 効果的な方法がわからない 3. 対応するための十分な時間が捻出できない				
4. その他（具体的に：_____）				
③ ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場へはどのような方が参加されていますか。 ※○はいくつでも				
1. 自治体	2. 保険者	3. 医師会	4. 病院関係者	5. 診療所関係者
6. 薬剤師会	7. 薬局関係者	8. 看護関係者	9. 介護関係者	10. 学識経験者
11. その他（具体的に：_____）		12. わからない	13. 協議の場はない	
④ 上記③で選択肢1～11を選んだ場合、協議する場は機能していると感じますか。 ※○は1つ				
1. 機能していると感じる 2. どちらともいえない 3. 機能していると感じない				
⑤ 薬剤レビュー※を実施していますか。 ※○は1つ				
※薬剤レビュー：患者固有の情報を収集して、薬物治療に関連する問題を評価する体系的なプロセスであり、薬物治療の効果を最大化し、リスクを最小限に抑え、患者の健康状態を改善することを目的として実施されます。				
1. すべての患者について実施している 2. 特定の条件に該当する患者について実施している				
3. その他（具体的に：_____） 4. 実施していない				
⑥ 処方箋発行元の医療機関への問い合わせにあたり、問合せ簡素化プロトコルを活用していますか。 ※○は1つ				
1. すべての医療機関で活用している 2. 一部の医療機関で活用している 3. 活用していない				

8. 調剤後のフォローアップについてお伺いします。

① 調剤後薬剤管理指導加算の算定状況 (令和7年4月～6月の3か月間)	調剤後薬剤管理指導加算 1：(_____) 回	
	調剤後薬剤管理指導加算 2：(_____) 回	
② フォローアップしたにも関わらず、調剤後薬剤管理指導加算が算定できなかったことはありますか。 ※○は1つ(令和7年4月～6月の3か月間)		1. ある 2. ない
②-1 ②で「1. ある」を選んだ場合、その理由は何ですか。 ※○はいくつでも		
1. 地域支援体制加算の届出を行っていないため 2. 算定要件を満たす患者ではなかったため		
3. 医師の指示又は患者等からの求めがなかったため 4. 電話等による薬学的管理を実施しなかったため		
5. フォローアップ後、医療機関へ文書による情報提供を実施しなかったため 6. その他 (具体的に：_____)		
③ 特にフォローアップの必要がある疾患についてご回答ください。 ※○はいくつでも		
1. 糖尿病 2. ぜんそく 3. COPD 4. 心不全		
5. 血栓塞栓症 6. 認知症 7. 精神疾患 8. 悪性腫瘍		
9. 小児慢性特定疾病 10. その他（具体的に：_____）		

④ フォローアップの必要がある患者の属性についてご回答ください。 ※○はいくつでも					
1. 薬剤変更（用法用量、後発医薬品への変更も含む）があった患者 2. 長期処方（処方日数 28 日以上）の患者					
3. 服薬アドヒアランスが不良な患者 4. 認知機能が低下している患者					
5. 服用方法に注意が必要な薬剤を処方された患者 6. 手技を伴う薬剤（吸入剤、点鼻剤、注射剤等）を処方された患者					
7. 薬剤や治療に不安を持っている患者 8. 新規で来局した患者					
9. ポリファーマシーの患者					
10. 特に副作用の頻度が高く注意すべき薬剤（抗がん剤等）を処方された患者					
11. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者					
12. その他（具体的に：_____）					
⑤ 調剤後のフォローアップの実施手段 ※○はいくつでも					
1. 電話 2. メール 3. ビデオ電話 4. SNS 等のチャットツール 5. 対面					
6. その他（具体的に：_____）					
⑥ フォローアップ回数をご記入ください。（令和 7 年 6 月の 1 か月間）					
1) フォローアップ実施患者数（実人数）					() 人
2) 上記③の疾患別の実施人数 ※1 人の患者が複数の疾患を抱えている場合、疾患ごとに当該患者をカウントしてください。					
糖尿病	ぜんそく	COPD	心不全	血栓塞栓症	認知症
() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
精神疾患	悪性腫瘍	小児慢性特定疾病	その他		
() 人	() 人	() 人	() 人		
3) フォローアップで得られた情報を処方医等にフィードバックした回数					延べ () 回
⑦ フォローアップで収集している情報をご回答ください。 ※○はいくつでも					
1. 体調の変化 2. 患者の服薬状況 3. 残薬状況					
4. 患者の薬剤の保管・管理の状況 5. 患者の薬剤服用後の副作用等の状況 6. 服薬期間中に保険医療機関を新規受診し追加された併用薬					
7. 患者の生活習慣（食生活、運動習慣、飲酒/喫煙等） 8. その他（具体的に：_____）					
⑧ フォローアップした情報について処方医等に情報提供しているかご回答ください。 ※○は 1 つ					
1. フォローアップしたときは毎回、処方医等に情報提供 2. フォローアップを行い問題点があった場合にのみ、処方医等に情報提供している					
3. 特に処方医等への情報提供をしていない 4. その他（具体的に：_____）					
【⑨は、⑧で 1～2 と回答した方（処方医等に情報提供をしている方）にお伺いします。】					
⑨ 処方医等にフィードバックした内容をご回答ください。 ※○はいくつでも					
1. 新たに追加された併用薬剤等（一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む）の情報					
2. 処方薬剤の服用状況（アドヒアランス及び残薬等） 3. 薬剤に関する提案 4. 副作用等の状況					
5. 服薬指導の要点 6. その他（具体的に：_____）					
⑩ 上記⑥でフォローアップの実績が 0 回の場合、その理由をご記入ください。 ※○は 1 つ					
1. フォローアップが必要な患者がいないため 2. フォローアップに必要な情報が不足しているため					
3. 医療機関との連携が不十分であるため 4. その他（具体的に：_____）					

9. 服薬管理指導等についてお伺いします。

① 令和 7 年 4 月～6 月の 3 か月間における、特に安全管理が必要な医薬品（ハイリスク薬）の服薬指導の実施頻度として該当するものを選びください。（特定薬剤管理指導加算の算定の有無に関わらずご回答ください） ※○は 1 つ		
1. 毎回実施 2. 用法用量変更時又は副作用発現時に実施 3. 実施していない・対象患者がいなかった		
4. その他（具体的に：_____）		

② 特に安全管理が必要な医薬品(ハイリスク薬)の服薬指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導1イ又はロを算定できなかったことはありますか。 ※○は1つ	
1. ある 2. ない	
②-1 上記②で「1. ある」を選択した場合、その理由は何ですか。 ※○はいくつでも	
1. 当該ハイリスク薬の処方初めてではない患者に対して行ったため 2. 1つの処方箋受付に対して2回以上実施したため 3. 当該ハイリスク薬が継続処方され、用法用量に変更がなかったため 4. 当該ハイリスク薬が継続処方され、副作用等の発現がみられなかったため 5. その他(具体的に: _____)	
③ 令和7年4月～6月の3か月間における、医薬品リスク管理計画(RMP)に基づく指導の実施タイミングとして該当するものを選びください。(特定薬剤管理指導加算の算定の有無に関わらずご回答ください) ※○は1つ	
1. 初回処方時 2. 継続内服中に RMP 資材が作成された時 3. その他(具体的に: _____)	
④ 医薬品リスク管理計画(RMP)の患者向け資材は、患者に対してどのように提示・説明していますか。 ※○は1つ	
1. 資材を交付している 2. 資材は提示のみで交付はしていない 3. その他(具体的に: _____)	
⑤ 医薬品リスク管理計画(RMP)の患者向け資材を用いた指導を行ったにもかかわらず、特定薬剤管理指導3イ又はロを算定できなかったことはありますか。 ※○は1つ	
1. ある 2. ない	
⑤-1 上記⑤で「1. ある」を選択した場合、その理由は何ですか。 ※○はいくつでも	
1. 当該医薬品に対して2回以上実施したため 2. その他(具体的に: _____)	

10. 医療機関等との連携についてお伺いします。

(1) 医療機関等との連携についてご回答ください。【令和7年7月の1か月間】	
① 服薬情報等提供料の算定回数をご回答ください。	
1) 服薬情報等提供料1の算定有無 ※○は1つ	1. あり 2. なし
1)-1 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数	() 回
1)-2 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数	() 回
2) 服薬情報等提供料2の算定有無 ※○は1つ	1. あり 2. なし
2)-1 算定回数のうち患者もしくはその家族への情報提供の回数	() 回
2)-2 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数	() 回
2)-3 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数	() 回
3) 服薬情報等提供料3の算定有無 ※○は1つ	1. あり 2. なし
3)-1 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数	() 回
3)-2 算定回数のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数	() 回
3)-3 算定なしの場合、算定の阻害要因 ※○はいくつでも	1. 医療機関から依頼がない 2. 対象となる患者がいない 3. 情報提供をしたが在宅患者であった 4. その他(具体的に: _____)
4) 服薬情報等提供料を算定していないが、医療機関へ情報提供をおこなった回数	() 回
4)-1 4)のうち最も多く処方を受け付けた医療機関への情報提供の回数	() 回
4)-2 4)のうち最も多く処方を受け付けた医療機関以外への情報提供の回数	() 回
5) 服薬情報等提供料を算定していないが、他の薬局へ情報提供をおこなった回数	() 回

【すべての方にお伺いします。】

② 他職種への情報提供について a.提供の有無 b.提供した内容を教えてください。(a.○は1つ b.○はいくつでも).		
	a.提供の有無	b.提供した内容
1) 医師	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
2) 歯科医師	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
3) 病院薬剤師	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
4) 看護師	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
5) 管理栄養士	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
6) PT/OT/ST	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
7) ケアマネジャー	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
8) 介護士	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
9) 生活相談員	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.
10) その他(具体的に: _____)	1. あり 2. なし	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.

【b.提供した内容】の選択肢

1. 患者の服薬状況に合わせた処方提案	2. 薬物療法に関する助言
3. 服薬状況の確認と残薬の整理	4. 麻薬及び輸液製剤（注射剤）やそれに伴う機材の使用に係る支援
5. 医療材料、衛生材料の提供	6. 夜間休日を含む緊急時の医薬品の提供
7. 麻薬の供給	8. 医師の指示とおりの服用が難しい場合の対応策の提案（お薬カレンダー、飲みにくい錠剤を粉砕、一包化等）
9. 服用薬の副作用に関する情報提供	10. 輸液等において薬剤の調製に関する助言

11. その他

① 医療機関との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等がございましたら、ご記入ください。
(良い影響)
(問題点)

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。

令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

ID 番号：

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和 7 年度調査)
かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査
病院票

※この病院票は、保険薬局との連携状況、医薬品の適正使用のための残薬解消、ポリファーマシー・重複投薬の削減に関する取組等についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ・「※○は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和 7 年 7 月 1 日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の概要等についてお伺いします。

① 所在地	() 都・道・府・県			
② 開設者※1 ※○は1つ	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体
	5. 医療法人 (社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人	8. 個人
③ 標榜診療科 ※○はいくつでも	1. 内科※2	2. 外科※3	3. 精神科	4. 小児科
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	
	16. リハビリテーション科	17. その他（具体的に：_____）		
④ 貴施設の在宅療養支援病院の届出区分 ※○は1つ	1. 機能強化型在宅療養支援病院(単独型) 2. 機能強化型在宅療養支援病院(連携型)			
	3. 上記以外の在宅療養支援病院 4. 在宅療養支援病院ではない			

※1 開設者による分類は下記の通りです。

- 国 : 厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国)
- 公立 : 都道府県、市町村、地方独立行政法人
- 公 的 : 日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会
- 社会保険関係団体 : 健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
- 医療法人 : 医療法人(社会医療法人を除く)
- 会社 : 株式会社等
- その他の法人 : 社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人

※2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

※3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

⑤ 地域包括診療料の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件 2. 算定なし
⑥ 地域包括診療加算の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件 2. 算定なし
⑦ 小児かかりつけ診療料の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件 2. 算定なし

2. 医薬品の処方状況についてお伺いします

		初診患者数	再診延べ患者数
① 外来患者数	※令和 7 年 6 月の 1 か月間	() 人	() 人
	※令和 6 年 6 月の 1 か月間	() 人	() 人
② 外来の院内・院外処方の割合 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		院内処方 () % + 院外処方 () % = 100% ※算定回数ベース	
②-1 今後院内処方を増やす意向はありますか。 ※○は1つ		1. あり 2. なし 3. 未定	
③ 往診の実施回数 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		() 回	
④ 訪問診療の実施回数 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		() 回	
⑤ いわゆる門前薬局の有無 ※○は1つ		1. あり 2. なし	
⑥ いわゆる敷地内薬局の有無と薬局数 ※○は1つ		1. あり (薬局数:) 2. なし	
⑦ 院外処方箋における問合せ簡素化プロトコル※1を保険 薬局と結んでいますか。 ※○は1つ		1. 結んでいる 2. 結んでいない	

※1：医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコル(例：事前に同意が得られた項目を院外処方箋における疑義照会簡素化項目として設定し、処方内容が変更された場合に処方歴の代行修正ができること等を取りまとめたプロトコルであり、合意を得た保険薬局との間で運用されている。)

3. 薬局との連携状況についてお伺いします。

① 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性 ※○はいくつでも			
1. 薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者	2. 長期処方 (処方日数 28 日以上) の患者		
3. 服薬アドヒアランスが不良な患者	4. 認知機能が低下している患者		
5. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等) を処方された患者	6. 手技を伴う薬剤 (吸入剤、点鼻剤、注射剤等) を処方された患者		
7. 薬剤や治療に不安を持っている患者	8. 新規で受診した患者		
9. ポリファーマシーの患者	10. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者		
11. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者	12. その他 (具体的に:)		
② 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患 ※○はいくつでも			
1. 糖尿病	2. ぜんそく	3. COPD	4. 心不全
5. 血栓塞栓症	6. 認知症	7. 精神疾患	8. 悪性腫瘍
9. 小児慢性特定疾病	10. その他 (具体的に:)		
③ 薬局にフォローアップして欲しい薬剤はどのような薬剤ですか。 ※○はいくつでも			
1. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	2. 手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)		
3. 注射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD 治療薬等)	4. 注射器が必要な薬剤		
5. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	6. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤		
7. その他 (具体的に:)	8. そのような薬剤は特になし		
④ 上記のうち、十分にフィードバックされていない薬剤はどれですか。 ※○はいくつでも			
1. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	2. 手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)		
3. 射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD 治療薬等)	4. 注射器が必要な薬剤		
5. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	6. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤		
7. その他 (具体的に:)	8. そのような薬剤は特になし		
⑤ フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報は何か。 ※○はいくつでも			
1. 患者の服薬状況	2. 残薬状況		
3. 患者の保管・管理の状況	4. 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況		
5. 処方内容に関する提案情報			
6. その他の患者に関する情報 (具体的に:)			
7. 特になし			

⑥ 上記のうち、十分にフィードバックされていない情報はどれですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況
2. 残薬状況
3. 患者の保管・管理の状況
4. 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報
6. その他の患者に関する情報（具体的に：_____）
7. 特になし（フィードバック情報に満足している）
8. わからない

⑦ フォローアップを薬局に指示した場合のメリットとしては、何が考えられますか。 ※○はいくつでも
(フォローアップについて薬局に指示したことがない場合も、指示するときを想定してお答えください。)

1. 患者が正しく服用できるようになった
2. アドヒアランスが向上した
3. 服用等の状況の報告が診療の参考となった
4. 医薬品に関する患者からの問い合わせが減った
5. 患者の手技やデバイスの使用が適切になった
6. その他（具体的に：_____）
7. 薬局でのフォローアップにメリットを感じない
→メリットを感じない理由をお書きください：
（_____）

⑧ 患者による薬局の選択の上で、連携する薬局を変更したことはありますか。 ※○は1つ

1. ある ⇒⑧-1 へ
2. ない ⇒⑨へ

【⑧で「1. ある」と回答した方にお伺いします。】

⑧-1 薬局の変更理由は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 麻薬注射等のこれまでの薬局では対応できない機能が必要となったから
2. 患者から要望があったから（具体的に：_____）
3. ケアマネジャーから要望があったから（具体的に：_____）
4. その他（具体的に：_____）

⑨ 在宅移行初期管理料※をご存知ですか。 ※○は1つ

1. どのようなものかも知っている
2. 聞いたことはあるが、詳細は知らない
3. 知らない

⑩ 下記の注釈を踏まえて、在宅移行初期管理料のメリットとして、何が考えられますか。 ※○はいくつでも

1. 在宅療養開始前に薬剤師が患者の情報を把握できるため、効果的な服薬指導が期待できる
2. 薬剤師やケアマネジャー等の多職種との連携が進むことで、効果的な薬物治療や服薬指導が期待できる
3. ポリファーマシー対策に繋がる
4. その他（具体的に：_____）

※在宅移行初期管理料とは、令和6年度診療報酬改定によって新設された項目であり、退院直後等、計画的に実施される訪問薬剤管理指導の前段階に患宅を訪問し、今後の訪問薬剤管理指導のための服薬状況の確認や薬剤の管理棟の必要な指導を行った場合に算定される。

⑪ 薬局との連携についての課題はありますか。 ※○はいくつでも

1. 在宅訪問を依頼する場合にどの薬局へ依頼すればいいのかわからない
2. 抗がん剤などの特殊な薬剤をどの薬局が取り扱っているかわからない
3. TPN（中心静脈栄養）などの無菌調製を対応できる薬局が見つからない
4. 麻薬処方時にどの薬局が麻薬を取り扱っているかわからない
5. ターミナル期の患者対応ができる薬局が見つからない
6. 患者の体調変化等により、やむを得ず急遽薬剤が必要となった場合に対応できる薬局が見つからない
7. 薬局との連携の必要性がない
8. 患者のかかりつけ薬局等がわからない
9. その他（具体的に：_____）

⑫ 薬局と連携することでデメリットだと感じる点がありますか。 ※○はいくつでも

1. 処方した薬剤に関して、薬局から患者に意図しない説明がされることがある
2. 薬局とのコミュニケーションに時間を取られる
3. 処方データの共有や薬剤情報の確認など、連携による業務が増える
4. 薬局からのフィードバックが不十分である
5. 薬局における服薬管理の状況が不明確である
6. 薬局の対応に差がある
7. その他（具体的に：_____）

4. ポリファーマシー※対策の取組についてお伺いします。

① 薬局より患者の重複投薬等の解消に関し、処方変更の提案を受け取ったことはありますか。 ※○は1つ

1. 受け取ったことがある ⇒①-1 へ
2. 受け取ったことがない ⇒②へ

【①で「1. 受け取ったことがある」と回答した方にお伺いします。】

①-1 薬局の提案により処方を変更したことはありますか。 ※○は1つ

1. 処方の変更をしたことがある
2. 処方の変更をしたことはない

変更しなかった理由： _____

※「ポリファーマシー」は、単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態を指す。

② ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場へはどのような方が参加されていますか。

※○はいくつでも

1. 自治体
2. 保険者
3. 医師会
4. 病院関係者
5. 診療所関係者
6. 薬剤師会
7. 薬局関係者
8. 看護関係者
9. 介護関係者
10. 学識経験者
11. その他（具体的に：_____）
12. わからない
13. 協議の場はない

③ 上記②で1～11を選んだ場合、協議する場は機能していると感じますか。 ※○は1つ

1. 機能していると感じる
2. どちらともいえない
3. 機能していると感じない

【すべての人にお伺いします。】

④ ポリファーマシー対策のためオンライン資格確認を導入していますか。 ※○は1つ

1. 導入しており、ポリファーマシー対策に使用している
2. 導入しているが、ポリファーマシー対策には使用できていない
3. 導入していないが、導入予定であり、ポリファーマシー対策にも使用予定である
4. 導入しておらず、導入予定もない

⑤ 複数のお薬手帳を持つ患者をどのように把握していますか。 ※○はいくつでも

1. 問診時に確認している
2. 診察時に確認している
3. 患者からの自己申告により確認している
4. オンライン資格確認システムの薬剤情報との比較で確認している
5. 薬局からの問合せや情報提供により確認している
6. その他
7. 把握できていない（具体的に：_____）

5. 薬局からの文書による情報提供(服薬情報提供書:トレーシングレポート※)についてお伺いします。

※服薬情報提供書(トレーシングレポート)とは、薬局薬剤師が患者の服薬状況等に関して、緊急性・即時性は低いものの、患者の薬物治療に有用な情報を得た場合に処方医へ提供される文書※1であり、薬剤師が処方箋に対し疑問を抱いた際に医師へ問い合わせず疑義照会※2とは異なります。(出典:※1 公益社団法人新潟県薬剤師会、※2 一般社団法人愛媛県薬剤師会)

① 薬局に対して、トレーシングレポートの提供を求めたことはありますか。 ※○は1つ

1. 求めたことがある ⇒①-1・②へ
2. 求めたことはない ⇒②へ

【①で「1. 求めたことがある」と回答した方にお伺いします。】

①-1 貴施設からの求めに応じて薬局からトレーシングレポートは提供されましたか。 ※○は1つ

1. 遅滞なく提供された
2. 時間を要したが提供された
3. 提供されなかった

② 貴施設からの求めのほか、疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取ったことはありますか。 ※○は1つ

1. 受け取ったことがある ⇒②-1～②-4 へ
2. 受け取ったことはない ⇒③へ

【①で「1. 求めたことがある」と回答した方及び、②で「1. 受け取ったことがある」と回答した方にお伺いします。】

②-1 薬局から受け取った疑義照会とは異なり、処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整しましたか。※令和7年6月の1か月間 ※○は1つ

1. ある ⇒変更回数：() 回 2. ない

②-2 具体的にどのような内容を変更されましたか。 ※○はいくつでも

1. 薬剤の変更 2. 用法の変更 3. 用量の変更
4. 分量の変更 5. 薬剤の追加・削除 6. その他（具体的に：()

②-3 薬局から受け取った服薬情報のうち、貴施設が求めた情報は何割程度ですか。

() 割
※1～10の自然数

②-4 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況 2. 残薬状況
3. 患者の医薬品の保管・管理の状況 4. 患者の服薬後のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報 6. 副作用の発生状況
7. 患者の医療機関・薬局等の利用状況 8. その他の患者に関する情報
(具体的に：())

【すべての方にお伺いします。】

③ 薬局から報告してほしい患者の情報は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況 2. 残薬状況
3. 患者の医薬品の保管・管理の状況 4. 患者の服薬後のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報 6. 副作用の発生状況
7. 患者の医療機関・薬局等の利用状況 8. その他の患者に関する情報
(具体的に：())

④ お薬手帳などにより、患者のかかりつけ薬局を容易に把握することができますか。 ※○は1つだけ

1. 概ね把握できている 2. 把握できない場合がある 3. ほぼ把握できていない

6. その他

① 薬局との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等がございましたら、ご記入ください。

(良い影響)

(問題点)

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。

令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

ID 番号：

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和 7 年度調査)
かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査
診療所票

※この診療所票は、保険薬局との連携状況、医薬品の適正使用のための残薬解消、ポリファーマシー・重複投薬の削減に関する取組等についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ・「※○は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和 7 年 7 月 1 日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の概要等についてお伺いします。

① 所在地	() 都・道・府・県			
② 開設者※1 ※○は1つ	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体
	5. 医療法人 (社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人	8. 個人
③ 診療所の種別 ※○は1つ	1. 有床診療所		2. 無床診療所	
④ 標榜診療科 ※○はいくつでも	1. 内科※2	2. 外科※3	3. 精神科	4. 小児科
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科	
	16. リハビリテーション科	17. その他（具体的に：_____）		
⑤ 貴施設の在宅療養支援診療所の届出区分 ※○は1つ	1. 機能強化型在宅療養支援診療所(単独型)		2. 機能強化型在宅療養支援診療所(連携型)	
	3. 上記以外の在宅療養支援診療所		4. 在宅療養支援診療所ではない	

※1 開設者による分類は下記の通りです。

国：厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国)

公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人

公的：日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会

社会保険関係団体：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合

医療法人：医療法人(社会医療法人を除く)

会社：株式会社等

その他の法人：社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人

※2：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

※3：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

⑥ 地域包括診療料の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件	2. 算定なし
⑦ 地域包括診療加算の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件	2. 算定なし
⑧ 小児かかりつけ診療料の算定実績 ※○は1つ ※令和 7 年 6 月の 1 か月間	1. 算定あり ⇒算定件数 () 件	2. 算定なし

2. 医薬品の処方状況についてお伺いします

		初診患者数	再診延べ患者数
① 外来患者数	※令和 7 年 6 月の 1 か月間	() 人	() 人
	※令和 6 年 6 月の 1 か月間	() 人	() 人
② 外来の院内・院外処方の割合 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		院内処方 () % + 院外処方 () % = 100% ※算定回数ベース	
②-1 今後院内処方を増やす意向はありますか。 ※○は1つ		1. あり 2. なし 3. 未定	
③ 往診の実施回数 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		() 回	
④ 訪問診療の実施回数 ※令和 7 年 6 月の 1 か月間		() 回	
⑤ いわゆる門前薬局の有無 ※○は1つ		1. あり 2. なし	
⑥ いわゆる敷地内薬局の有無と薬局数 ※○は1つ		1. あり (薬局数:) 2. なし	
⑦ 院外処方箋における問合せ簡素化プロトコル※1を保険 薬局と結んでいますか。 ※○は1つ		1. 結んでいる 2. 結んでいない	

※1：医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコル(例：事前に同意が得られた項目を院外処方箋における疑義照会簡素化項目として設定し、処方内容が変更された場合に処方歴の代行修正ができること等)をとりまとめたプロトコルであり、合意を得た保険薬局との間で運用されている。)

3. 薬局との連携状況についてお伺いします。

① 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる患者の属性 ※○はいくつでも			
1. 薬剤変更 (用法用量、後発医薬品への変更も含む) があった患者	2. 長期処方 (処方日数 28 日以上) の患者		
3. 服薬アドヒアランスが不良な患者	4. 認知機能が低下している患者		
5. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等) を処方された患者	6. 手技を伴う薬剤 (吸入剤、点鼻剤、注射剤等) を処方された患者		
7. 薬剤や治療に不安を持っている患者	8. 新規で受診した患者		
9. ポリファーマシーの患者	10. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等) を処方された患者		
11. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤を処方された患者	12. その他 (具体的に:)		
② 医薬品の処方・薬局での調剤後のフォローアップの必要があると考えられる疾患 ※○はいくつでも			
1. 糖尿病	2. ぜんそく	3. COPD	4. 心不全
5. 血栓塞栓症	6. 認知症	7. 精神疾患	8. 悪性腫瘍
9. 小児慢性特定疾病	10. その他 (具体的に:)		
③ 薬局にフォローアップして欲しい薬剤はどのような薬剤ですか。 ※○はいくつでも			
1. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	2. 手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)		
3. 注射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD 治療薬等)	4. 注射器が必要な薬剤		
5. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	6. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤		
7. その他 (具体的に:)	8. そのような薬剤は特になし		
④ 上記のうち、十分にフィードバックされていない薬剤はどれですか。 ※○はいくつでも			
1. 服用方法に注意が必要な薬剤 (ビスフォス等)	2. 手技を伴う薬剤 (点鼻剤、注射剤等)		
3. 射器以外のデバイスが必要な薬剤 (COPD 治療薬等)	4. 注射器が必要な薬剤		
5. 特に副作用に注意すべき薬剤 (抗がん剤等)	6. 特に他の薬剤との相互作用を注意すべき薬剤		
7. その他 (具体的に:)	8. そのような薬剤は特になし		
⑤ フォローアップに関して薬局からフィードバックされる情報のうち診療の役に立つと考えられる情報は何か。 ※○はいくつでも			
1. 患者の服薬状況	2. 残薬状況		
3. 患者の保管・管理の状況	4. 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況		
5. 処方内容に関する提案情報			
6. その他の患者に関する情報 (具体的に:)			
7. 特になし			

⑥ 上記のうち、十分にフィードバックされていない情報はどれですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況
2. 残薬状況
3. 患者の保管・管理の状況
4. 患者の薬剤の副作用等のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報
6. その他の患者に関する情報（具体的に：_____）
7. 特になし（フィードバック情報に満足している）
8. わからない

⑦ フォローアップを薬局に指示した場合のメリットとしては、何が考えられますか。 ※○はいくつでも
(フォローアップについて薬局に指示したことがない場合も、指示するときを想定してお答えください。)

1. 患者が正しく服用できるようになった
2. アドヒアランスが向上した
3. 服用等の状況の報告が診療の参考となった
4. 医薬品に関する患者からの問い合わせが減った
5. 患者の手技やデバイスの使用が適切になった
6. その他（具体的に：_____）
7. 薬局でのフォローアップにメリットを感じない
→メリットを感じない理由をお書きください：
（_____）

⑧ 患者による薬局の選択の上で、連携する薬局を変更したことはありますか。 ※○は1つ

1. ある ⇒⑧-1へ
2. ない ⇒⑨へ

【⑧で「1. ある」と回答した方にお伺いします。】

⑧-1 薬局の変更理由は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 麻薬注射等のこれまでの薬局では対応できない機能が必要となったから
2. 患者から要望があったから（具体的に：_____）
3. ケアマネジャーから要望があったから（具体的に：_____）
4. その他（具体的に：_____）

⑨ 在宅移行初期管理料※をご存知ですか。 ※○は1つ

1. どのようなものかも知っている
2. 聞いたことはあるが、詳細は知らない
3. 知らない

⑩ 下記の注釈を踏まえて、在宅移行初期管理料のメリットとして、何が考えられますか。 ※○はいくつでも

1. 在宅療養開始前に薬剤師が患者の情報を把握できるため、効果的な服薬指導が期待できる
2. 薬剤師やケアマネジャー等の多職種との連携が進むことで、効果的な薬物治療や服薬指導が期待できる
3. ポリファーマシー対策に繋がる
4. その他（具体的に：_____）

※：在宅移行初期管理料とは、令和6年度診療報酬改定によって新設された項目であり、退院直後等、計画的に実施される訪問薬剤管理指導の前段階に患宅を訪問し、今後の訪問薬剤管理指導のための服薬状況の確認や薬剤の管理棟の必要な指導を行った場合に算定される。

⑪ 薬局との連携についての課題はありますか。 ※○はいくつでも

1. 在宅訪問を依頼する場合にどの薬局へ依頼すればいいのかわからない
2. 抗がん剤などの特殊な薬剤をどの薬局が取り扱っているのかわからない
3. TPN（中心静脈栄養）などの無菌調製を対応できる薬局がみつからない
4. 麻薬処方時にどの薬局が麻薬を取り扱っているのかわからない
5. ターミナル期の患者対応ができる薬局がみつからない
6. 患者の体調変化等により、やむを得ず急遽薬剤が必要となった場合に対応できる薬局がみつからない
7. 薬局との連携の必要性がない
8. 患者のかかりつけ薬局等がわからない
9. その他（具体的に：_____）

⑫ 薬局と連携することでデメリットだと感じる点がありますか。 ※○はいくつでも
1. 処方した薬剤に関して、薬局から患者に意図しない説明がされることがある 2. 薬局とのコミュニケーションに時間を取られる 3. 処方データの共有や薬剤情報の確認など、連携による業務が増える 4. 薬局からのフィードバックが不十分である 5. 薬局における服薬管理の状況が不明確である 6. 薬局の対応に差がある 7. その他（具体的に：_____）

4. ポリファーマシー※対策の取組についてお伺いします。

① 薬局より患者の重複投薬等の解消に関し、処方変更の提案を受け取ったことはありますか。 ※○は1つ
1. 受け取ったことがある ⇒①-1へ 2. 受け取ったことがない ⇒②へ
【①で「1. 受け取ったことがある」と回答した方にお伺いします。】
①-1 薬局の提案により処方を変更したことはありますか。 ※○は1つ
1. 処方の変更をしたことがある 2. 処方の変更をしたことはない 変更しなかった理由： _____

※「ポリファーマシー」は、単に服用する薬剤数が多いのみならず、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランス低下等の問題につながる状態を指す。

② ポリファーマシー解消・重複投薬の削減のために、地域で協議する場へはどのような方が参加されていますか。 ※○はいくつでも
1. 自治体 2. 保険者 3. 医師会 4. 病院関係者 5. 診療所関係者 6. 薬剤師会 7. 薬局関係者 8. 看護関係者 9. 介護関係者 10. 学識経験者 11. その他（具体的に：_____） 12. わからない 13. 協議の場はない
③ 上記②で1～11を選んだ場合、協議する場は機能していると感じますか。 ※○は1つ
1. 機能していると感じる 2. どちらともいえない 3. 機能していると感じない
【すべての人にお伺いします。】
④ ポリファーマシー対策のためオンライン資格確認を導入していますか。 ※○は1つ
1. 導入しており、ポリファーマシー対策に使用している 2. 導入しているが、ポリファーマシー対策には使用できていない 3. 導入していないが、導入予定であり、ポリファーマシー対策にも使用予定である 4. 導入しておらず、導入予定もない
⑤ 複数のお薬手帳を持つ患者をどのように把握していますか。 ※○はいくつでも
1. 問診時に確認している 2. 診察時に確認している 3. 患者からの自己申告により確認している 4. オンライン資格確認システムの薬剤情報との比較で確認している 5. 薬局からの問合せや情報提供により確認している 6. その他 7. 把握できていない（具体的に：_____）

5. 薬局からの文書による情報提供(服薬情報提供書:トレーシングレポート※)についてお伺いします。

※服薬情報提供書(トレーシングレポート)とは、薬局薬剤師が患者の服薬状況等に関して、緊急性・即時性は低いものの、患者の薬物治療に有用な情報を得た場合に処方医へ提供される文書※1であり、薬剤師が処方箋に対し疑問を抱いた際に医師へ問い合わせず疑義照会※2とは異なります。(出典:※1 公益社団法人新潟県薬剤師会、※2 一般社団法人愛媛県薬剤師会)

① 薬局に対して、トレーシングレポートの提供を求めたことはありますか。 ※○は1つ
1. 求めたことがある ⇒①-1、②へ 2. 求めたことはない ⇒②へ
【①で「1. 求めたことがある」と回答した方にお伺いします。】
①-1 貴施設からの求めに応じて薬局からトレーシングレポートは提供されましたか。 ※○は1つ
1. 遅滞なく提供された 2. 時間を要したが提供された 3. 提供されなかった
② 貴施設からの求めのほか、疑義照会とは異なるトレーシングレポートを薬局から処方前に受け取ったことはありますか。 ※○は1つ
1. 受け取ったことがある ⇒②-1～②-4へ 2. 受け取ったことはない ⇒③へ

【①で「1. 求めたことがある」と回答した方及び、②で「1. 受け取ったことがある」と回答した方にお伺いします。】

②-1 薬局から受け取った疑義照会とは異なり、処方前にトレーシングレポート等による薬剤師からの情報提供に基づいて処方内容を調整しましたか。※令和7年6月の1か月間 ※○は1つ

1. ある ⇒変更回数：() 回 2. ない

②-2 具体的にどのような内容を変更されましたか。 ※○はいくつでも

1. 薬剤の変更 2. 用法の変更 3. 用量の変更
4. 分量の変更 5. 薬剤の追加・削除 6. その他（具体的に：()）

②-3 薬局から受け取った服薬情報のうち、貴施設が求めた情報は何割程度ですか。

() 割
※1～10の自然数

②-4 これまでに薬局から受け取った情報のうち診療に役立った情報は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況 2. 残薬状況
3. 患者の医薬品の保管・管理の状況 4. 患者の服薬後のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報 6. 副作用の発生状況
7. 患者の医療機関・薬局等の利用状況 8. その他の患者に関する情報
(具体的に：())

【すべての方にお伺いします。】

③ 薬局から報告してほしい患者の情報は何ですか。 ※○はいくつでも

1. 患者の服薬状況 2. 残薬状況
3. 患者の医薬品の保管・管理の状況 4. 患者の服薬後のモニタリング状況
5. 処方内容に関する提案情報 6. 副作用の発生状況
7. 患者の医療機関・薬局等の利用状況 8. その他の患者に関する情報
(具体的に：())

④ お薬手帳などにより、患者のかかりつけ薬局を容易に把握することができますか。 ※○は1つ

1. 概ね把握できている 2. 把握できない場合がある 3. ほぼ把握できていない

6. その他

① 薬局との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等がございましたら、ご記入ください。

(良い影響)

(問題点)

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。

令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

令和 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和 7 年度調査)
かかりつけ薬局・薬剤師に関するアンケート

このアンケートは、患者さんご本人に保険薬局の利用状況やお考えなどをお伺いするものです。

調査結果は、診療報酬の見直しなどについて検討するための資料となります。

本調査のご回答内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

また、医師や薬剤師に個人の回答内容をお知らせすることはありません。本調査票に回答しない場合も、患者さんご本人が不利益を受けることはありません。

※回答はあてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字や内容・理由などをご記入ください。



問1 今アンケートを記入しているのはどなたですか。

1. 患者さんご本人 →これ以降の設問について、あなた自身のことをお答えください
2. 患者さんご本人以外のご家族等 →これ以降の設問について、患者さんご本人のことをお答えください

問2 性別、年齢、お住まいについてお答えください。

1. 男性 2. 女性

1. 20 歳未満	2. 20 歳代	3. 30 歳代
4. 40 歳代	5. 50 歳代	6. 60 歳代
7. 70 歳代	8. 80 歳以上	

()都・道・府・県

問3 医療費の自己負担額(医療機関や保険薬局の窓口で支払う金額)がありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない

※お薬の容器代等は含めません。

問4 定期的・継続的に※受診している医療機関(病院・診療所[歯科診療所を含む])、利用している保険薬局は
 いくつありますか。

医療機関数()箇所	保険薬局数()箇所
---------------------------------	---------------------------------

※定期的な受診や利用がない場合は「0(ゼロ)」と記入してください。

※「定期的に受診」「定期的にご利用」とは、半年間で複数回受診もしくは利用していることを指します。

問5 定期的に受診している医療機関(病院・診療所)や利用している保険薬局はあなたご自身のお住まいの地域にありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 医療機関のみ住んでいる地域にある | 2. 保険薬局のみ住んでいる地域にある |
| 3. どちらも住んでいる地域にある | 4. どちらも住んでいる地域にない(遠方まで行く必要がある) |

問6 定期的に(半年に複数回)在宅医療※を受けていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 医師の定期的な訪問がある | 2. 薬局薬剤師または看護師の定期的な訪問がある |
| 3. 在宅医療を受けていない | |

※在宅医療とは、医師の指示のもと通院が困難な方の自宅等を専門知識を持つ医療職が訪問し、それぞれの医療職が連携して専門的なサービスを提供するものです。

問7 定期的に医療機関(病院・診療所)に行って処方してもらっているお薬がありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒問7-1・7-2へ 2. ない ⇒問8へ

【問7で「1.ある」と回答された方にお伺いします。】

問7-1 現在どのようなお薬を何種類飲んで(使って)いますか。(それぞれ○は1つ)

①飲み薬(処方されたもの)	a. 1～3種類	b. 4～5種類	c. 6～7種類	d. 8種類以上
②飲み薬以外※(処方されたもの)	a. 1～2種類	b. 3～4種類	c. 5～6種類	d. 7種類以上
③自分で購入したもの(サプリ等)	a. 使っていない	b. 1～3種類	c. 4～5種類	d. 6種類以上

※飲み薬以外とは、塗り薬や湿布薬、点眼薬、吸入薬、坐薬、うがい薬等のことです。

問7-2 現在の飲み薬が6～7種類または8種類以上の場合、お薬を減らしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う ⇒問7-3へ 2. 思わない ⇒問8へ

問7-3 お薬を減らすことについて医師や薬局薬剤師に相談したいと思ったことはありますか。(○は1つ)

1. あるし、相談したことがある 2. あるが、相談したことはない 3. ない

【すべての方にお伺いします。】

問8 紙のお薬手帳、もしくは、電子版お薬手帳を利用していますか。(○は1つ)

1. 紙のお薬手帳のみ利用している 2. 電子版お薬手帳のみ利用している
3. 両方利用している 4. どちらも利用していない

問9 マイナンバーカードを健康保険証として利用して、同意いただくと、過去に服用したお薬の情報などを医師や歯科医師、薬局薬剤師に提供できます。このことをご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らなかった

問10 電子処方せんは、紙の処方せんを電子化したもので、同意いただくと処方・調剤時に医師・歯科医師・薬剤師がお薬の情報を確認できるようになります。このことをご存知でしたか。(○は1つ)

1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らなかった

「服薬指導」とは

薬剤師が患者さんに、薬剤の正しい使い方や副作用に関する説明を行うことです。

また、薬剤師が患者さんからの疑問や不安を聞き指導することも服薬指導に含まれます。



問11 直近1か月以内に服薬指導を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けた ⇒問11-1・11-2へ 2. 受けていない ⇒問12へ

【問11で「1.受けた」と回答された方にお伺いします。】

問11-1 直近で受けた服薬指導では、どの説明を受けましたか。(○はいくつでも)

1. 処方薬の効果・効能、副作用 2. 処方薬の服用方法・回数やタイミング
3. 処方薬の保存方法 4. 他に使用している薬との飲み合わせ
5. 健康状態の確認 6. 生活習慣等へのアドバイス
7. その他(具体的に: _____)

問11-2 直近1か月以内に受けた服薬指導は役に立ったと思いますか。(○は1つ)

1. 役に立った ⇒問11-3へ 2. どちらかという役に立った ⇒問11-3へ
3. どちらかという役に立たなかった ⇒問11-4へ 4. 役に立たなかった ⇒問11-4へ

問 11-3 問 11-2で「1. 役に立った」「2. どちらかという役に立った」と回答した場合、その理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 薬の効果・効能や副作用の理解が深まったから | 2. 疑問や不安が解消したから |
| 3. その他(具体的に: _____) | |

問 11-4 問 11-2で「3. どちらかという役に立たなかった」「4. 役に立たなかった」と回答した場合、その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 特に新しい情報や指導はなかったから | 2. 疑問や不安が解消しなかったから |
| 3. その他(具体的に: _____) | |

「オンライン服薬指導」とは

薬局に来局することが難しい場合などに、薬剤師が自宅などにいる患者さんに対してビデオ通話を用いて行う服薬指導のことです。オンライン服薬指導の主な流れは次のとおりです。

- ①医療機関の受診・診察後、患者さんが希望する薬局へFAX等で処方せんが送信されます。
- ②薬剤師が内容を確認し、ビデオ通話で服薬指導を行います。(※場合によっては来局が必要と判断されることもあります)
- ③薬局よりお薬が届けられます。



【すべての方にお伺いします。】

問 12 保険薬局においてビデオ通話(音声通話のみの場合を除く)によるオンライン服薬指導ができることを知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------|
| 1. 知っており、利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことがない | 3. 知らない |
|--------------------|---------------------|---------|

問 13 今後ビデオ通話(音声通話のみの場合を除く)によるオンライン服薬指導を利用したいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない(理由: _____) |
| 3. わからない | |

「服薬期間中のフォローアップ」とは

患者さんが薬を使用している期間中に、薬局薬剤師が電話やSNS、アプリ等を通じて、薬の服用状況や副作用の有無、薬物治療効果等を把握し、患者さんが安心して薬を服用できるようにサポートすることです。薬の効果や安全性を高めるだけでなく、患者さん一人ひとりにあった最適な薬物治療を提供することに繋がります。



問 14 服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けたこと(服薬期間中のフォローアップを受けたこと)はありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 確認を受けたことがある ⇒問 14-1へ | 2. 確認を受けたことはない ⇒問 14-3へ |
|-------------------------|-------------------------|

【問 14 で「1. 確認を受けたことがある」と回答した方にお伺いします。】

問 14-1 服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けてよかったですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. よかった ⇒問 14-2へ | 2. よくなかった(理由: _____) ⇒問 15へ |
|------------------|-----------------------------|

問 14-2 問 14-1で「1. よかった」と回答した場合、その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 服薬後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心できた
2. 服薬状況の確認や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた
3. 薬局薬剤師から担当の処方医に処方薬の確認や相談をしてもらい安心できた
4. その他(具体的に: _____)

【問 14 で「2. 確認を受けたことはない」と回答した方にお伺いします。】

問 14-3 服薬期間中に薬局薬剤師から電話などで服薬状況などについて確認を受けてみたいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 確認を受けてみたい ⇒問 15 へ | 2. 確認を受けたくない ⇒問 14-4 へ |
|----------------------|------------------------|

問 14-4 問 14-3で「2. 確認を受けたくない」と回答した場合、その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. これまでの医師や薬局薬剤師とのやりとりで十分なため
2. 疑問や不安は特になく、フォローアップの必要性を感じないため
3. 個人情報の取り扱いなどに不安があるため
4. フォローアップを受けるのが煩わしいため
5. その他(具体的に: _____)

「かかりつけ薬剤師」とは

普段からあなたの薬を把握し、重複や飲み合わせ、副作用のリスクなどを確認しながら、安全に薬を使えるようサポートする薬剤師です。薬について気軽に相談できるだけでなく、入退院のタイミングなどにも他の医療機関と連携して、治療がスムーズに続けられるよう支援します。

こうした継続的な対応を行う場合、患者さんの同意のもと「かかりつけ薬剤師指導料」が保険で算定されることがあります。



【すべての方にお伺いします。】

問 15 あなたには「かかりつけ薬剤師」がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 16 あなたは「かかりつけ薬剤師指導料」に関する同意書にサインしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. サインしたことがあり、同意した | 2. サインしたことがあるが、同意しなかった |
| 3. サインしたことはない | 4. サインしたことがあるかわからない |

問 17 【かかりつけ薬剤師の有無にかかわらずご回答ください】あなたが「かかりつけ薬剤師」に重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 生活情報や習慣などを理解した上で薬について説明などをしてくれること 2. 自分の飲んでいる(使用している)薬をすべて把握してくれること 3. いろいろな医療機関で出される薬について重複しているものがないか、飲み合わせが大丈夫かなどを確認してもらえること 4. 残っている薬がないかなどを確認してくれて、残っている薬がある場合は処方医に問合せを行ってくれるなど、調整してくれること 5. 飲み忘れがないよう、薬を一つの小袋(一包化)に入れて渡してくれるなど、服薬管理・指導を丁寧にしてくれること 6. 薬についてわかりやすく説明してくれること 7. 薬に関する相談に対応してくれること 8. 後発医薬品についての使用希望を聞いてくれること 9. 医療機関についての相談ができること 10. 薬を処方した医師・医療機関と情報共有ができていること 11. 自分が使用している薬を必ず確保してくれること 12. 保険薬局が閉まっている時間帯でも電話相談ができること 13. 介護が必要になっても訪問して薬を管理してくれること 14. その他(具体的に: _____)

問 18 保険薬局に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 健康に関する相談 ⇒具体的な内容: 11.栄養・食生活 12.身体活動・運動 13.休養 14.こころの健康づくり 15.飲酒 16.喫煙 17.その他(具体的に: _____)
2. 女性の健康に関する相談 3. 緊急避妊薬の販売・相談 4. 受診先(医療機関)の相談 5. 健診機会の提供 6. OTC 医薬品※の販売・相談 7. 介護に関する相談 8. 介護用品の販売・相談 9. 福祉用具の販売・相談 10. 日用品の販売 11. その他(具体的に: _____)

※OTC 医薬品とは、保険薬局やドラッグストア等で、処方せんなしで購入できる医薬品のことです。

問 19 保険薬局や併設するドラッグストアでタバコや酒類を扱うことについてどのように感じますか。(それぞれ〇は1つ)

①タバコ	1. 扱うべき	2. どちらかという扱 べき	3. どちらかという扱 べきではない	4. 扱うべきではない
②酒類	1. 扱うべき	2. どちらかという扱 べき	3. どちらかという扱 べきではない	4. 扱うべきではない

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

令和7年8月29日(金)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。